

譚奇俗風報画

第17集
10月号

目で見る風俗絵巻・内外古今の貴重文献満載
写真と絵画と絵物語で描くメブの世界特集



画報風俗奇譚

第17集・10月号

目で見る風俗絵巻

画報風俗奇譚10月号 昭和36年10月15日発行 昭和35年11月17日第3種郵便物認可
通巻19号（毎月1回15日発行） 昭和35年8月30日国鉄東横線特等郵便物第883号

定価 180 円

サド・マゾ・フェチシストにひそかに贈る
泰西出版資料の2大コレクターズ・システム



第1類 ヌートリクス社出版物の中から
最上の選択で毎月定期的にお手元に
最低の費用で資料をおとどけます。
全30回 30カ月にわたる月ごめ

コレクション

初回 5000円, 以後毎月 2000円

第2類 ヨーロッパの同好者が贈る個人作品の
分割20カ月にわたる大集成
初回 5000円, 以後毎月 2000円

○ゴルドン社版短期収集会

5カ月で各種の収集全部がそろふ。

初回 10,000円, 以後毎月 2000円

○夏 期 特 別 予 約

ヌートリクス社小冊子3冊1組の廉価集
(いずれもくわしくは返信料添付のう
えで本社あてお申し出てください)

泰西出版資料会社 横浜市中区北方町 1-67
Sitten-Bild-Verlag KG. TEL (20) 9313

写真の分譲代理部

あなたのコレクションにぜひお加えください〈文献資料刊行会〉

女体責め悶悦の姿態

(在庫20種類)

女体責め悶悦の姿態

(在庫20種類)

男性緊縛の魅惑

(在庫27種類)

モデル別お好みポーズ集

(在庫39種類)



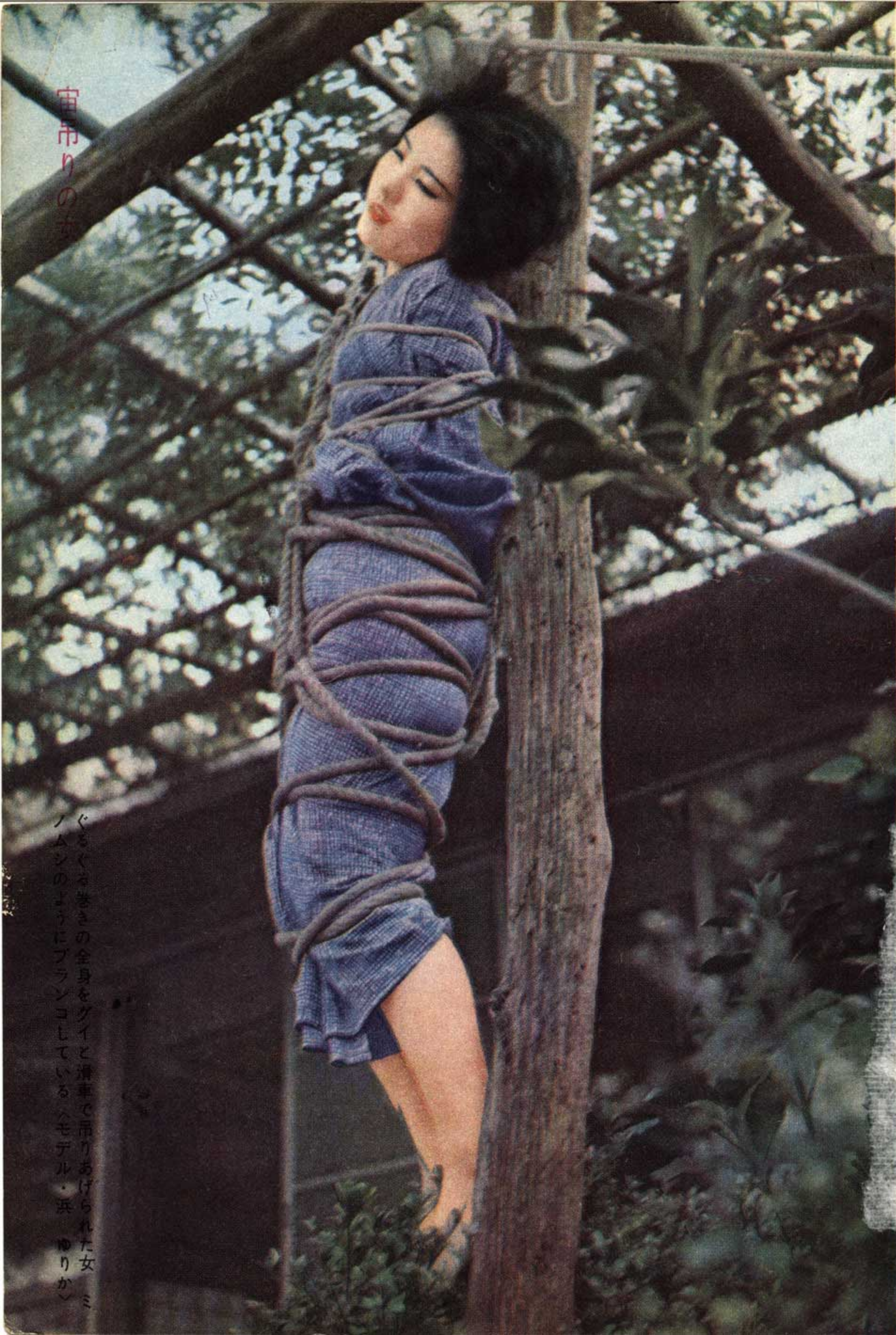
On returning to her underground haunt, Baroness Lorraine finds her assistants trying to force their captive to capitulate! "That's too easy, Lorraine says,--I'll show you something better!"



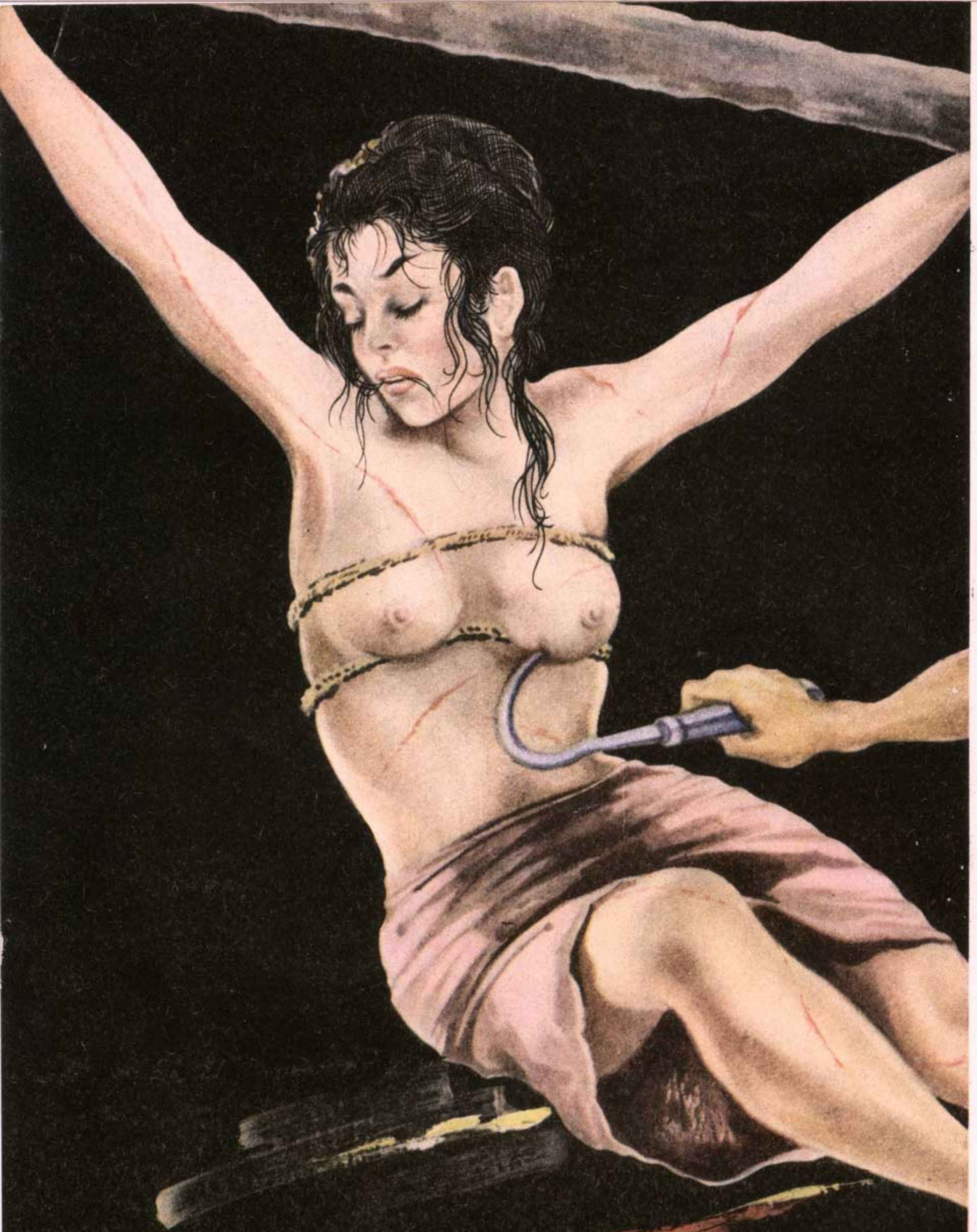
『バスター・エタ公配』から (本文3ページ参照)

宙吊りの女

ぐるぐる巻きの全身をグイと滑車で吊りあげられた女
ミ
ノムシのようにブラコンしているへモデル・浜 ゆりか





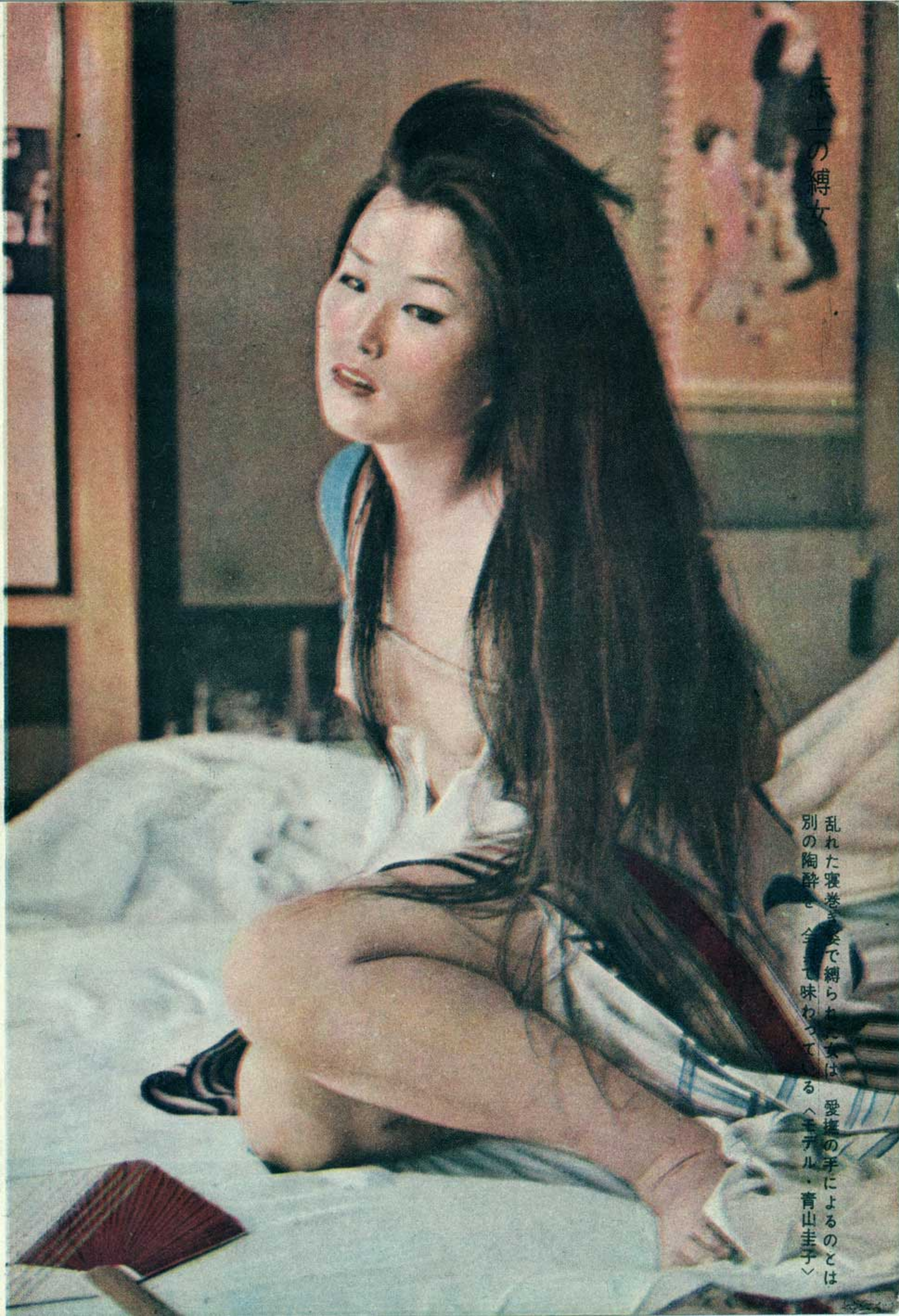


荒れ小屋の無残

両手を大きく開いた姿勢で頭上に縛られた女は、全身を無防備にさらしている。その白い肌に、鋭い鎌の刃が幾筋も鮮血の模様を描いて、目をおおう無残さだ。

床の縛女

乱れた寝巻き姿で縛られた女は、愛撫の手によるのとは別の陶酔を、全身で味わっている。へモデル・青山圭子







(色彩写真)宙吊り女・被縛の時……………(三)
(色刷り口絵)荒れ小屋の無残……………田上恵子(四)

園の虐悦く開花

女を吊る滑車……………(二二)
川の中の加虐……………(二四)
苦悶の4態……………(二六)
縛悦のひと……………(二八)
障子の陰に……………(三〇)
被虐の花……………(三二)
恍惚の目……………(三四)
縛られた女学生……………(三六)
悲しき小鳥……………(三八)
緊縛の裸女……………(四〇)
縁側で縛られて……………(四二)
水責め地獄……………(四四)
一つ家の内と外……………(四六)
恥ずかしい時……………(四八)
芝ふの上の被縛……………(五〇)
水に漬ける……………(五二)

場の責めの男

いけにえの男……………(五三)
男を御すポーズ……………(五五)
縛りあげて……………(五七)
また裂き……………(五九)
引かれ者の小唄……………(六一)
あるお仕置き……………(六三)
首を責める……………(六五)
縛りデュエット……………(六七)

〈モデル〉浜 ゆかり・青山桂子・須原圭子・島崎ユカ・中林秋子・望月まり子・西牧えり子・御堂紀久・霧島茂樹

機械責め 7景

回転責め・歯車責め……………吉正英生(四三)
ギア責め・ワイヤ縛り……………田上恵子(四五)
手首吊り・人間荷物……………江戸川重郎(四七)

SM

絵物語集

☆読者の広場……………(三三)
☆代理部便り・編集手帳……………(三六)

幻想妖異 午睡の悪魔……………栗橋慎吾(三九)

鞭ナのある男のアバンチュール……………榊原史生(四一)

変態女医 若い生血をすする女……………雨妙院一太(四三)

同性SM 楽屋裏の悪ふざけ……………ゴードン提供(四五)

サド女性 バステイーユ大公妃……………スタントン(四七)

女王責め 男無残絵帖……………芦立鋭吉(四九)

復讐奇談 黒潮の美少年……………田代紀一(五一)

女敵討ち 妖美女禪仇討ち……………志乃田藤美(五三)

時代責め 無残牛裂き原……………赤木恵介(五五)

Hurrying to release
another bound captive
the unwary Lorraine
steps on a hidden
trap-door, plunging
into the Duchess's
chambers
below!



花開く悦虐の園

そこでは 女体は 妖しい芳香を放つ







女を吊る滑車

ぐるぐる巻きで吊り上げられた女は
空中のさらし者 虫に責められても
無抵抗でいるへモデル・浜ゆかり



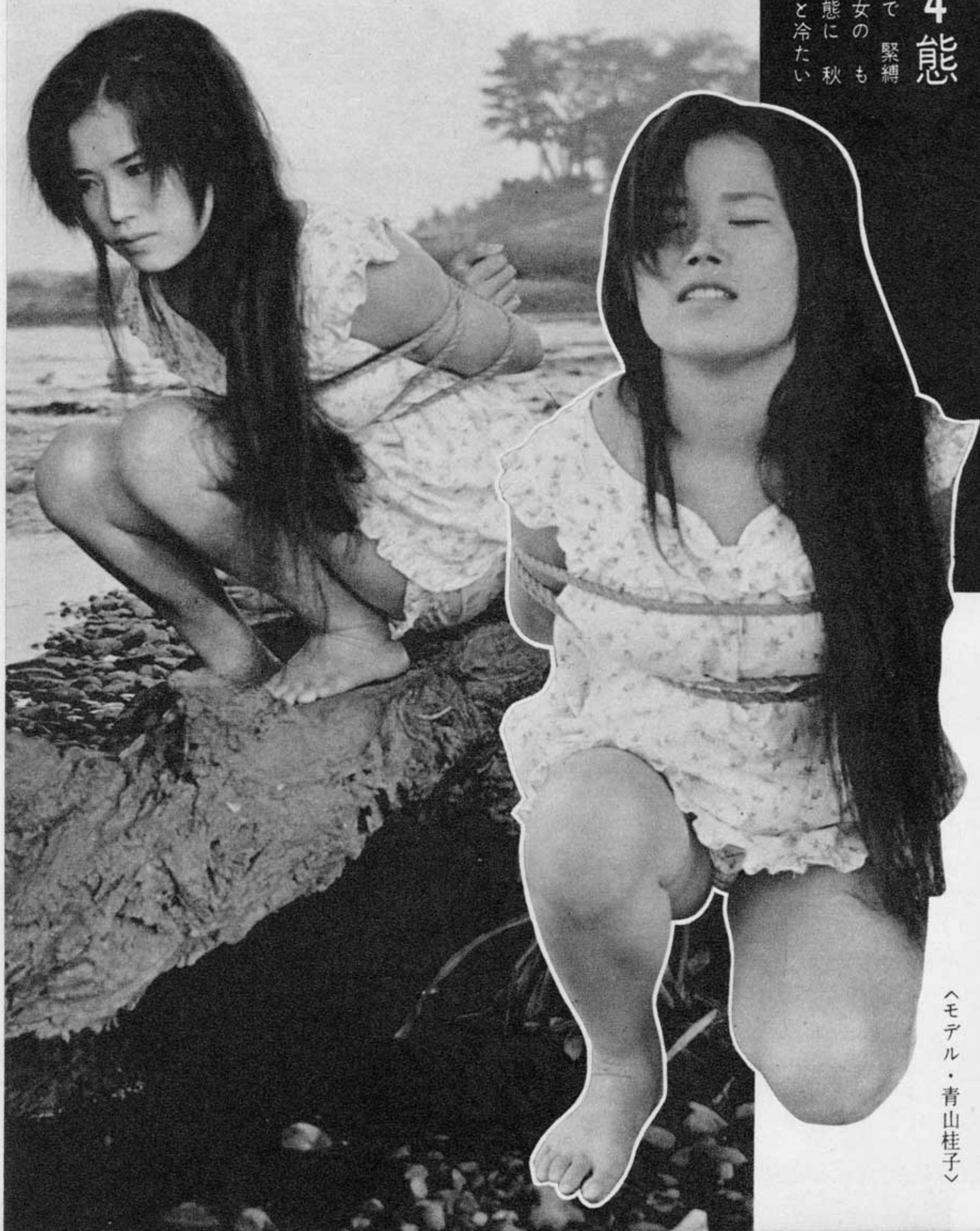
川の中の加虐

川はソウソウと音をたてて流れている
縛られた女の運命も 川の流れのよう
に 音たててくずれ去り いためつけ
られるだけが残された宿命だ 悦虐の
淵におぼれ去るへモデル・青山桂子



苦悶の4態

人けない河原で 緊縛
の時を過ごす女の
だえ苦しむ姿態に 秋
の日は 白々と冷たい

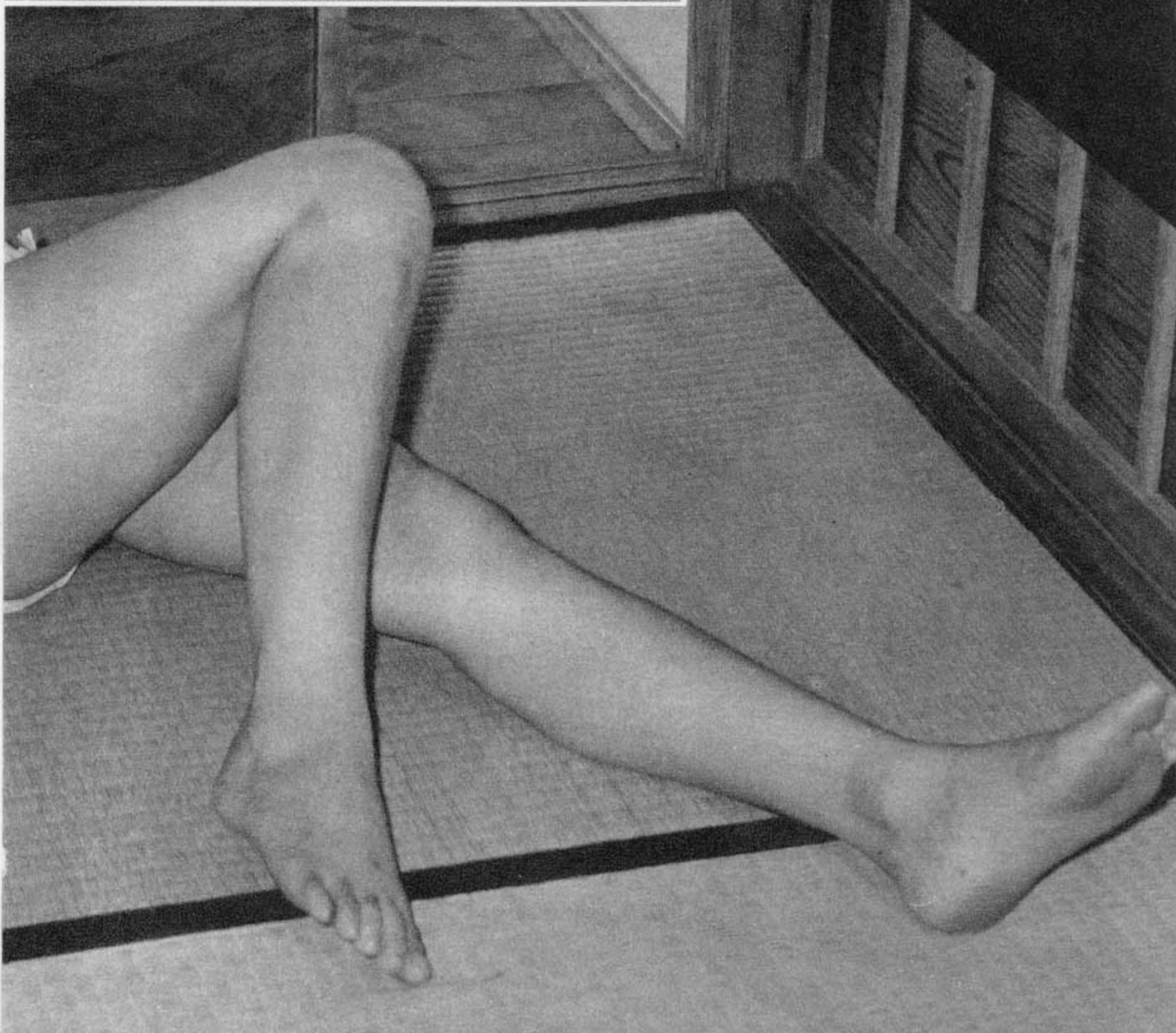
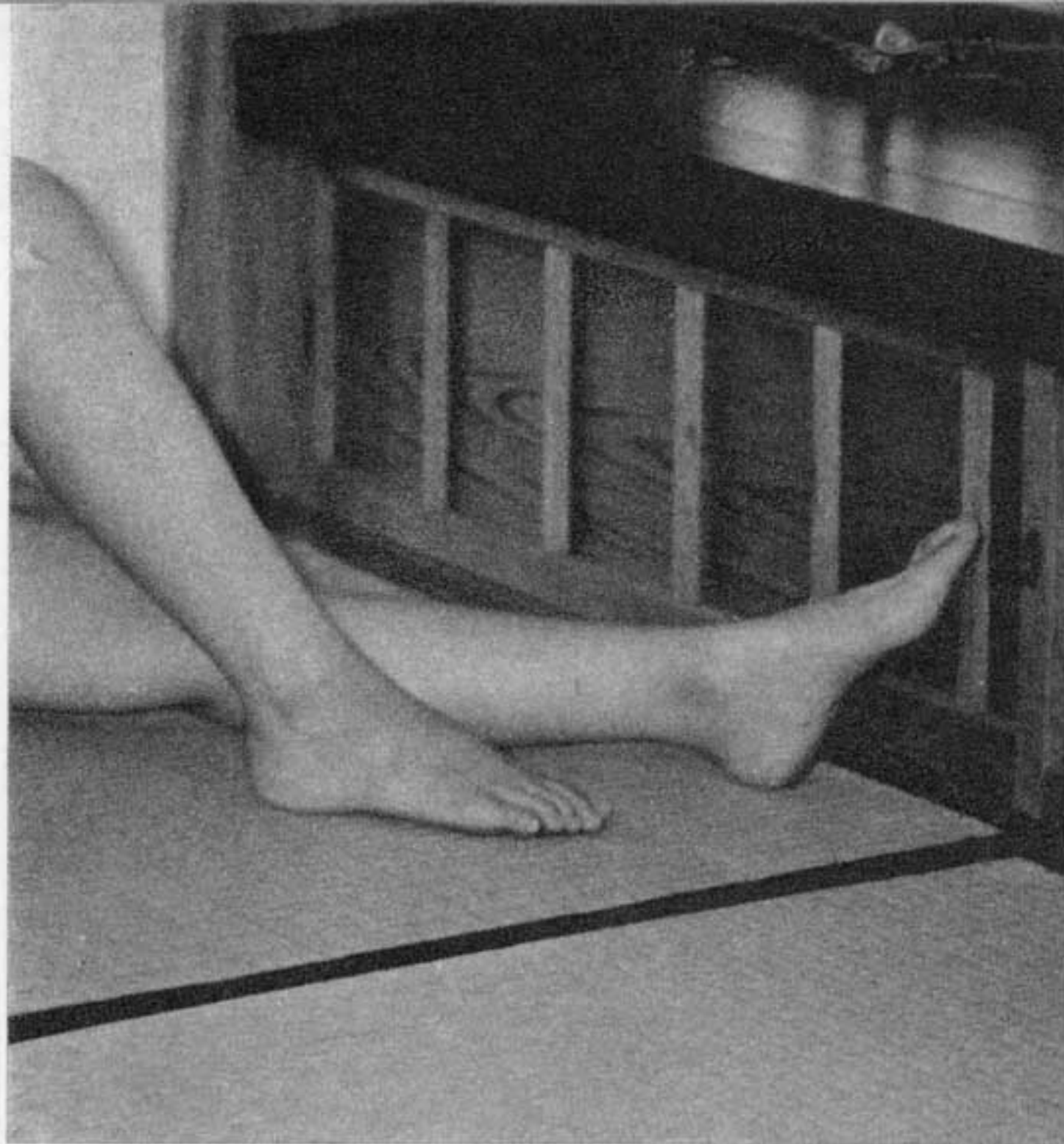


へモデル・青山桂子



縛悦のひと

長々と身を横たえて 女はひとり
縄の味をかみしめているのか ひっ
そりという 緊縛の中の 苦痛を通
りこした愉悅が いま 彼女の全身
に満ちあふれ このひとときを 喜
びにふるえるへモデル・須原圭子







障子の陰に

コンパンアライイといってふすまをあける芸者のようなポーズで半身をのぞかせた女は あわれ縛られの身だ 芸者が男に奉仕するように 彼女は別の意味で男を喜ばすヘモデル・島崎ユカ





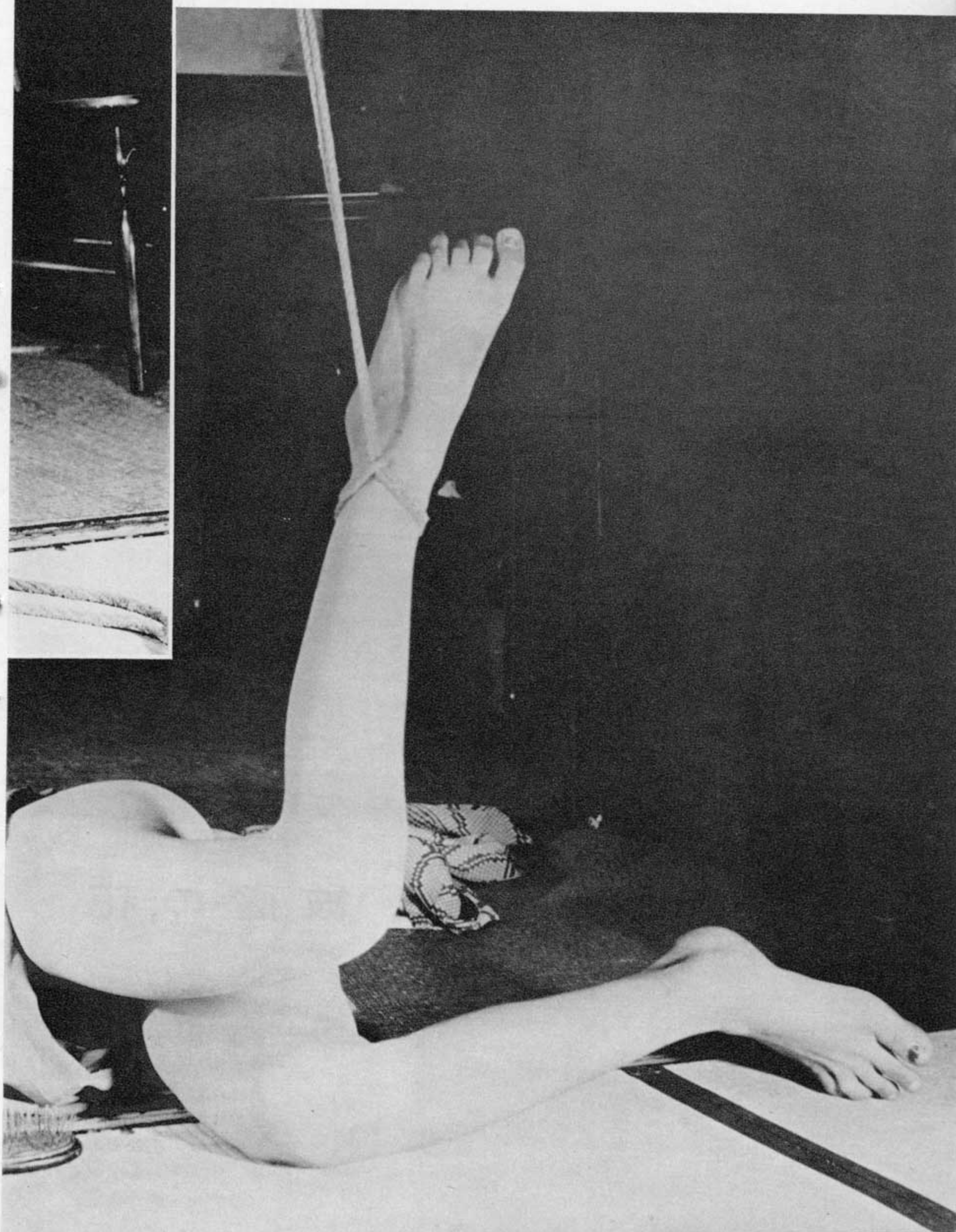


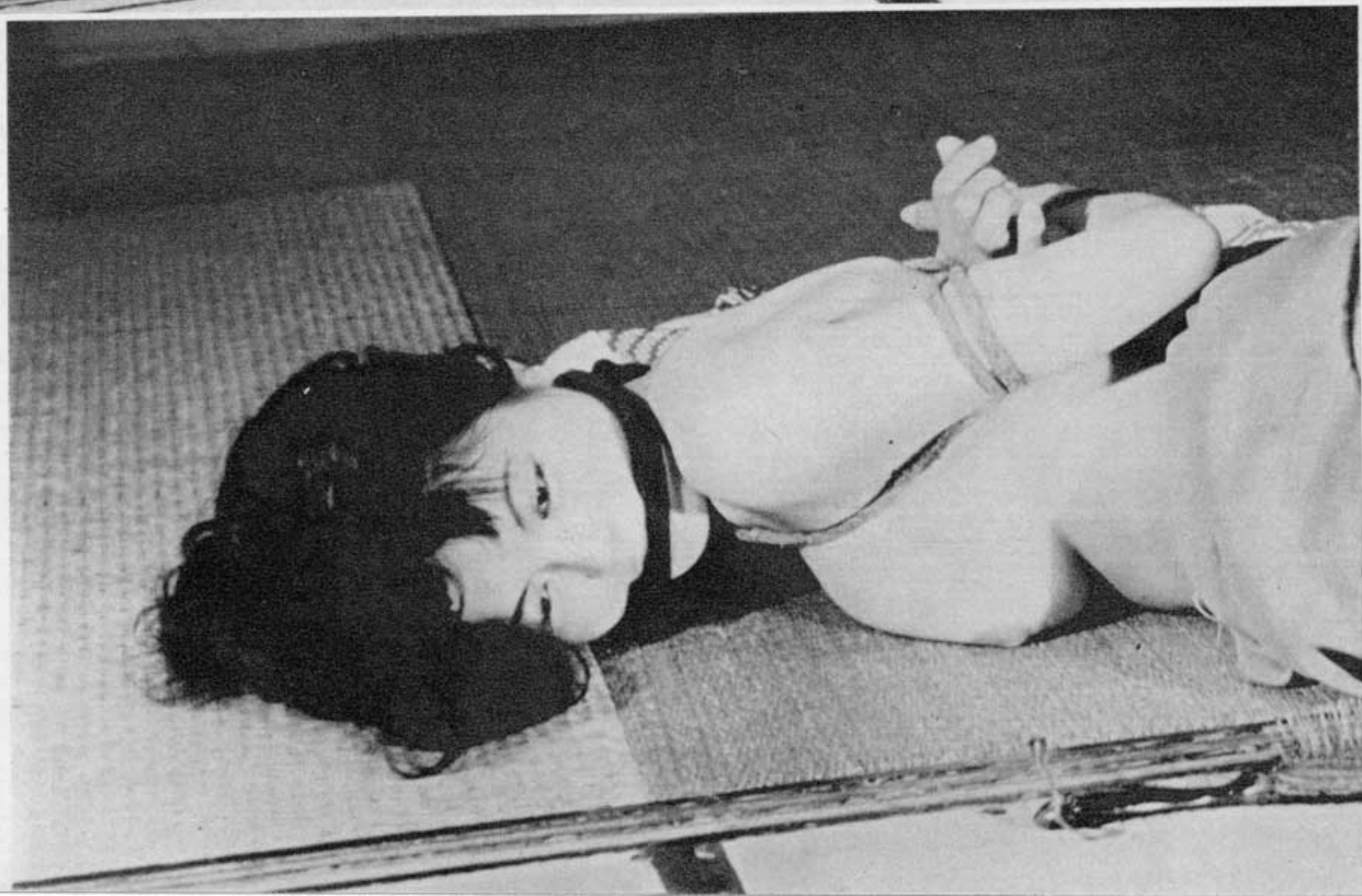
被 虐 の 花

しいたげられるときの
女は 花のように 可
憐で美しい 責めがひ
どければひどいほど
芳香は高く においで
る体臭は 花粉のよう
に サンサンと広がる
〈モデル・中林秋子〉

恍惚の目

縛られいたぶられる時の女の目は恍惚と
たゆたって美しい 〈モデル・中林秋子〉



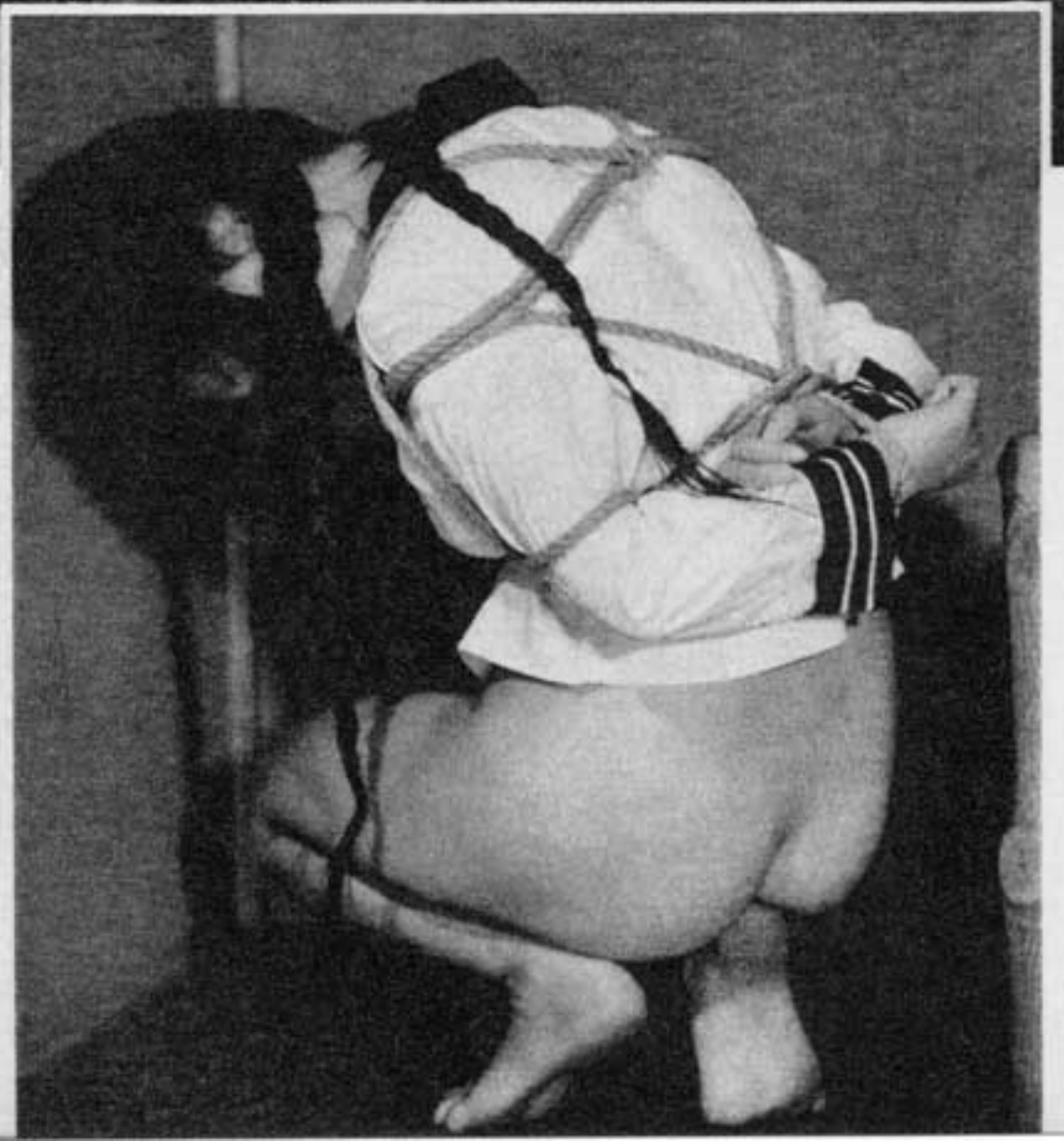




縛られた女学生

スカートをはぎとられ 違いだなに縛られた女学生 表情に悲しい色が流れ 長く編んだおさげ髪が 恐怖にふるえている 可憐な小鳥よへモデル・青山桂子

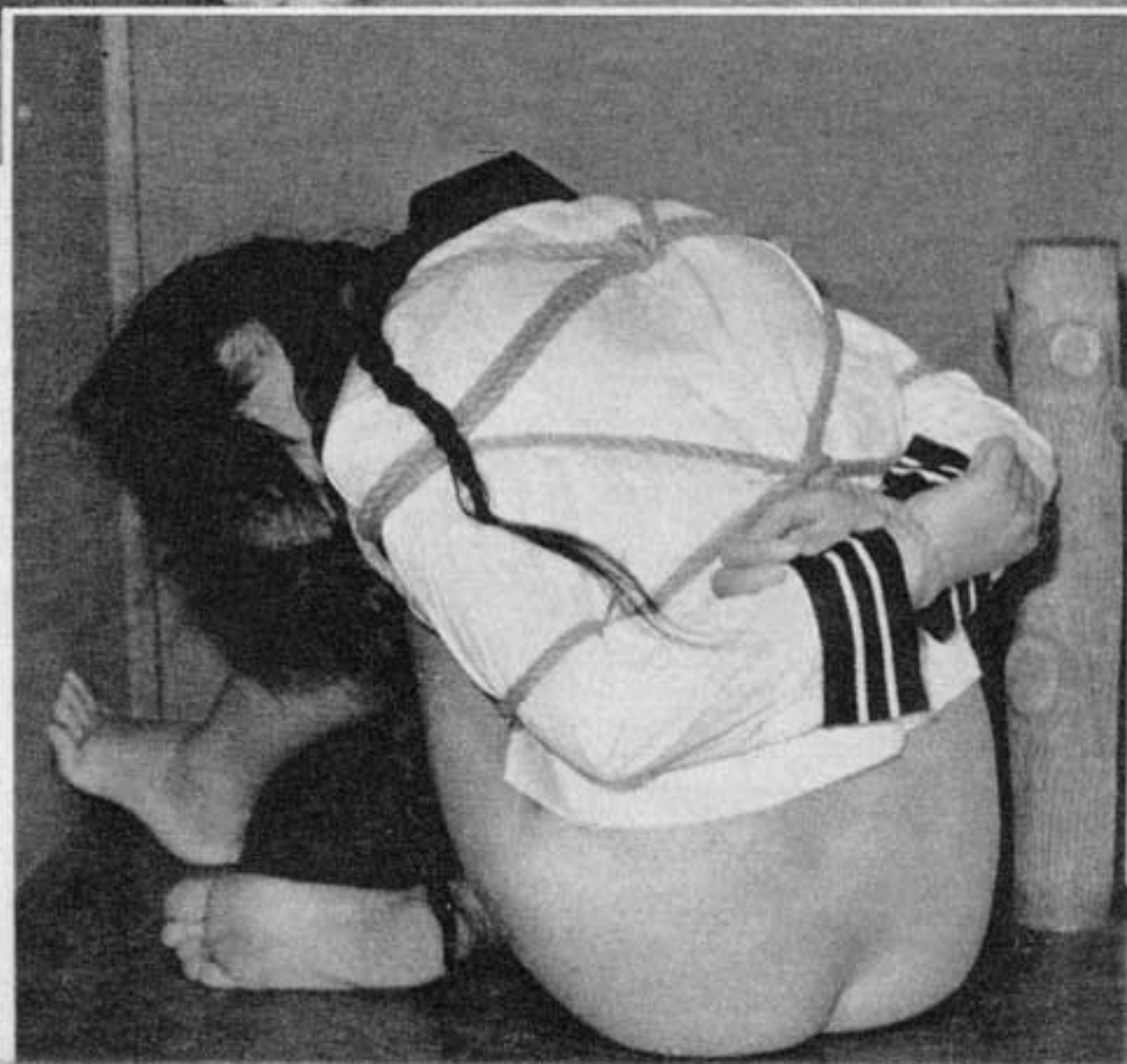




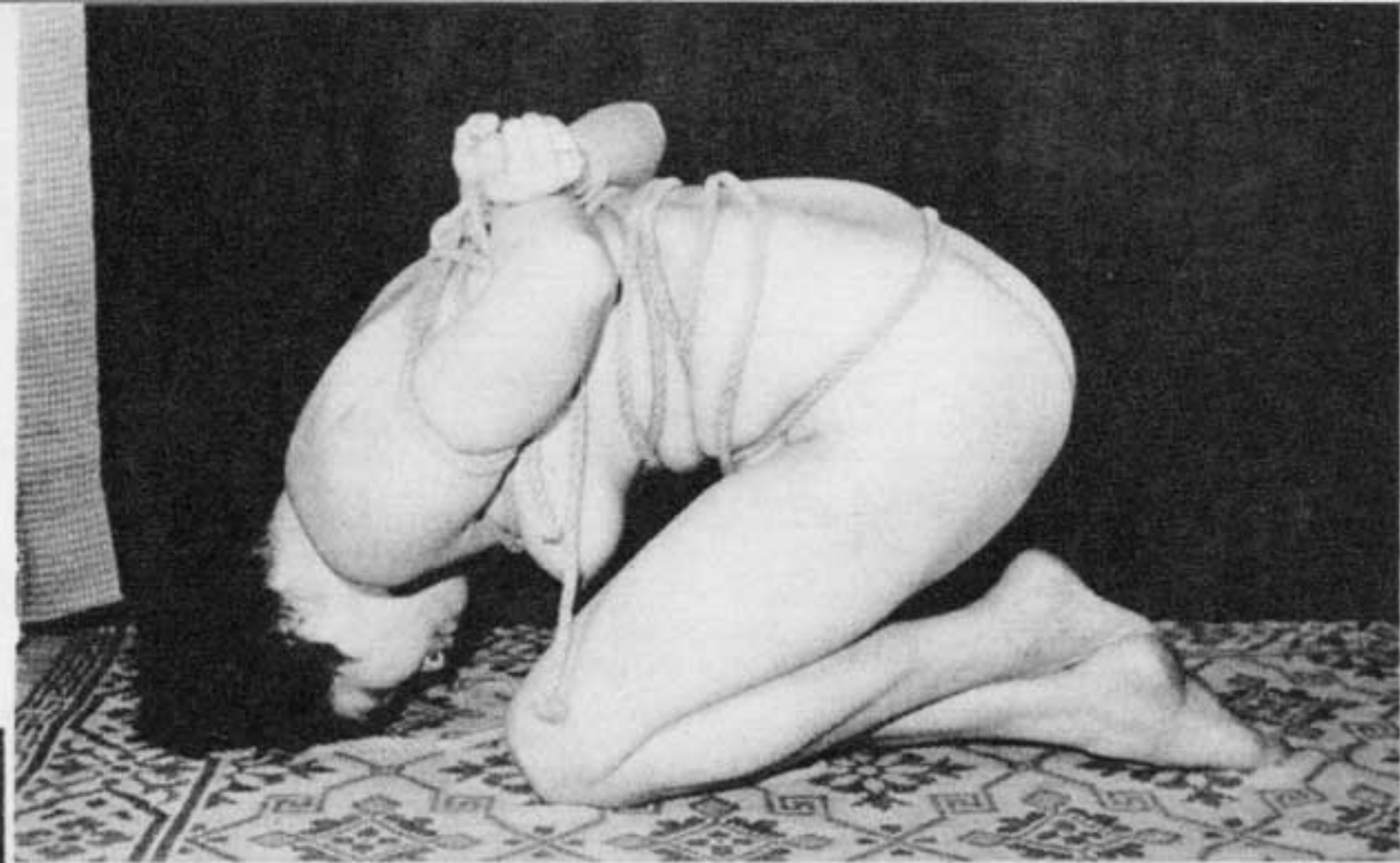


悲しき小鳥

下半身をむきだしに 恥ずかしい姿勢で うしろ手に縛られた女学生 髪も乱れ 苦痛と羞恥に耐えるとき いたいたしい色気を感じるのは ある種の男だ 素肌が ピクピクふるえて 可憐！ 〈モデル・青山桂子〉

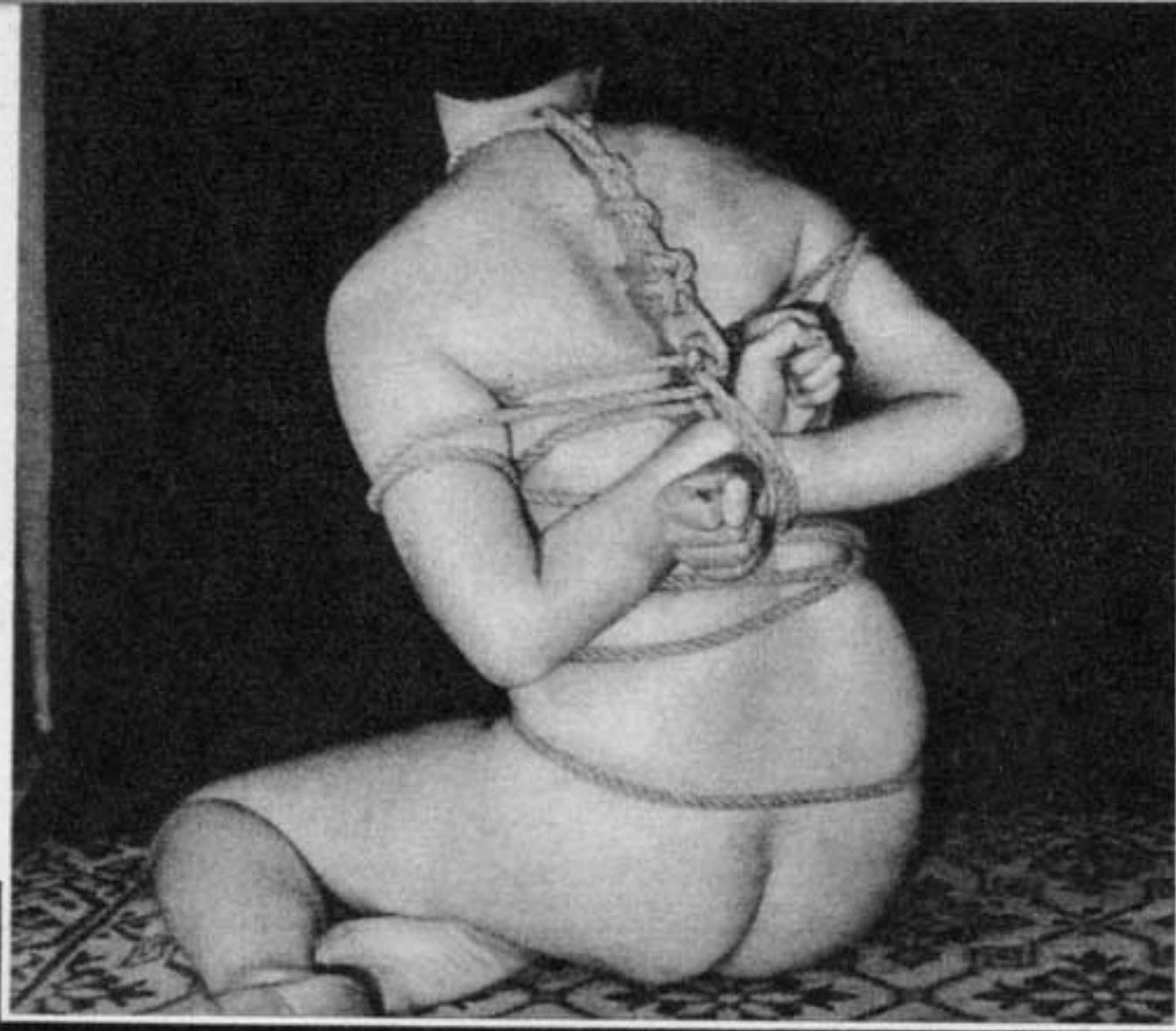


て 女は 豊満な
に耐えている 身
いこみ からだの
ル・望月まり子>



緊縛の裸女

裸身を亀甲しほりにされ
肢体をくねらせて 苦痛
動きすれば 縄が肌に食
シンまで痛くなる くモデ

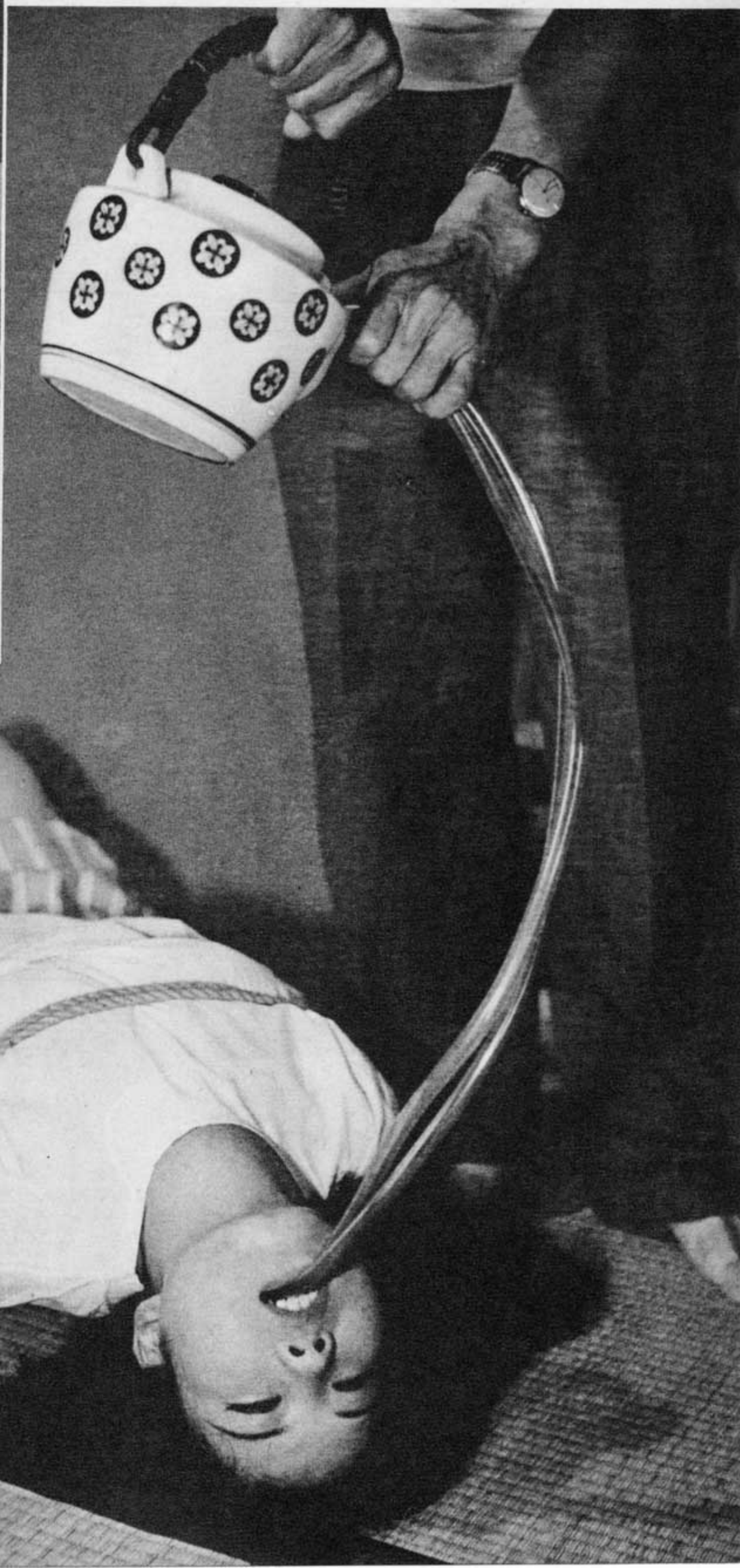
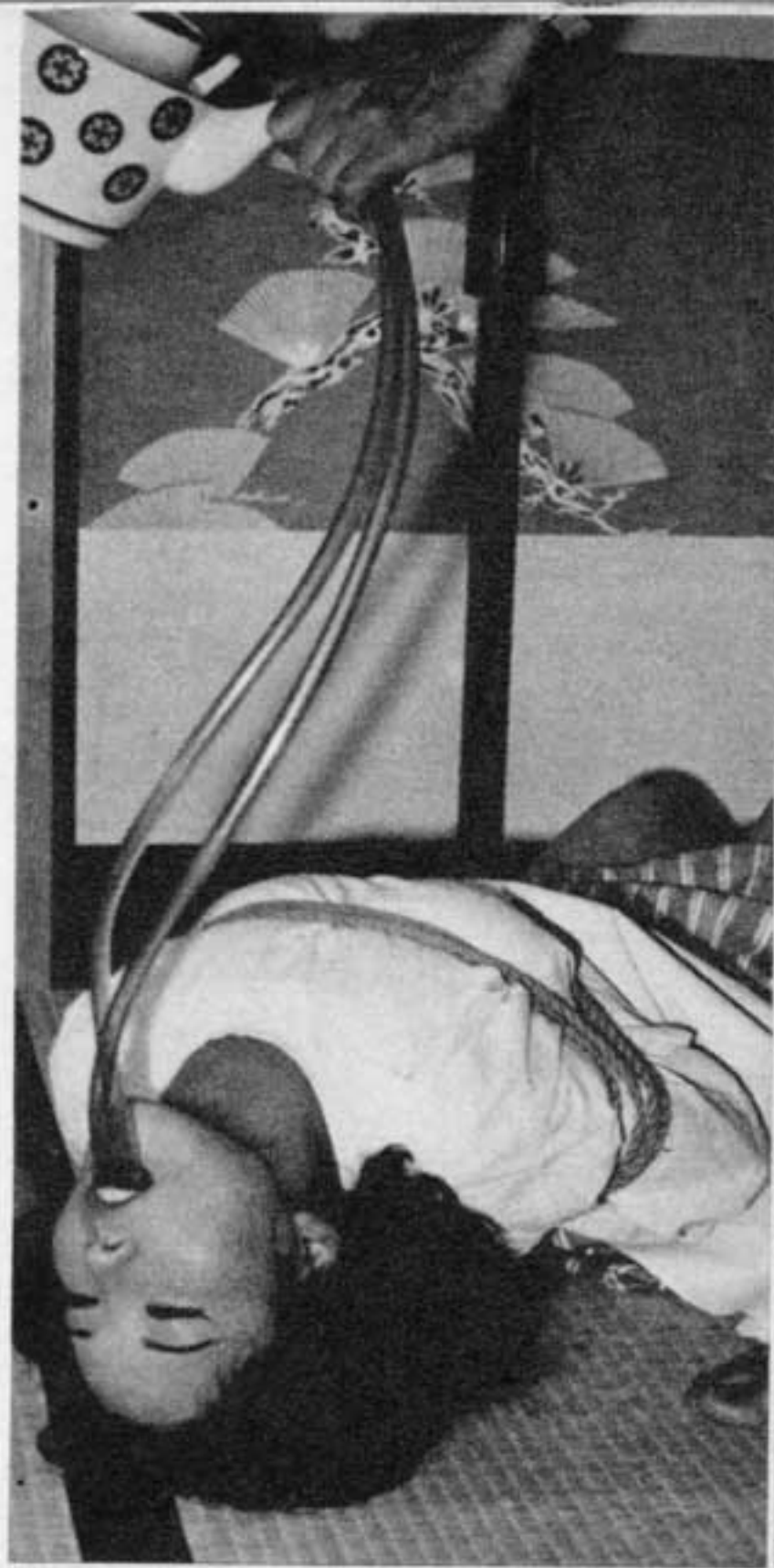


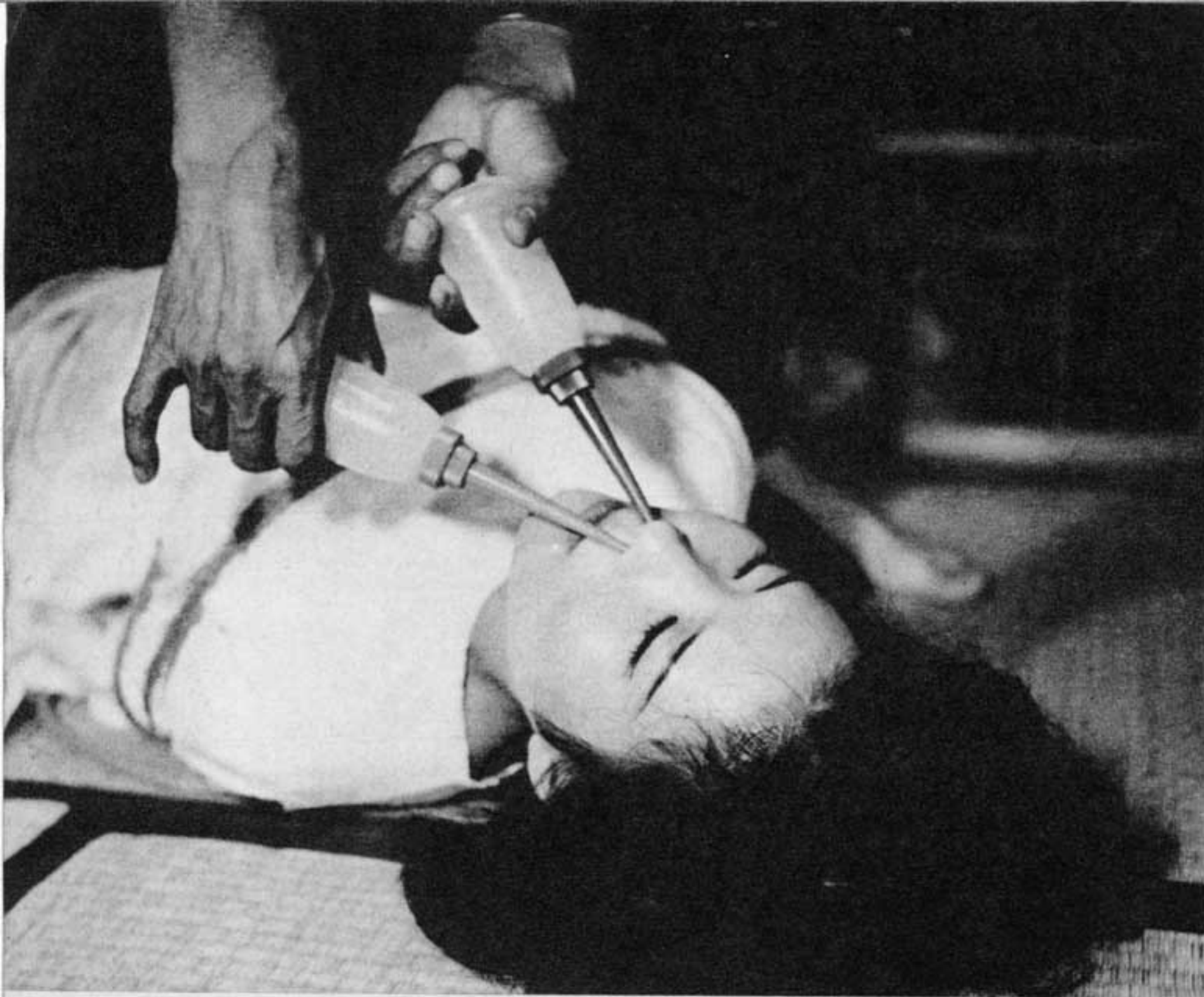


縁側で縛られて

庭に面したぬれ縁で キリキリと裸身を縛られた女 ひっそりと 何かを待っている 救いの手が それとも加虐の手か じわじわと身にしみていく縄の痛さが 悦虐の思いを深くして 女は 身内からわきいでる陶醉にひたる



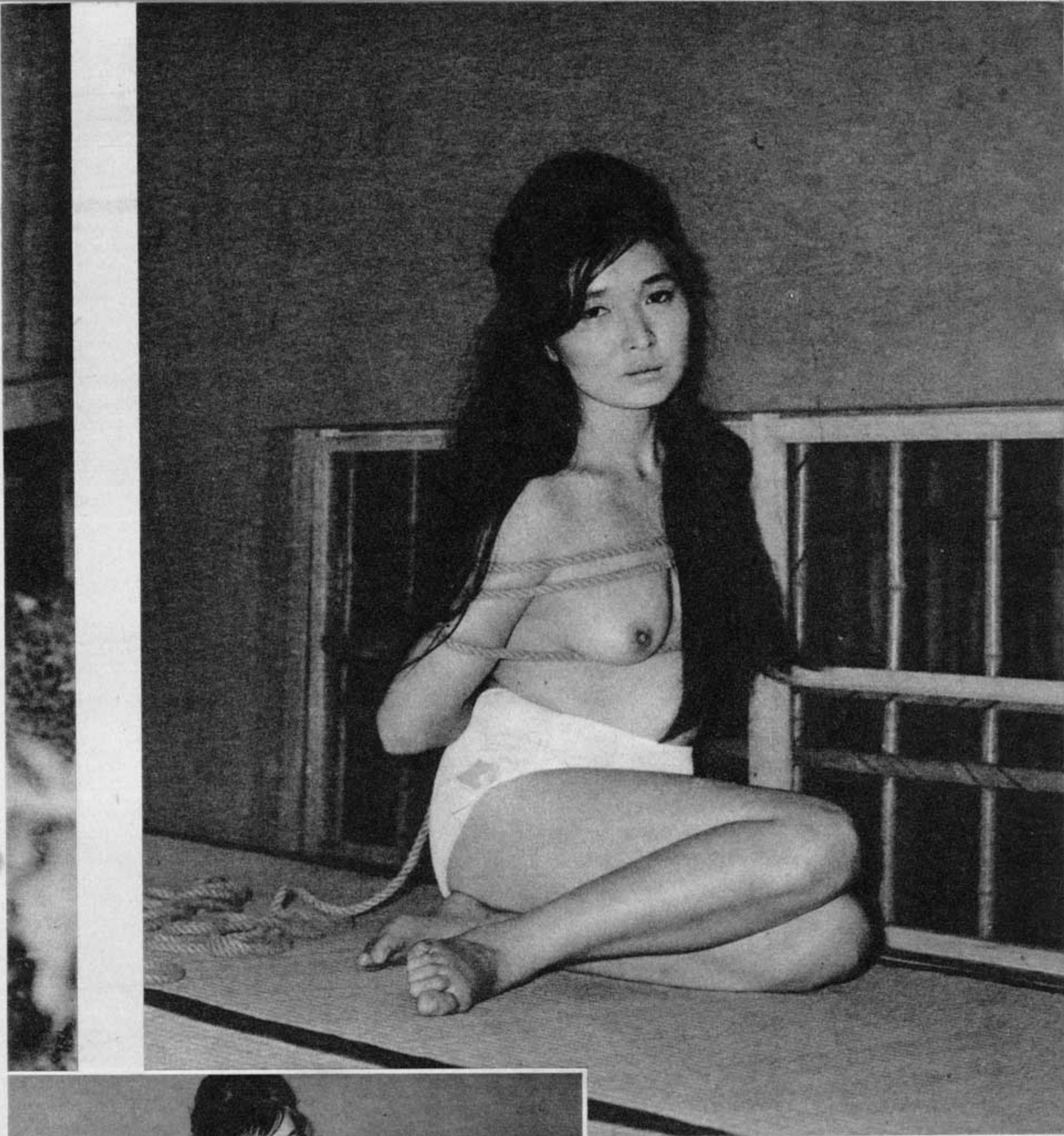




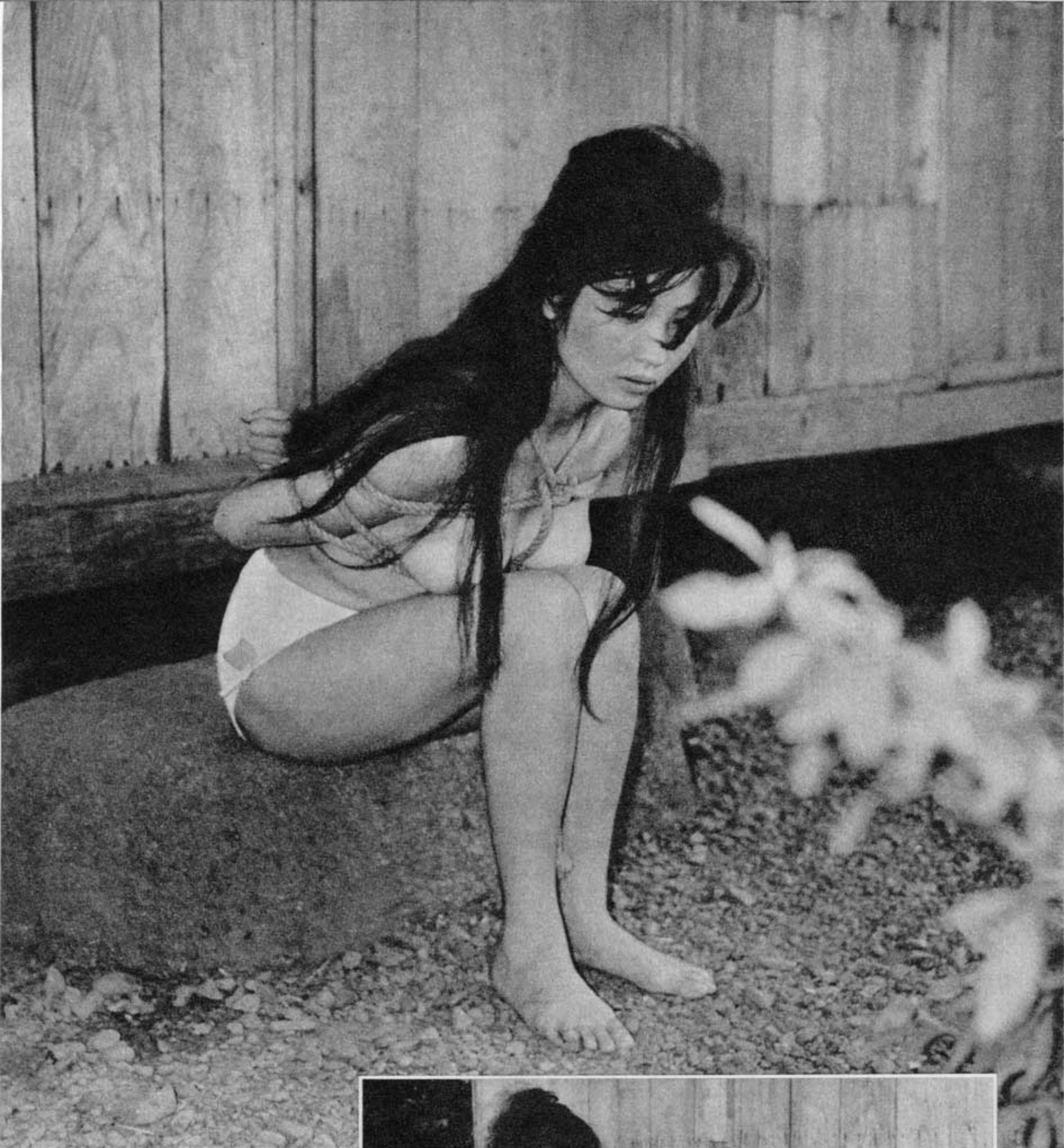
水責め地獄

口にくわえたホースから どびん一ぱいの水がそそぎこまれたり
2本の注入器が 鼻から水をおくる〈モデル・浜ゆかり〉





人が住まなくなってしばらく
 たった家は カビくさく
 人間のにおいは絶えて久し
 い いわば 人間世界を離
 れた場所で ひっそりと加
 虐が行なわれ 女は じっ
 と耐えていかねばならない
 のだ 〈モデル・島崎ユカ〉

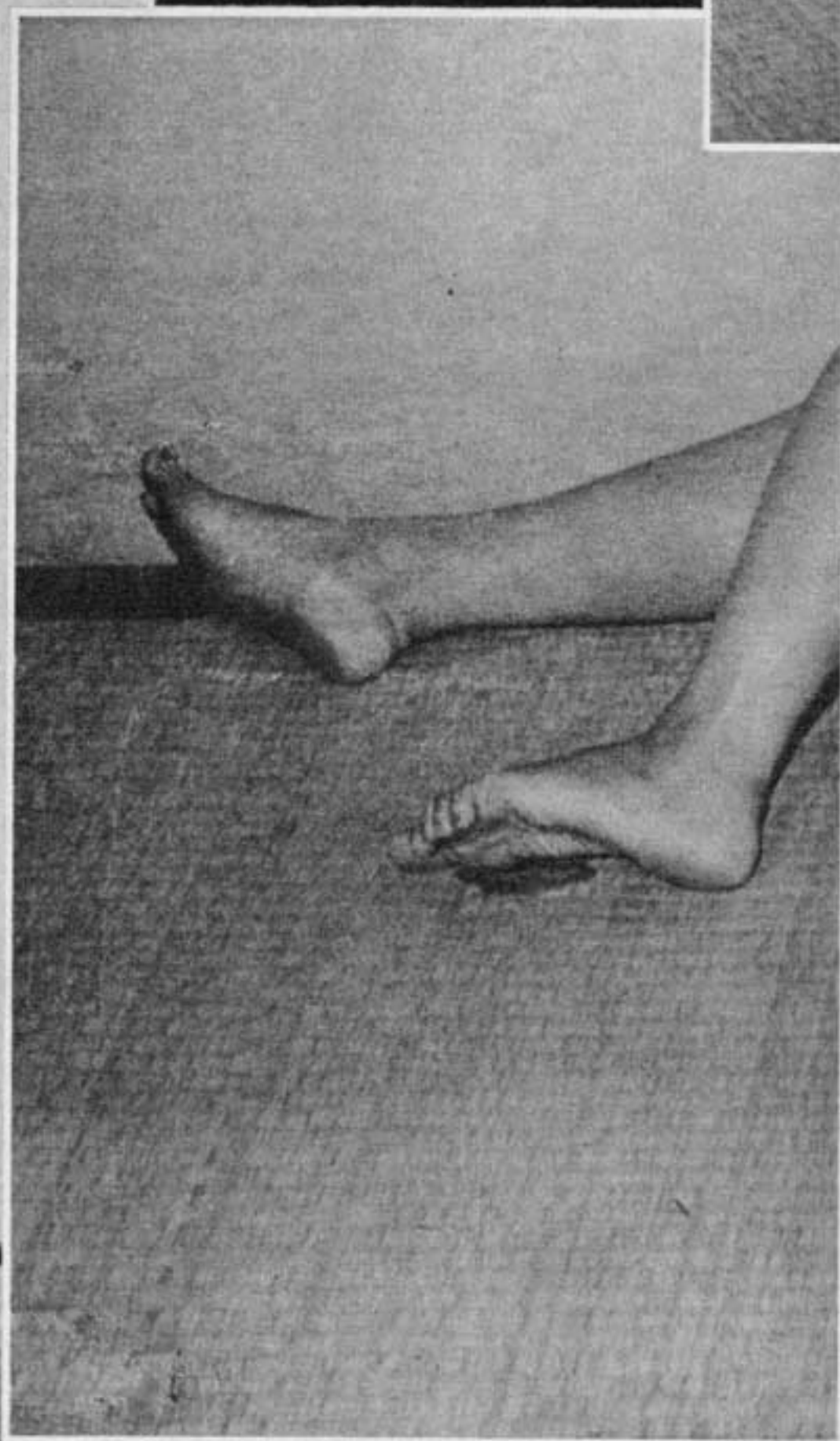


一つ家の
内と外



恥ずかしい時

湯文字一枚の姿は 女にとって恥ずかしいものである
しかも縛られて自由を奪われた身では どのようなことをされても 処置ないへモデル・西牧えり子







芝ふの上の被縛体

素裸で縛られて 芝ふにころがされて ああ 女は 青空に 嘆きの声をひっそりと吐き出す 真昼のひととき 〈モデル・浜ゆかり〉

水に漬ける

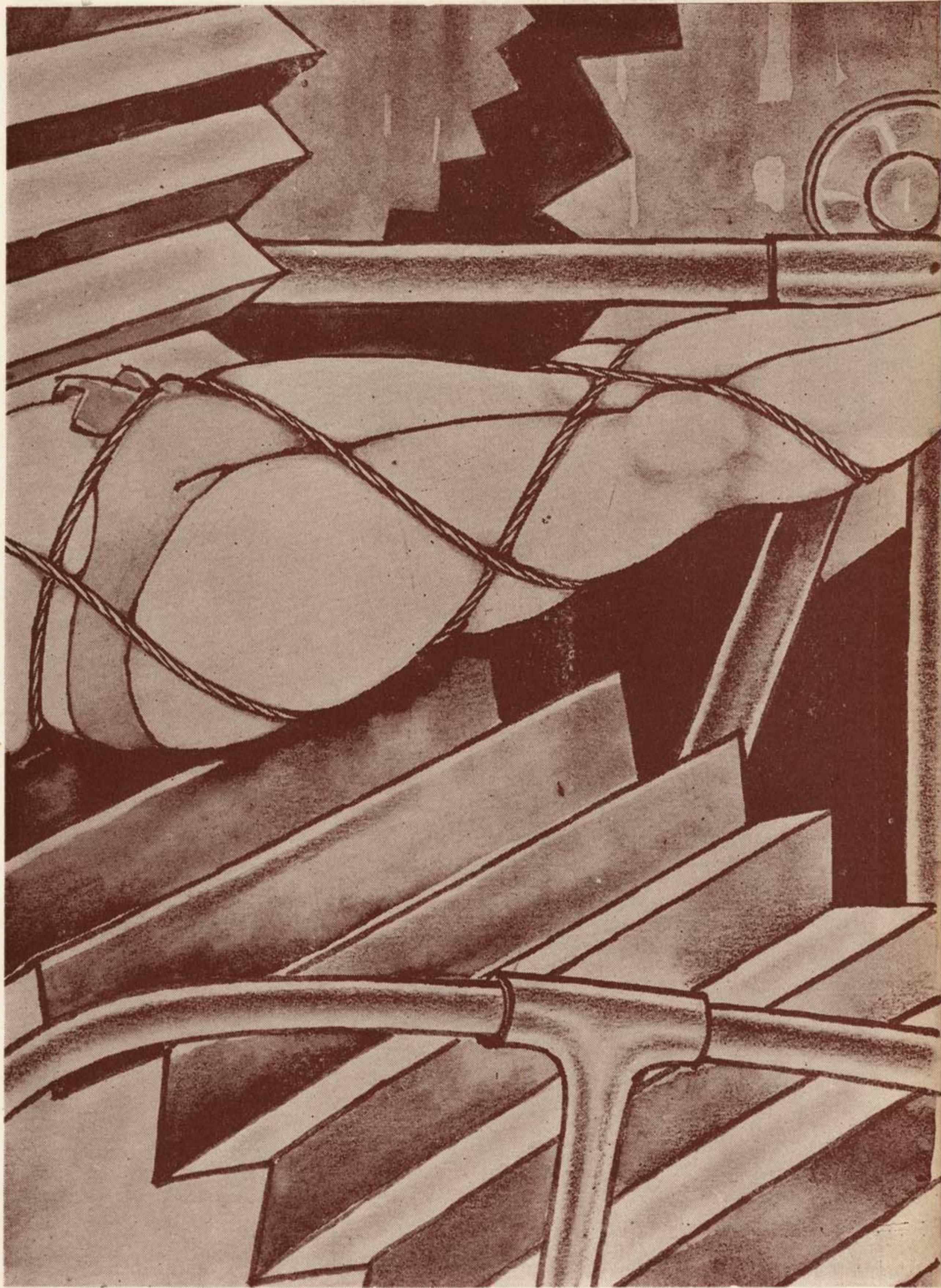
谷川の流れに 縛ったままの女をつけ
る この加虐の時に 女はあきらめを
水底に すてるへモデル・青山桂子



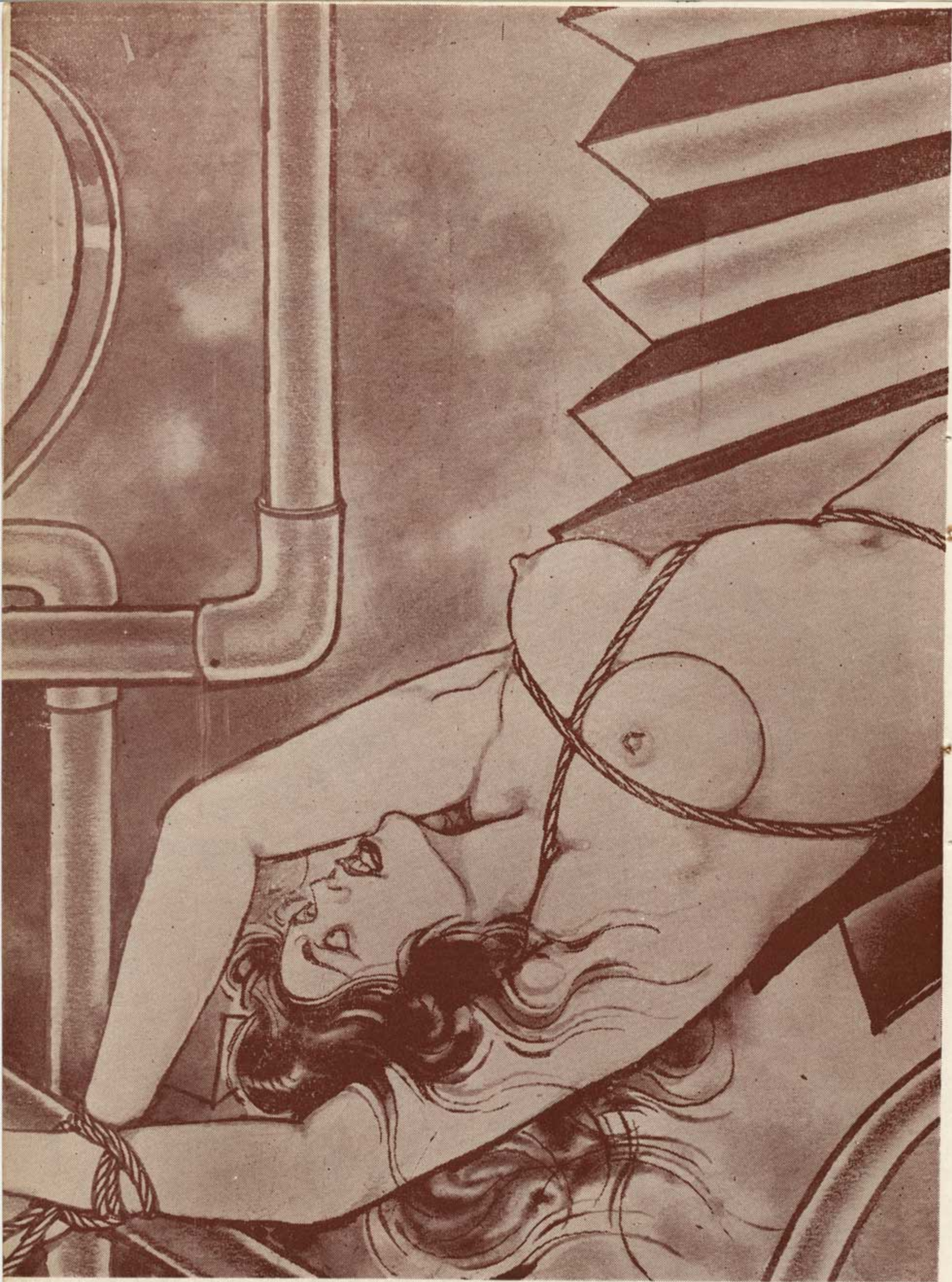
機械責め 7景



回転責め — まわる まわる 天井の大きな扇風機にくくられた女体 〈古正英生・え〉



流れる 少しでも身を避けることを誤れば 鋼鉄の歯が 柔肉をかみ砕く 〈古正英生・え〉



齒車責め——巨大な齒車が二つかみ合わさる境目に、縛られた裸身を置いて、恐怖の時が



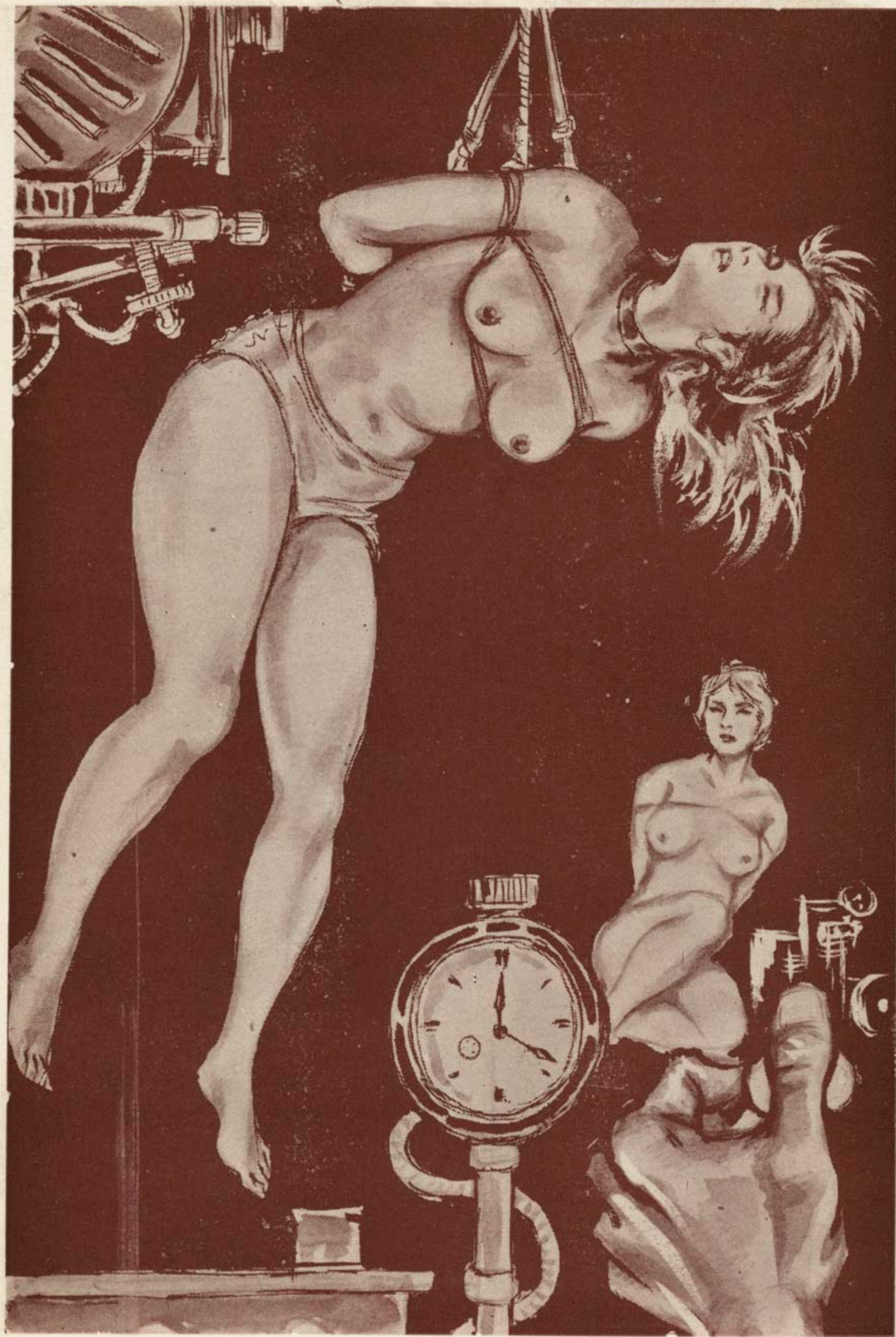
ギヤー齧め——ギヤーが回るすぐわきの狭い柱に縛られて 身を刻む女〈田上恵子・え〉



ワイヤー縛り——歯車が回れば 太いワイヤーが 柔乳柔肌に食いこむ〈田上恵子・え〉



手首吊り — クサリを引くと 手首を吊られたまま女はせり上がる 〈江戸川重郎・え〉



ウインチ吊り——スイッチがはいると 荷物の代わりに吊られる女体〈江戸川重郎・え〉



人間荷物——鉄輪と鎖で縛りあげ 船に積みこんで 女の密輸出だ〈江戸川重郎・え〉

午睡の悪魔

栗橋 慎吾
田上 恵子・え



彼女とふたりきり

「アラ、勉強？」

美也子さんの声がきこえた。

ぼくはハッとして、動かしていた手をやすめた。

——見られたかな？

と思った。胸がドキドキしていた。勉強するフリをしながら、机の下に下半身をいれて例のイタズラをしていたのだ。美也子さんのことを考えながら……。

そんなところに、不意に、とうの美也子さんに部屋の中にはいつてこられたので、ドキドキして口もきけなかった。

耳のつけ根のあたりまでまっかになっていった。

「なにかご本貸してくださらない？」

美也子さんはこだわりのない調子でそういうと、ぼくの本箱を物色していたが、

「これにするわ。これ貸してね」

新刊の小説本を一冊ぬきとり、かざして見せた。

それから、

「ヒロユキさんも、来年は大学だからたいへんね」

いたわるように言って、ゆっくりした足どりで部屋を出ていった。

——あんなとき、おれはどうしてブザマな応待しかできないんだろう。

ひとりになると、ぼくはぼく自身が齒がゆかった。

なにかに頭をぶつけて死んでしまいたいくらいのものだ。

——美也子さん、変に思っただろうな？
その彼女の部屋のほうは、ひっそりしていた。

寝そべっていまの本をひろげているにちがいない彼女を想像して、ぼくはからだが熱くなった。

いまは、おねえさんもお使いに行っているし、母もいない。

この家の中にいるのは、ぼくと美也子さん

ふたりっきりのものだ。

美也子さんの部屋にいった、その前に手をついて、

「ボク、美也子さんが好きなんです」

いきなりそういったとしたら、どうだろう
おこるだろうか？ 笑いだすだろうか？
それとも……。

だが、ぼくにはとてもそんな勇氣はなかった。

死んだって、そんな勇氣はなかった。

いまのぼくにできることといったら、例のやりかけのことをやってしまうことだけだった。ぼくはそれをやった。下地があるので、感覚はすぐのほりつめた。目の前がポーンと

「美也子さん、好きなんです……」

ぼくは目をつぶり、熱にうかされたように



二人だけが楽しむ大人の絵本？

好き人の筐底に隠された夜の秘密！

秘められた名画と

禁じられた場面集

この場面をマネしないで下さい！

夜のムードにマッチした

新形式の秘蔵画入

〒共 五〇〇円

▼年令明記切手30円封入申込の方にカタログ急送す

東京都世田谷局二十一号口 福寿会

くちびるを動かしていた。

帰らない彼女

その美也子さんの上に変事が起こった。

「あたし、うちに手紙だしてくるわ」

夕方、そういつて出たまま、夜おそくなくても帰って来なかったのである。

姉や母は青くなった。

「不良に誘惑されたんじゃないかしら。すぐ警察に……」

そんなことを、相談しあっている。

このへんは、夏になると、海水浴客を目あてに不良がたくさん入りこんでくる。車で若い女性がさらわれたり、そんな物騒な事件が



すくなくないのだ。

美也子さんは、姉の大学のクラスメートだった。

まいとし、夏休みの前半をうちに来て、姉といっしょに過ごし、それから和歌山の親もとに帰省するのが習慣になっていた。

だから、ぼくのうちにとっては、たいせつなあずかりものだった。母や姉が心配するのもムリはない。

「よしッ。ぼく捜してくる」

ぼくは母や姉にそういうと、いきおいよく家をとび出した。

——美也子さんに、もしものことがあったら。

そう思うと、胸がキューッとせり上がるほど心配だった。

その反面、ふしぎな期待でぼくの胸はうずいた。

誘拐ゆかいされた美也子さんを、ぼくが捜して助けます。それはなんてドラマチックな事件だろう。

ぼくは、ふだん美也子さんに対しては、まっかになって、その顔もまともに見られない。それはぼくにとって、女王さまのようにまぶしい存在なのだ。

ところがいま、美也子さんが誘拐されたことによって、その存在は逆に、ぐっとぼくにとって身ぢかなものになってきたのだ。

不良につかまって、縛られたりいじめられたりしている彼女を想像すると、ふしぎに快いものさえうずいてくるのだ。

うんとやっつけられて、死にそうになっている。

それを危機一髪の瞬間に救いだす。

そのほうが劇的效果は大きいのだ。

そして、ぐったりしている彼女をかついで逃げてきたぼくは、途中に谷川があるのを発見して、そこから口うつしに美也子さんに水をふくませる。

美也子さんがパッチリと目をひらく。

そして、

「ああ、ヒロユキさん、あたしを助けてくれたのね」

ぬれたくちびるで、ニッと笑う。

それから急に、

「こわいッ」

さきほどまでの恐怖がよみがえったのか、そうさげぶと、夢中でぼくにしがみつく。

「美也子さん、もうだいじょうぶですよ。ぼくがついているから……」

ぼくはおとなっぽくなくさめる。

それから、いたわりいたわり、山道を下ってくる。

その途中でも彼女は、ときどき思いだしたように、

「あーッ、こわいーッ」

とさけんではぼくにしがみつくのだ。

裏山への道をのぼりながら、そんなことを

考えるぼくは、いつのまにか、エレクトロしていた。

こわれた人形

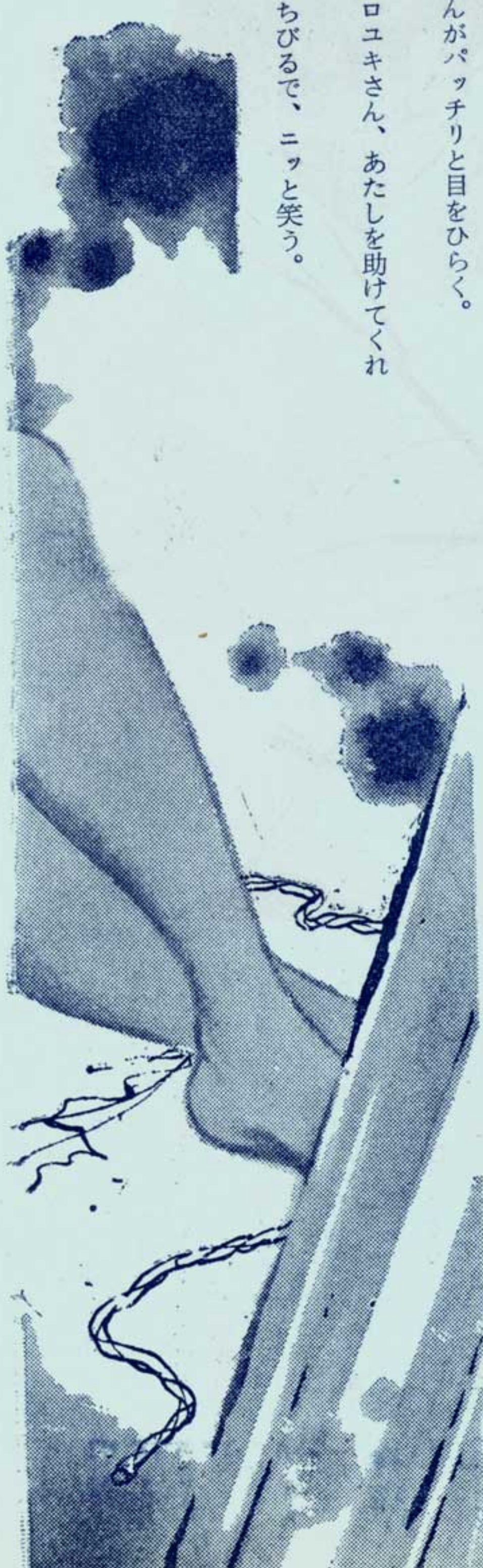
ぼくには一つの予感があった。

ヘンない方だが、その予感は、一種の生理的なうらづけをもっていた。

——あすこに行けば、きっと美也子さんがいるにちがいない。

まるでそれは、餌の隠してある場所を知っているけだものが、空腹感にみちびかれてそこに急いでいるような、そんなたしかな感覚だった。

じつは、ぼくは、その裏山を、のこりなく



探険しつくしていた。

そして、その奥の、ちょっと人目につかないようなところに、一つの小屋がひっそりと立っていることも知っていた。

だれが、どんな目的でたてた小屋か知らないし、持ち主があるのかどうかも知らなかった。

た。

しかし、不良がもし美也子さんを誘拐して何かするとすれば、こんな屈強な場所はないのだ。

夜の山道は暗かったが、それでもほのかな星あかりで、進路だけはどうやらわかった。



一時間ちかくも苦勞してそこをすすんだあげく、ぼくはやっと、小屋のあるところへたどりついた。

そして五、六メートル前方に小屋の形をすかしてみたとき、思わず、

「アッ」

とおどろいた。

かすかなあかりが、板のスキ間からもれているのだ。それはたしかに、ただごとではなかった。

なにからなまでに、まるで芝居しばいの筋書きのようになんかできていた。

小屋の板囲いにへばりついて、そのスキマから中をのぞいたぼくは、暗いロウソクのあかりに照らし出されたまま、がっくりとうなだれている美也子さんを、まぎれもなく見たのである。

佳人かじんは無残にも、荒ナワで柱に縛りつけられていた。

家を出るとき着ていた水玉のワンピースをつけたままだが、そのところどころは引き裂かれ、すそのあたりは大きく乱れている。そして、彼女の様子からみて、おそらく、そのまま気を失ってしまっているにちがいないと

見てとれた。

ぼくは、そうした美也子さんをかいま見ながら、ゾクゾクするような戦リツに、おそわれた。それにしても、男たちは、美也子さんをこのままにして、いったい、どこへ行ったのだろう。

おそらく、何かの理由で、現場をちよっとはずしたのだが、まもなく戻ってくるにちがいない。

——たすけるなら、いまだ。

ぼくは勇を鼓して小屋の中へはいった。

ロウソクのトウシンが、ジジッ、と音をたててもえあがり、あかりがひとときわ明るくなった。

ああ、そのあかりの中に、ぼくは、美也子さんの屈辱の姿を、あらためてありありと見たのだった。

さっき、小屋の外からのぞいただけではよくわからなかったが、美也子さんの表情や服装に残っている受苦のあとは、すさまじかった。

そのくせ、彼女のそうした様子は、彼女本来のうつくしさを、いよいよきわだったものにしていった。

かわいた土の跡やひっ掻き傷をとところどこ





ろにつけているその顔は、そのためよけい魅力的だったし、大きく割れたすそからのぞいている肉つきのいいひざ小僧は、お祈りをさげる少女のようにういういしく、かぶりつ

きたいようだった。

それは、かわいらしい人形が、たたきつけられ、無残に破損されたために、よけいその魅力をましたように見える、傷つけられたものの美しさだった。

そうした美也子さんの状態が、あることの直後を意味しているのか、それとも寸前を意味しているのか、ぼくには、よくわからなかった。

だが、そんなことはどうでもよかった。たとえコワれた人形にしろ、彼女はやはりぼくの女王さまだった。

そして、その女王さまが、こんな手の触れる近さに、こんな様子でほうりだされているなんて……。

しかし、いまは、そんな感想にふけている場合ではなかった。

男たちの戻ってこないうちに、なんとか彼女を助けださなければならぬのだと、ぼくは気づいた。



そこを縛って

その救出作業はひどくまどろっこしいものだったが、ぼくは夢中で、それをやってのけていた。

気がついてみると、ぼくは、美也子さんを背中におぶったまま、だらだらの下り山道をヒタヒタと、はだしの足音をさせながら下っているのだった。

息が切れたので、ぼくは途中で一休みしたくなった。

もうここまですれば、追ッ手の心配もなさそうだった。

それに、このまま、家に帰ってしまえば、あの美しい美也子さんはもうぼくのものではなくなるのだ。

もういちどぼくは、しみじみとふたりだけの機会をたのしんでみたかった。

それに、美也子さんがそんなふうにして気を失っているので、ぼくは、ふだんのような



羞恥にさいなまれることもなかった。

ぼくがそっと彼女を草の上に寝かせたときだった。

「もうだいじょうぶね、ここまでくれば」

とつぜん、美也子さんが口をきいた。

ずっと前から気がついていたような口のききかただった。

ぼくがヘッドモドしていると、

「あたし、ヒロユキさんと、こんなふうになるのを待っていたのよ。じつはあたし、ヒロユキさんのアレを見ちゃったの。でも、恥ずかしがらなくてもいいのよ。男ならみんなやるんですってね。でも、なんだかかわいそうみたい。あたしが、いい子いい子してあげるわ」

美也子さんの手が、ぼくのからだのどこにどう触れているのかわからなかった。

コンクリートでも流しこまれたよう

◎ MS 男同好会 (非営利)

私達のMSの趣味を、文通、交友を通じて結ばれる男性ばかりの純粋なグループです。入会金や会費等は一切不要です。返信料として切手10円同封の上、親書下さい。会則をお送りします。秘密は絶対に厳守します。

東京都千代田区神田神保町一の五四
奈良会館2階1号室 小倉 始

に、呼吸が止まった。

そのくせ下半身は、アンミツの中にでもあったように、こころよく溶けてゆくのがわかった。

その陶酔の中で、ぼくは、美也子さんがいうのをうつつにきいた。

「はやくしぱりつけて……ヒロユキさんとあたしのからだを……」

そして、エジャクトが起こったとき、ぼくは、自分の部屋で目をさました。カンカン照りの午後二時ごろだった。

「そこを縛って……はやく」

美也子さんが、姉にいう声がきこえる。夢の中できいたのと同じ声だ。

だが彼女は、あしたの出発にそなえて、荷ごしらえをしているのだった。

無残牛裂き原

赤木恵介

古正英生・え

① 山犬殺し

天保年間のある秋――。

上総の国根尻村紫雲寺という寺のへいそとで、ひとりの男が、カマでわきばらを突かれ血をながして死んでいた。

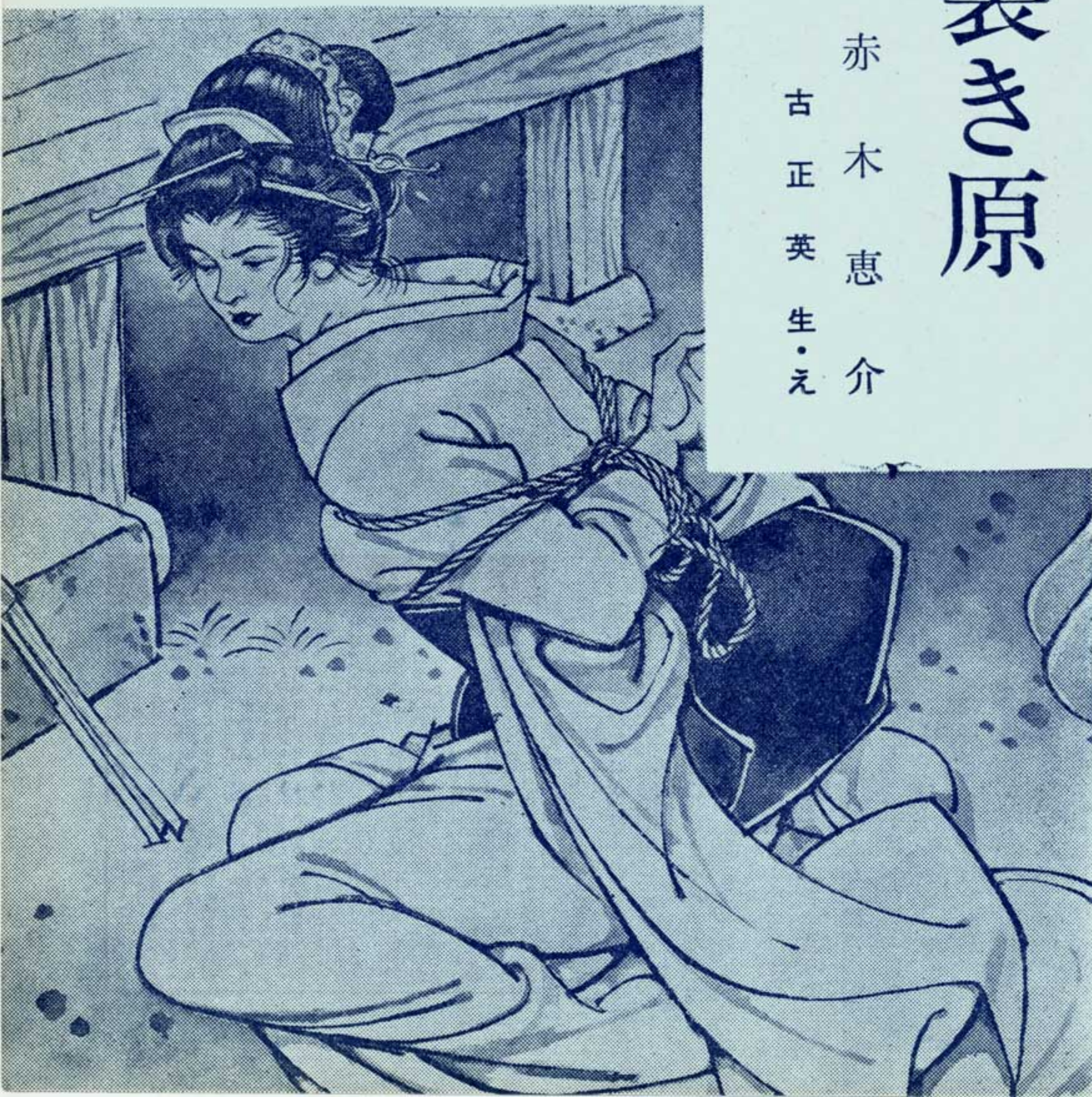
この男は、山犬の定八というヤクザであり、また、代官所の手さきもつとめていて、村びとたちからは、まさに山犬のようにきらわれている者であった。

「なに、定八が殺されたと申すのか！」

代官の香取軍内は、ほそい目をへびのように光らせた。

ウーム、とうなりながら、この代官のハラのなかには、ひとつの奸計が生まれていた。

――フフフ、うまくいくぞ。



② 美しい姉妹

じつは、定八を紫雲寺へやったのは、この香取軍内だった。

根尻村の百姓どものあいだに、ちかごろ不穩のけはいがある。凶作に比しての年貢の重さ。ゆえに百姓一揆をおこすうごきさえみえる。こん夜、村はずれにある紫雲寺の本堂で、庄屋の茂兵衛をはじめ、村の者たちの会合があるときいた。おまえは、寺にしのびこみ、百姓どものようすをさぐってこい。

軍内はそうって、定八を紫雲寺へもぐら



せたのである。

その定八が、よく朝、死体となった事実のうらには、百姓どもに不穩の策謀あり、と断じて、あながち早計でもあるまいな、と軍内はほくそえんだ。

しかし軍内は、下役人にめいじて、定八殺しの下手人として、庄屋の娘のお春とお光を縛らせたのである。

「な、なにをなされます、お役人さま。てまえどもの娘に、いったい、なんのツミがあつて！」

ぎょう天しておどろく父親の茂兵衛。

それよりもふるえあがつたのは、いまわしい縄目をかけられた、お春とお光だった。

お春はハタチ、お光は十八の、花におう娘ざかりのういういしい美しさ。

「あれ、お役人さま、なにをこむたいな！」と、けんめいのあらがいをみせる姉妹を、
「ええ、ツベコベとうるさい。すべてはお代官さまの前で申しひらくがよい」

役人は、ようしゃなく縄をうち、うしろ手に縛りあげると、ふたりの娘をひきたてていく。虎の威をかるキツネのごうまんさだ。

「キリキリあゆめ。そんな足では、代官所へつくまでに、日がくれてしまうぞ」

飛び出すノーパーンティショウ

★今迄誰も手がけ得なかつた女体の秘密をあます所なく捕らえたステレオ界前代未聞のズバリポーズ。うら若き女学生達の温泉場面に秘密撮影。淫靡きつた湯に映するむっちり引しまった魅力のモモきゅつとくびれたたまらない腰見ではならない禁断の神戯地。思わずふりつきたいステレオの魔力。情事に身をくねらせて嬉しく身も心もとろける様なセクシーモードの体当り演技。男予禁制のまばゆいばかりの桃源境を貴方の眼前で再現。他秘密撮影演出。撮影等各種豊富。今評判のステレオも大半が雑誌の口絵写真程度ですが本品は当会員の特別頒布品の中よりや、平凡な物を選んで一般分譲す。本品お買上げの方は準会員とし、特典あり。正会員は準会員中より厳選し個人的ご希望に必ず市販のステレオに不満の方始めての方もぜひ当会にご加入下さい。

7組入千円 20組入二千円 40組入三千円

右は特殊眼鏡一台付千共の価格必ず書留にて型録ナシ会員の皆様へ。長い間ご迷惑をおかけ致しました。此のたび漸く営業休止期間が過ぎましたので。新しい新たに発足致しました。何卒引き続きご愛顧致します。従前通り会員特報隔月発送。ご通信は必ず私書宛え。大宮局私書第二十三号。

(ステレオクラブ改め)ステレオ趣味の会

下役人のムチは、まるで馬か牛でも追うように、縄つきの娘ふたりの肩や背を打つ。

「あれッ」

と、いっそう足はもつれ、よろめきながら追いたてられる姿のいたましき。

ウフフ、さすが庄屋の娘だけあって、土百姓の娘とはグンとちがった色の白さ。品のよさ。だが、このキリヨウのよさが、娘たちの不運だわい。まったく、うちのお代官の好色さには、あきれるばかりだ。

縄じりとして姉妹をつきとばしながら、いやしくつぶやく下役人どもである。娘たちの前方には、やがて地獄の門がみえてきた。

③ 悪^{あく} 代^{だい} 官^{かん}

お春とお光は、代官所の中庭の上に、縄じりをとられたままの姿でひきすえられた。

「兩名とも、おもてをあげい」

その上座には、代官香取軍内のあぶらぎった顔がある。ヘビのような目で、美しい姉妹のからだをネチネチとながめおろす。

姉妹の前には、ベッコウさいくのかんざし

が一本、いみありげにおかれてあった。

「お春、お光、そのかんざしをよくみろ。ど

うだ、みおぼえがあらう」

軍内がいった。

姉妹は、そのかんざしに目をやった。いっ
こうにおぼえのない品物だった。自分たちの
ものではない。

「このような品、ぞんじません」

ふたりの娘は顔をあげて、わるびれずにこ

たえた。澄んだ四つのひとみだった。

「だまれッ」と、軍内の声があらくなった。

「この貧しい根尻村で、こんな高価なベッコウさいくのかんざしを髪につける娘は、おまえたちのほかにはいない。このかんざしは、殺された定八の手ににぎられていたものなのだ。すなわち、このかんざしの持ちぬしこそ定八殺しの下手人なのだ。どうじゃ、おそれあったか！」



④ 好色のワナ

いくらおどされても、身におぼえのないことだった。

わかった、これは、このいやらしい代官のワナなのだ！

と、姉娘のお春は、すぐそこに気づいた。半年ほど前のこと、この代官は、茂兵衛にむかって、

「姉妹のうち、どちらでもよいから、わしのところにメカケ奉公にだせ。そうすれば年貢米をまけてやらぬでもない」といつてきた。キ然たるたいどで、茂兵衛はその要求を拒った。

——お代官さまは、あのときのことを根にもっているのだ。定八殺しのうたがいなどはいいがかりにすぎない。

そう思うと、お春は気の遠くなるような、恐怖をおぼえた。

「これだけのショウコがあがっているのに、まだシラをきる気ならば、代官としても、かえがあるのだぞ」

軍内は、重いぶきみな声で威かくする。

「身におぼえのないことは、知らぬというより、しかたがございません。どうか、おゆる

してくださいませ」

哀願をつづけるふたりの娘に、軍内の表情は、はやくも、しぎやくの色をうかべて、ニヤリとくずれるのだ。

それから三日のあいだ、お春とお光の身につぎつぎと責めせつかんが加えられた。

「さあ、どうだ、痛いかな、くるしいか。くるしければ、定八殺しを白状しろ！」

下役人は、姉妹のやわ肌を、ビシビシとムチを鳴らした。

すると、そばでみている軍内が、

「さて。ムチ打ちはそのへんにしておけ。

娘たちの肌を、あまりキズをつけるな」

と、中止させる。やがては自分のモノになる肌を、キズつけてはまずいと思うのだ。

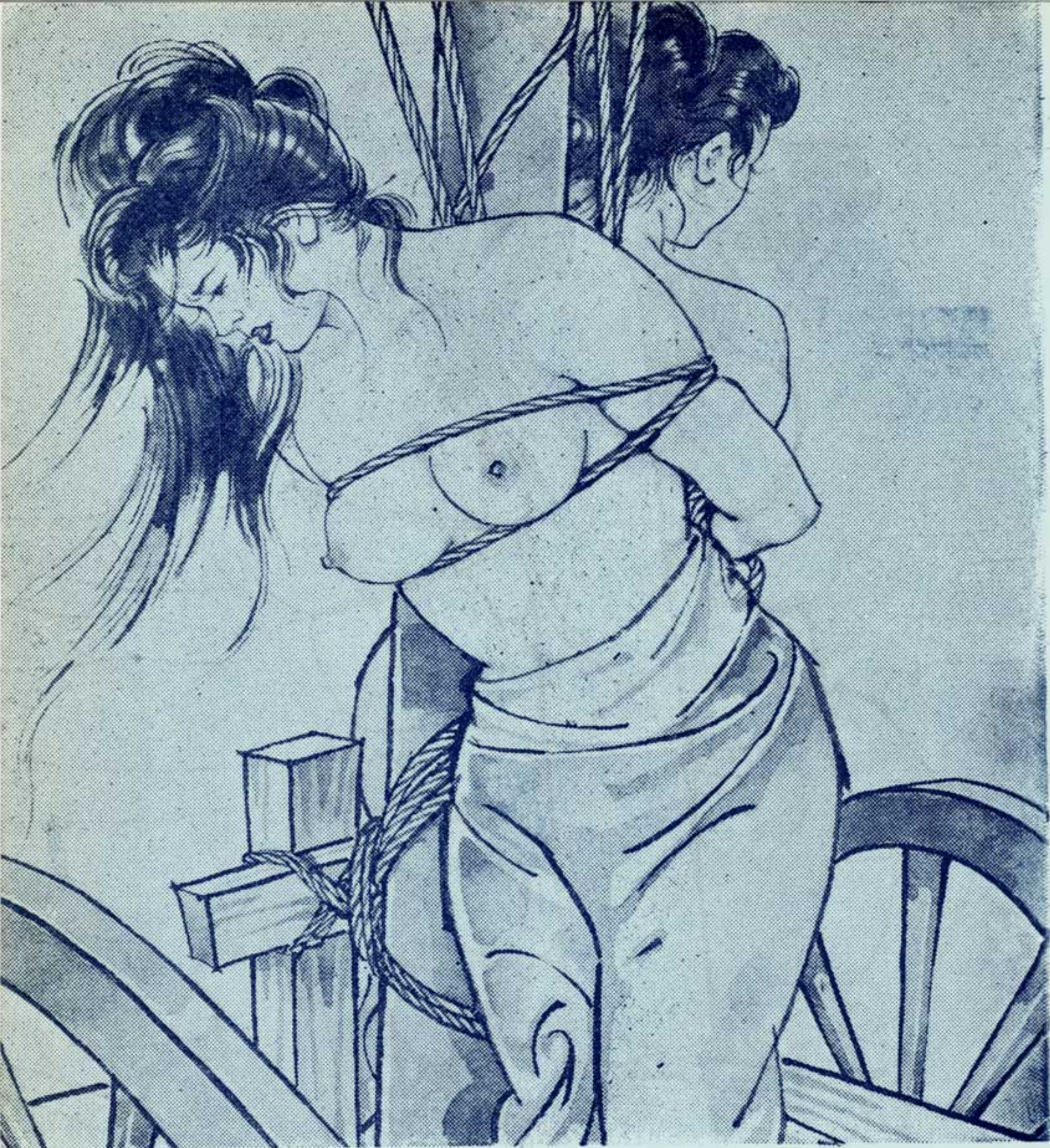
つぎは吊り責めだった。中庭の松の木に、ふたりの娘を吊りあげ、腰からしたを、ふとい割れ竹でたたく。

「ひーッ、おゆるしてくださいーッ！」

お春とお光は、のどから血をふきだすような悲鳴をあげ、宙に足をけって身もたえる。

「もうそのへんでおろしてやれ。いきの根をとめてしまつては、なんにもならぬぞ」また中止をめいずる好色代官であった。





⑤ 奇怪な牛車

「わしのいうことをきけば、定八殺しのうたがいも、なんとかモミ消してやる。どうだ」と、軍内は姉妹の耳もとに、なんどもこっそりささやいた。

しかし、姉妹は首を横にふるだけである。こんな男に身をけがされるくらいなら、死んだほうがマシ、と決意しているふたりなのだ。

「そんなにわしが憎いのか。ようし、どんな手段をはかっても、なびかせてやるぞ」

軍内はあせり、赤鬼のような顔になった。やがて——異様な荷をつんだ一台の牛車うしぐるまが代官所の門をでた。

ゆっくりと、根尻村の方角をめざしてあるきだす。その牛車の上には、一本のふと柱はしらがたっていた。その柱には、わずかに緋ひちりめんの腰のものひとつにむかれたお春とお光の裸身が、立たされたまま、背なかあわせの状態で縛りつけられていた。

もっともはずかしいとしごろの裸身を、外の人間どもの目にさらして、くるしめようというのだ。肌身を打たれるよりもつらい、これは「羞恥責め」だった。



⑥ ゆれる責め車

石ころの多いいなか道を、ガタゴトとゆれていく奇妙な牛車。車のまわりには、五、六人の役人が、六尺棒をもって警護する。

車の上のお春とお光の顔は、死人のような青白さであった。

太柱に縛りつけられたギリギリ巻きの半裸身。あらわにむきだされた乳ぶさの上下にきびしい縄目がくいこみ、つましい生娘きむめのふくらみを、こんもりと盛りあげていた。

腰からしたをおおった緋ひちりめんの色の、もえるようなあざやかさは、逆に、肌の色の白さをひきたたせる。

むごたらしいいけにえを縛りつけた牛車はガタゴトと音をたてながらすすんだ。

ゆれがはげしいために、やわ肌にくいこんだ縄がギシギシとこすれ、きざみこんでくるような苦痛だった。

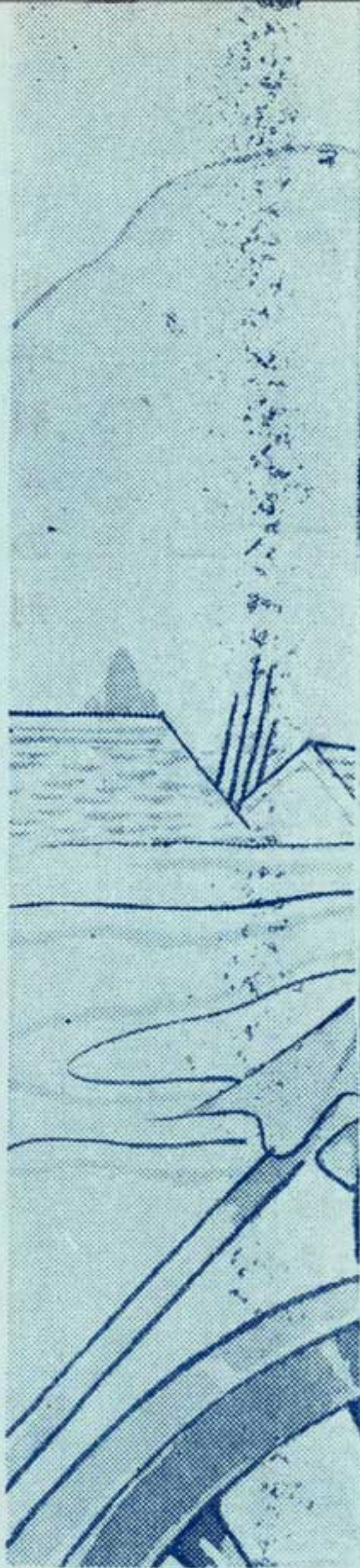
「ひーッ、う、う、うッ」

こらえようとしても、思わず声がでる。

「おねえさん、く、く、くるしいッ」

のけぞってお光はさけふ。

ふたりの悲鳴は、野をこえ、田をこえ、林をこえて、村びとたちの耳にとどくのだ。



⑦ みだら六尺棒

「ちくしょうめ、なんてえむごいことを！」

「代官のやつは、鬼だ、けだものだ！」

「かわいそうに、どんなにつらかう、庄屋さまのお嬢さまは！」

村びとたちのいきどおりは、声にはならない。口にだせば、自分たちの身があぶない。

役人は牛車をとめた。村びとたちを、ゴウマンにながめまわしていった。

「この娘どもは、定八殺しの下手人として、ひきまわされているのだ。おまえたちのなかで、もしお代官にタテつこうというフトドキ者がいたら、この娘とおなじ刑にしょせられるのだぞ」

役人の顔が、こんどは車の上にむいた。

「やい、お春、お光、これ以上のはずかしめをうけないうちに、泥を吐いたらどうだ。ま

だ強情をはる気なら——」

いいながら、役人は手にした六尺棒の先でお春の緋ぢりめんのスソをまくりあげた。

「あれえーッ！」

悲痛な声があがる。お春の下半身をおおっている緋ぢりめんは、みだらな六尺棒のために、ひざの上までもまくれあがった。

雪のように白く、娘らしい肉づきのももがむっちりとあらわれる。

百姓たちのノドが、ごくつと鳴った。

ザンコクなながめのなかに、いきなりむきだされた白肌の美しさに、人びとは思わずいきをのむ。

と——もうひとりの役人が六尺棒でこんどはお光のスソをまくりあげた。

「ああッ、ゆ、ゆ、ゆるしてえッ」

きれぎれの悲鳴が、お光の口からもれる。ノミにもふれさせない庄屋の娘の内ももが

げれつな小役人の思うがままになぶられるむごたらしさ。しかも、白日のもとにさらされる屈じょく！

「お役人さま、このとおりでございます。どうか、娘どもをおゆるしくくださりませ！」

ころげるようにすすみでて、役人の前に土下座したのは、父親の茂兵衛だった。

「うるさい、さがれッ」

六尺棒が、茂兵衛のあたまをめったうちにした。

血まみれになって倒れた茂兵衛のそばへ、村びとたちが、どっとあつまった。

現代科学のスパラシキ驚異!!

- ★写真の中にすましてある全裸の美女が突然あなたの眼前に現れる！一瞬目を疑うこの不思議！
- ★息づく乳房くねる腰しびれるようにふるえるモモ思わず手を出してさわりたいくなる物凄い飛び出し感！
- ★一糸まとわぬ美女群が限界線を超越したあられもない殺意であなたを見つめる！この種の写真では絶対不可能の特異現象が写真で再現！
- ★別冊写真新作ついに完成！秘密確保のためハガキ注文お断り！
- ★本品は単なる目のごまかしや錯覚によるものではなく科学に立脚する画期的製品で現実の世界を手にとるように再現します。一口に言えば生きたヌード美人をそのまま写真の中にカンヅメにしたものです。
- ★本品は通常の誇大広告に非ず！お気に召さぬ場合は返品交換ご自由！

飛び出すリヌード集

定価 6組入五百円 15組入千円 40組入二千元
★各種共帯用特許眼鏡一台付 ★厳密な検閲各種共30円
見本写真 及び説明書送料共50円 個人名にて誰れにも

浦和市元町一の二二〇K 振替(東京)三九八九三番
日本ステレオ科学研究所



⑧ 牛裂きの刑

どうしてもなびかぬ娘に、軍内の怒りは、頂点にたった。かわいさあまって、憎さが百倍、というやつである。

「よし、明朝はやく、あの娘どもを、牛裂き原において、牛裂きの刑にしてやる！」

代官所裏手の野原を、牛裂き原とよぶ。

数年前のある秋、この原で百姓一揆の首謀者が、軍内の手によって牛裂きの刑にされたからだ。

その朝になった。うしろ手に縛られたままのお春が、すはだかにされて地上に倒され、左右の足首をべつべつに太縄で縛られた。その二本の縄は、二頭の荒れ牛につなげられている。

牛の尻にムチが鳴れば、牛はそれぞれの方
向へいっさんに走りだすだろう。娘の裸身は
むざんにもマタからふたつにひき裂かれる。
お光にも、牛と縄とがむすびつけられた。
「わしのいうことさえきけば、こんなザマに
もなるまいに、わははは！」

軍内は、鬼畜の嘲笑にハラをゆすった。

そして、刑執行の合い図の右手を、たかだ
かとあげた。その、しゅんかん、

「わああッ！」というカン声、代官役人た
ちの周囲から、嵐のようにまきおこった。

ムシロ旗をおしたてた数百名の農民たちが
手に手にスキ、クワなどのえいものをもって、
役人どもにおそいかかったのだ。

「ひゃあッ、百姓一揆だ！」

軍内は蒼白になって立ちすくんだ。

一揆の先頭には、庄屋の茂兵衛がいた。

怒り狂った百姓たちは、とりしずめようと
する役人どもを、つぎつぎにぶち倒す。

「悪代官香取軍内、おもしろかったか！」

軍内の頭上にもクワがふりおろされる。

ようやく縄をとかれたお春とお光は、父親
の胸にかくたきしめられながら、それでも
まだ、くちびるをムラサキ色に、わなわたと
ふるえているのだった。

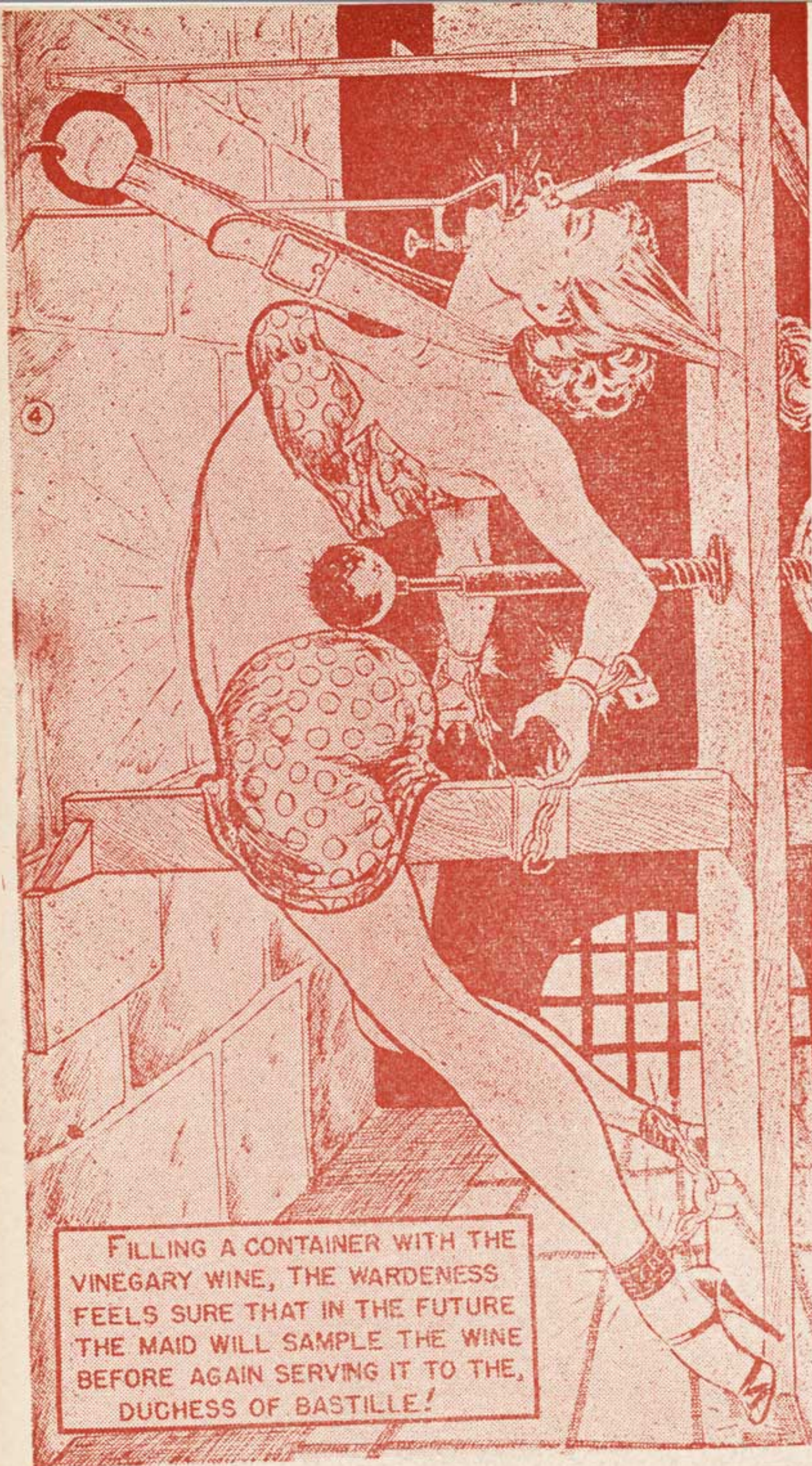
NUTRIX
CORNER

バスティーユ大公妃

— 女ばかりの国の残酷きわまる責め物語 —

スタントン

作ならびに絵

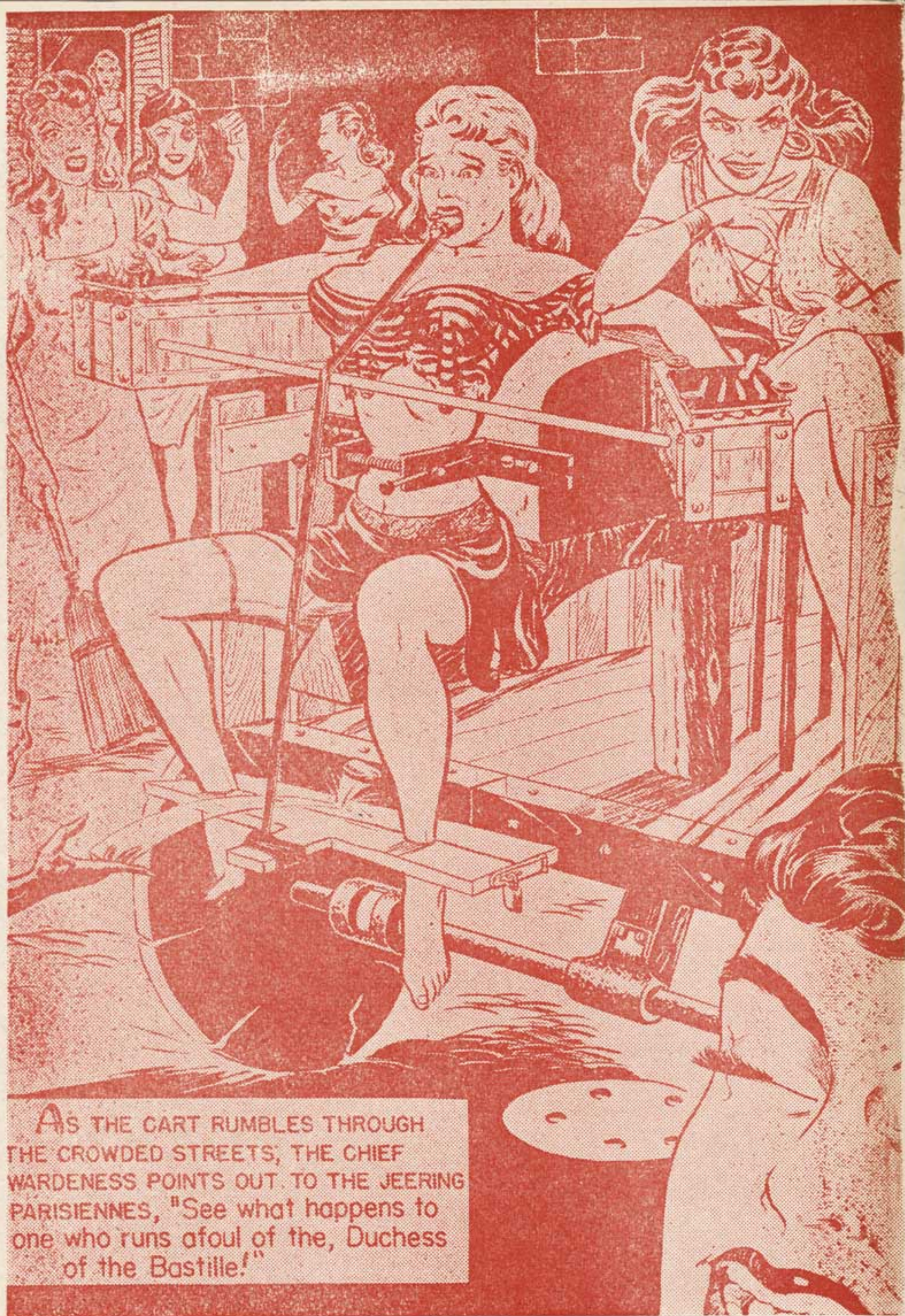


FILLING A CONTAINER WITH THE VINEGARY WINE, THE WARDENESS FEELS SURE THAT IN THE FUTURE THE MAID WILL SAMPLE THE WINE BEFORE AGAIN SERVING IT TO THE, DUCHESS OF BASTILLE!

エネグ、ジムなどと比べて、おとなしい画風と、奇抜な着想で多くの作品を残しているのが、このスタントンである。

これは、かれにとっては、いささか旧作に属するのだが、おもしろい人物の配置と、興味深い着想、漫画的な誇張は、じゅうぶんにかれがこの種の作品のベテランであることを示している。

この作品は、一集三〇章であるが、その内容は、だいたい三つに分かれている。その一



AS THE CART RUMBLES THROUGH THE CROWDED STREETS, THE CHIEF WARDENESS POINTS OUT TO THE JEERING PARISIENNES, "See what happens to one who runs afoul of the, Duchess of the Bastille!"

一つに、これでもか、これでもかと、ありとあらゆる責めの方法や、泣きわめき、拷問にくずれてゆく女たち、誇らしく、苦しみに

耐えてゆく女性、そうして、これらの犠牲者のうえに、次々と、想像もつかない責め苦を与えてゆく、嗜虐的な女たちが、ところせま

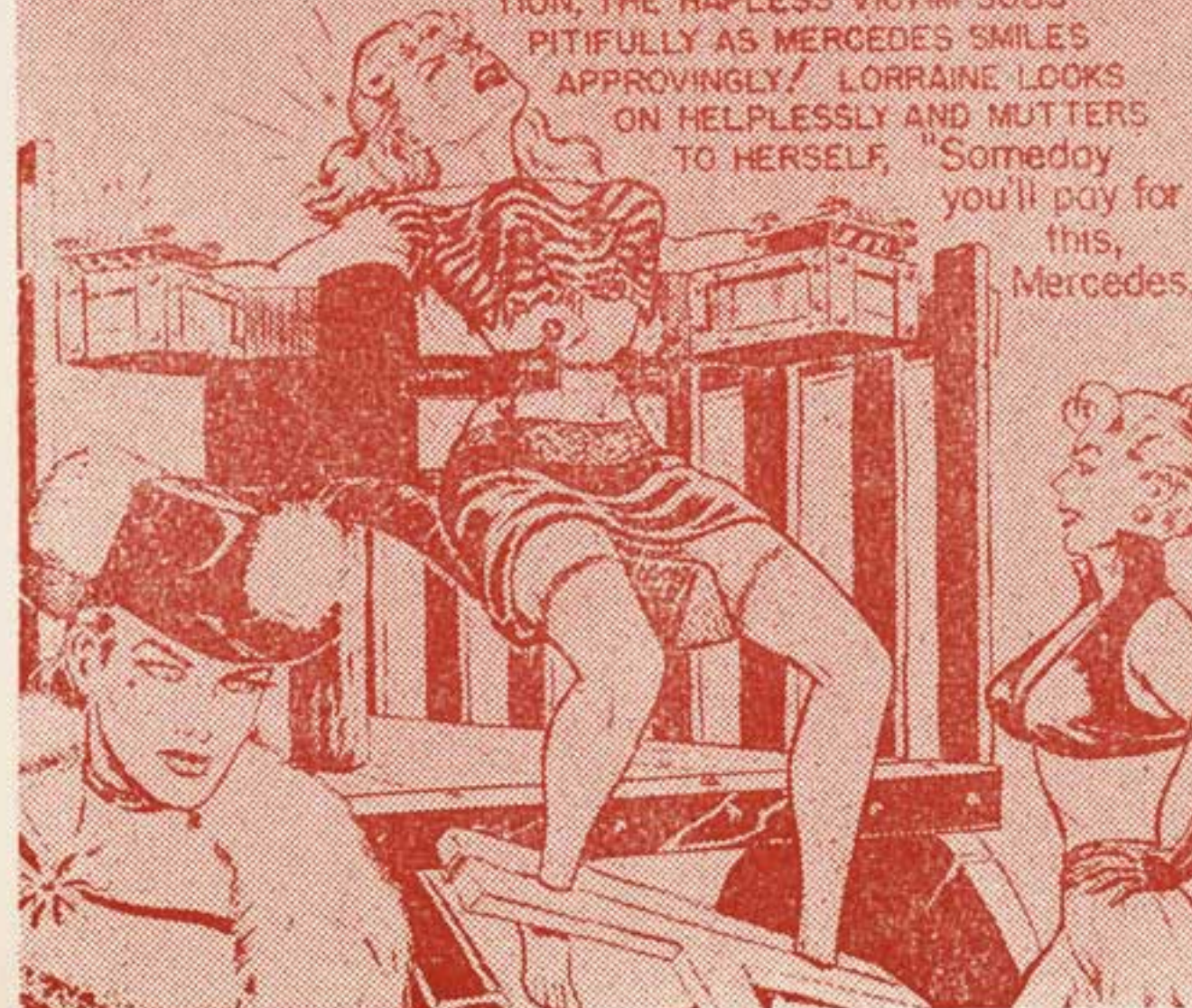
画集が、一枚に数点ずつはいいいて、絵の数が多いので、重要なものだけを選び出して、掲載するわけである。

しと描かれている。
グウエンドリンの第三集は、大好評であったが、ここにはあんなロマンチックな静かさはない。考える暇もないショックキングな場面の連続である。

グウエンドリンで「ラ・ボエーム」の静かなロマンチックに酔うことができたかたには、ぜひともこの「トスカ」に匹敵する動きのある、活動的な物語を紹介したいと思って、ここに、三百数十点のこの種物語の中からとくにこの一編を選んだわけである。



③ FASTENED TO A PENNANCE CART FOR PUBLIC EXHIBITION, THE HAPLESS VICTIM SOBS PITIFULLY AS MERCEDES SMILES APPROVINGLY. LORRAINE LOOKS ON HELPLESSLY AND MUTTERS TO HERSELF, "Someday you'll pay for this, Mercedes."



★ 物語は、フランス革命の前後と、仮定してある。
大公妃バスティーユは、専制君主たる女王の思われものであった。(この物語の登場人物はすべて、女性ばかりである。だから、大公妃というよりは、正しくは、女公というほうが正しいだろう。)

それをよいことにして、バスティーユ大公妃は、権勢をほしいままにしていた。彼女に反抗するような者は、直ちにひっくくって、バスティーユの城内監獄に投じるのだった。そこは、この世の生き地獄ともいうべき、おそろしい場所だった。
一方、このころ、アルゴンの女城主ロレイヌは、男まさりの人物だったから、この圧政

をくつがえそうとして、友人や家臣を集めては、反乱を起こす準備をしていた。
そのための軍資金を集めるためには、ロレイヌは、身の代金で一挙に、反乱資金の大部分を手に入れようとしていた。だから、まさきに、にくたらしいバスティーユ公の妹カミーユ侯をさらって来た。
気遣いのように、ロレイヌの家臣たちは、

Having been told that Constance has already paid the ransom, Lorraine immediately suspects the foul handywork of Duchess Mercedes and goes to the Bastille to investigate!



人質のカミーユをのせた馬車をはしらせた。すぐ後ろからは、バステイーユ方の追っ手が迫っている。さらわれたカミーユもなかなか強気な女だったから、馬車の女御者を、しばられた両足

Taken to the rendezvous, the helpless Marquise is hoisted to the limb of a tree!!!
"Let's hope for Camille's sake, there isn't too much delay," Lorraine exclaims!



で、御者台からけ落とした。もちろん、ロレイヌは、みずから手綱をとって、かたわらについていたのだが、御者は追っ手に捕えられてしまった。

ロレイヌは、覆面をして、広いつばの帽子をかぶり、皮の長靴をはいたという格好だったから、部外の者はだれも、ロレイヌだとは気づいていない。穴倉の中に待っていた同志のところ



に帰ってきたロレイヌは、捕まった御者を釈放させるようにと、すばやく、いつものロレイヌに早変わりした。

★

一方、捕まった御者は、かわいそうだった。ひろい幅の尻打ち責め器械の前に立たされて、裸の背をものすごい力で打たれるのだったが、どうしても主人の名まえを明かそうとはしない。

バスティーユは怒った、

「ギロチンにかけてしまえ！」

★

ギロチンにくくりつけられた女御者は、もう絶望していた。

切られた首が、ころげおちないように、バスケットが、彼女の前に置かれた。あとは、バスティーユの命令をまつだけだった。

そして命令で、ギロチンの綱がひかれると思ったとき、

「女王の命令！ 処刑中止！」

と叫びながらはいってきたのは、ほかならぬロレイヌだった。

★

処刑は中止になったが、女王の命令に不満なバスティーユ大公妃は、女御者をさらに責め上げるのだった。

両手を鉄板にはさまれ、舌をひき出され、またをひろげて三角木の上にのせられたみじめなこの犠牲者は、そのままの格好で、町なかを王宮へと運ばれていくのだった。

「おぼえておれ、いまに、おまえを、同じような目にあわせてやるぞ！」

ロレイヌは、歯をくいしばりながら、自身に言いかけせるのだった。

そして、パリの城内に近いところで御者を自由の身にすべく、とり返すのに成功したのだった。

★

一方、バスティーユ大公妃は、おもしろくなかった。女給仕のひとりがついだ酒を、「まずい！」とケチをつけ、こらしめたのために、土牢に送った。

「おまえに水をのませてやる」
そういつて女刑吏は、その給仕女の口をこじあけた。

こんなにひどい水責めは、いまだかつてないほど無残な責め方だった。

★

本拠にロレイヌが帰ってみると、部下たちが、カミーユをもてあそんでいた。ここにも、バスティーユにまけないほどの責め道具がそろっていた。

ロレイヌは、カミーユを責めた。

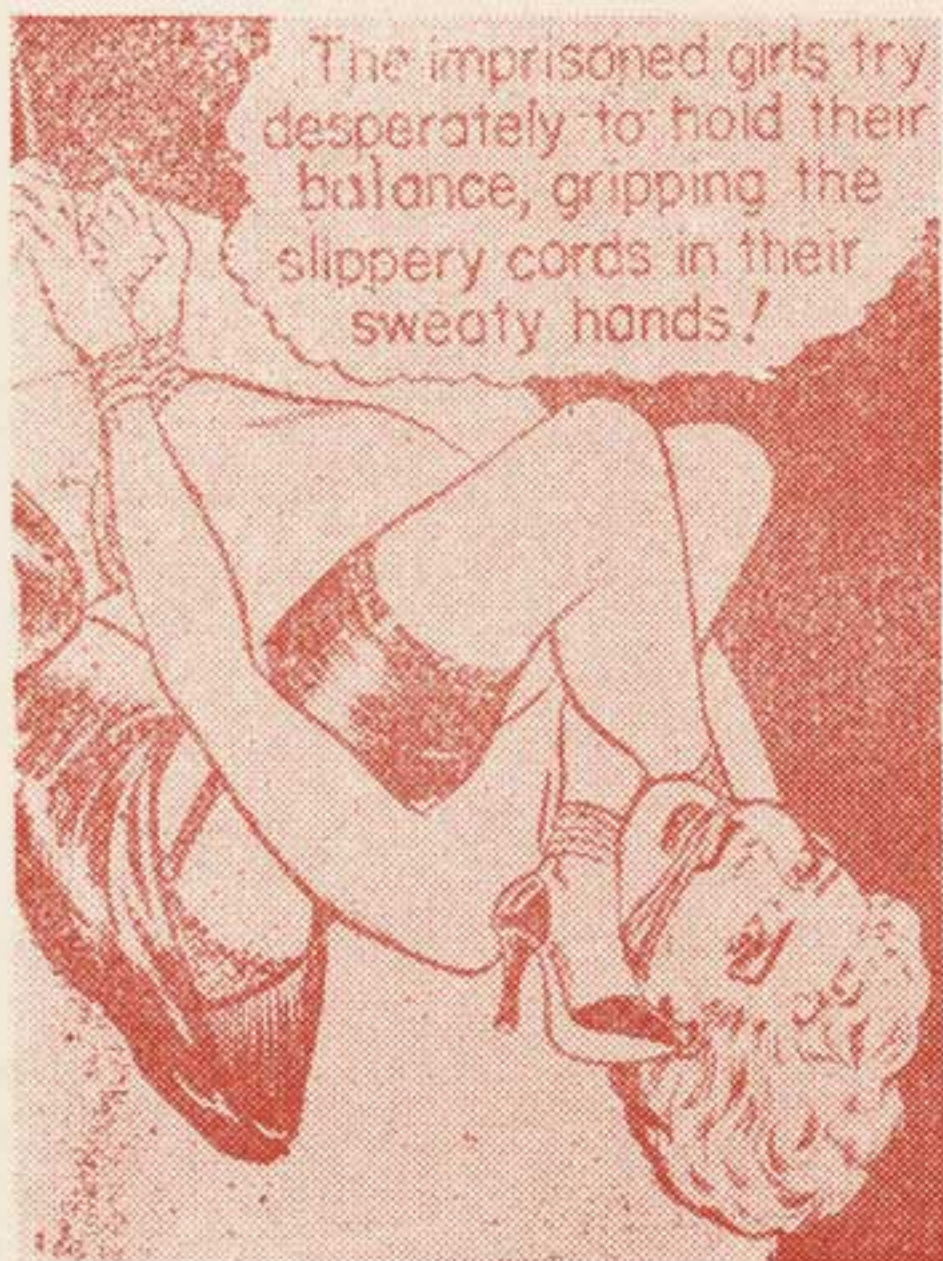
「どう？ これでもまだ身の代金の証書にサインをしないっていうの？」

「じゃあ、すこし、脚のほうで運動してもらいましょう」

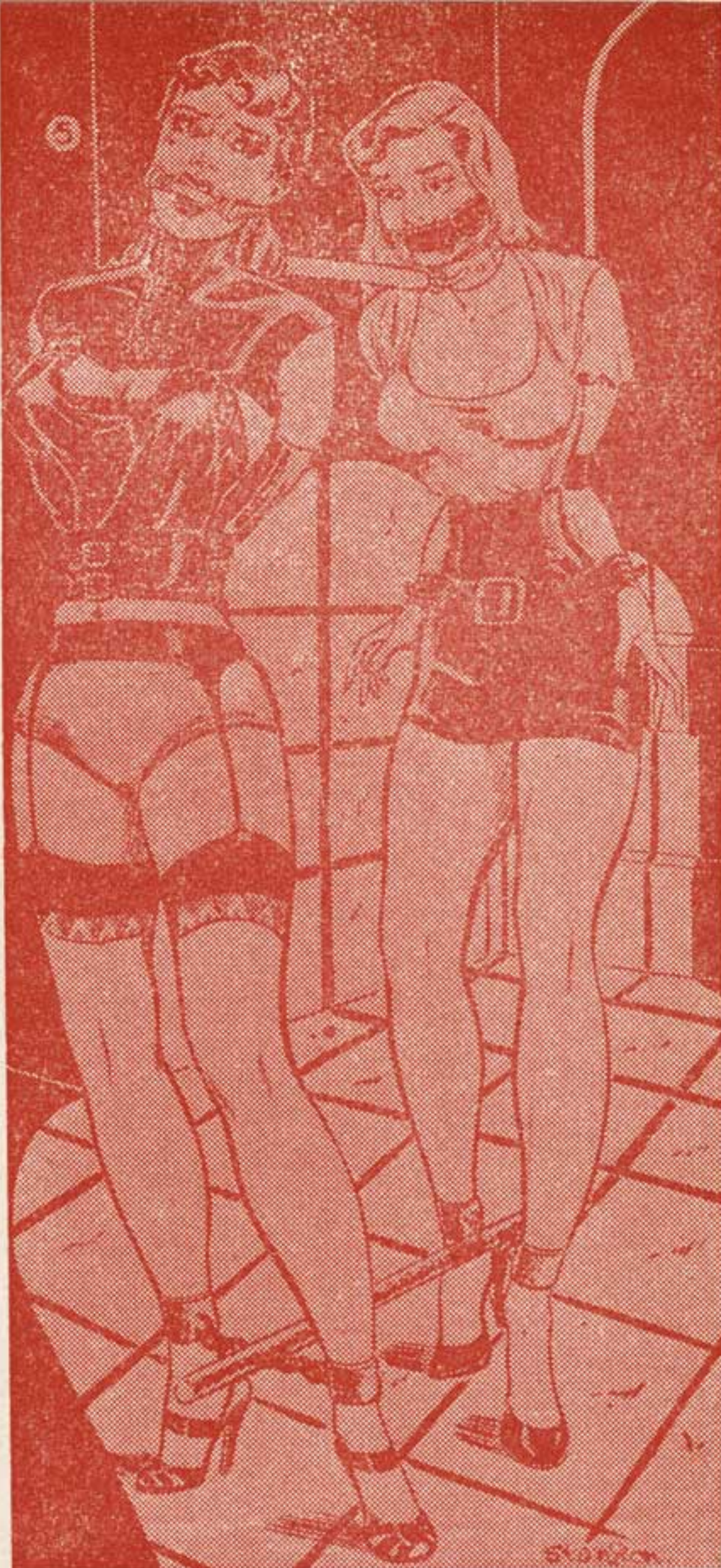
車責めが始まった。カミーユは、ついに、サインしたのだった。



Taking the guards,
unlocking a cell do
come upon more
Bastille's victims
bound and
gagged!



The imprisoned girls try desperately to hold their balance, gripping the slippery cords in their sweaty hands!



★
身の代金を払うように書かれた手紙を持ってバスティユに行った使者をみるなり、大公妃は激怒した。
「こいつをひくくって、ぶちこんでおおき！ 妹が無事に帰って来るまで、責めて責めて責めぬいてやるのだよ！」
たちまち、使者はつかまらえれ

てしまい、無残な形で、城の窓から首だけ出してしぼりつけられた。ロレイヌ方に、使者がひどい目にあっているとわからせるためだった。
これに対してロレイヌは、カミィユを皮の拘束衣にくるんだ。そして、町はずれの木に彼女を吊り下げた。
★
バスティユは怒った。
「首謀者はだれだ！ 言え！」
毎日のように、捕われの女御者に、あらゆる責め苦が与えられた。
★
そろそろ使者が帰って来るところだと思ったロレイヌは、城の窓から突き出されている彼女を発見した。
ロレイヌは、使者の口から、城内にとらえられている味方の様子を知った。
かれらは、ひどい目にあいっづけていた。
使者をうまく自由にしたロレイヌは、そっ
と城内に忍び込んだ。
★
女獄吏をつかまえて、犠牲者を解放し、その代わりに、女獄吏を同じようにしぼりつけた。

さらに、何人もの犠牲者が
救われた。

★

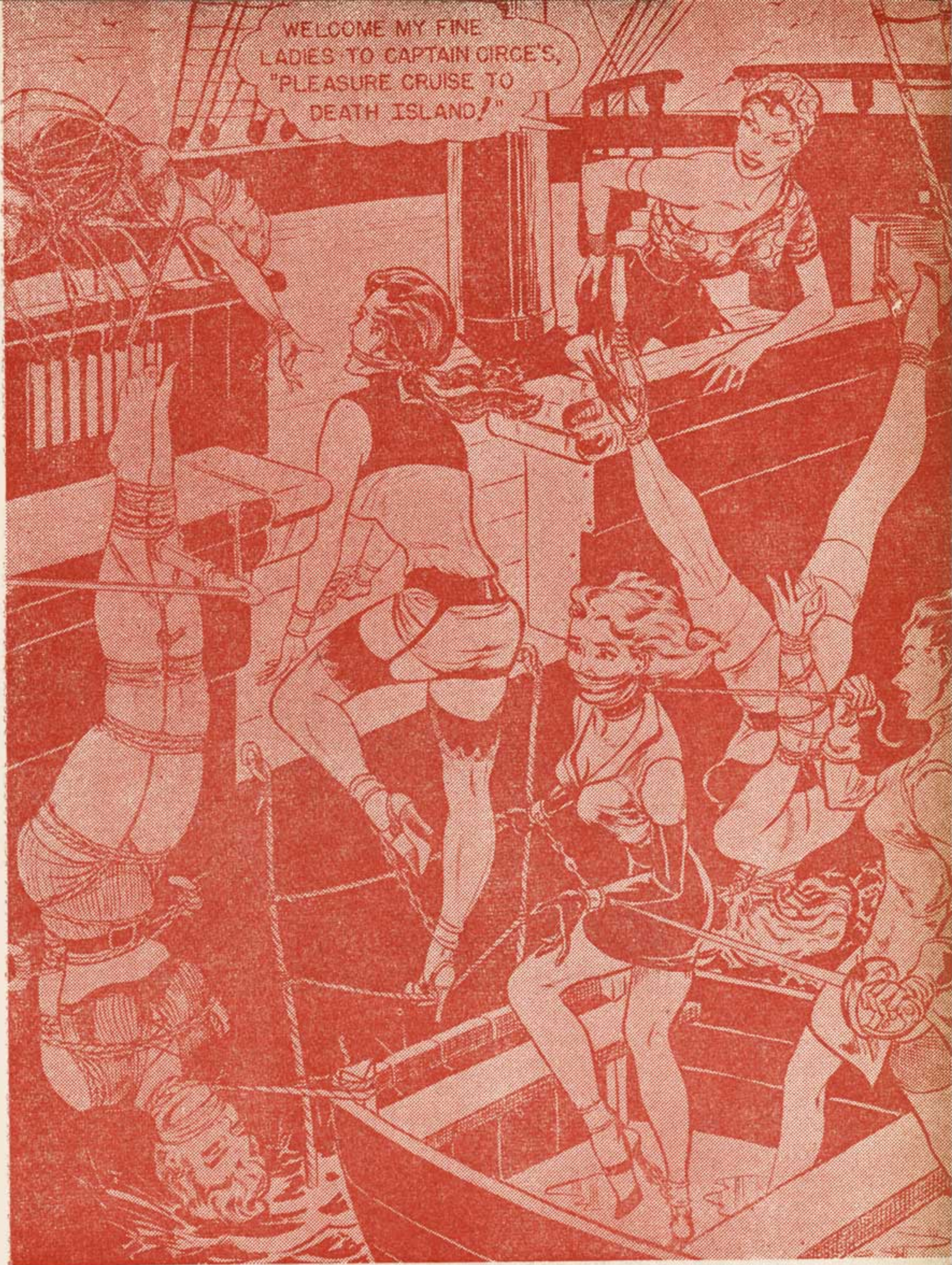
そうして、最後にひとり残
った味方を助け出そうとして
ロレイヌが、走り寄った瞬間、
石だたみは二つにわれてロレ
イヌは、地下深くすい込まれ
て行った。

★

こうして、パステイユの
手におち込んだロレイヌに
は、鉄床びきの拷問が加えら
れたうえ、何も証言を許さず
に、裁判にかけられることにな
ったのだった。



WELCOME MY FINE
LADIES TO CAPTAIN CIRCE'S,
"PLEASURE CRUISE TO
DEATH ISLAND!"



★ 判決は、"生命は許すが、死の島での重労働"というものであったのでロレイヌは、ほかの囚人といっしょにくくりつけられ囚人船へと追いつられて行った。

★ 囚人船はさながら地獄船だった。残虐な方法で囚人をはずかしめることが、船員たちの慰めだったから。

★ このあとにつづく、死の島の重労働がものすごいものであるが、それは次号に。

本編は、日本ヌートリクス株式会社(旧泰西出版資料会社)ヌートリクス社販売部の提供で、分類はC X 11 2 11です。

ある男のアバンチュール



赤い色の車

夏木紅也^{なつきべんや}は、恋人の裏切りで、その夜は酒場をはしご酒に飲み渡った。心に最大のショックを受けていたからである。

ひどく酔ったかれは、

「ちくしょう。おれの金を十万円も使いやがって。あいつは、洋子は、結婚の誓いまでしやがったから、おれは、おしげもなく十万円を使ったのに、それなのに、おれを裏切りやがって……」

と、ひとり言を言いながら、東一番丁の藤崎デパートの前まできたとき、赤い色のダットサン・ブルーバードが音もなく近づいてきてかれの横にとまった。運転手が運転台から顔を出して、

「だんな、それじゃ、もう歩くのは無理でしょう。どうです、なんなら、家まで送って行きますよう」

親切に声をかけた運転手のことばに、からだは酔っていても、心はそうも酔っていなかったかれは、「それもそうだな」と、しばらく考えていたが、

「じゃあ、のせてもらうよ」

榊原史生



と言うなり、座席にはいった。

車は、すぐスタートした。

「家はどこだい？」

「本寺小路だい」

運転手のことばに、かれは答えた。車が花京院通りにさしかかったとき、運転手はタバコをくわえて、ルームライトをつけた。

縛られた女

紅也は、なにげなくバックミラーに視線をむけた、そして、びっくりしたように「あ——」と声をあげた。それもそのはずである。

ミラーに映っているのは、ひとりの年若い女が、シユミーズ一枚の姿で麻縄でキリキリ縛り上げられ、後ろ座席に横たえられていたからだ。

かれは、夢をみているのではないかと思った。だがそれは夢ではなく、現実なのである。

——では、なぜ、この女は、こんな姿で縛られているのだろう——

かれには、わからなかった。すると、運転手は、ふてきな微笑を浮かべて、

「とうとう見られちゃったね。実は、その女は、この土地の風鬼組のボスの情婦だったん

だが、ボスを裏切って、別の男とくっつい
ちまったんで、フフフフ、それで、この女
をひそかに消しちまいなと、たのまれたの
さ、五十万円をいただいてな。だが、殺す
のにはおいしい女だ。そこで、ここまで
運んできたんだが……なんなら、おまえさ
んにこの女をやってもいいぜ。どうやら、
この女を殺すことは、おれの良心が許さね
え。だが、おまえさんがこの女を殺すも生
かすもかってさ……」

冷酷な運転手のことばに、縛られている
女は、顔をあおさめさせてワナワナふるえ
ているばかりであった。

紅也は、女の顔をじいっと見た。そし
て、アッと声を上げそうになった。女は、
なんと、かれを裏切った洋子によく似てい
たからだ。洋子にまるうつしなのだ。

瞬間、この女を責めてやろうという異常の
波が、かれの心をおそった。そんなかれの顔
色をうかがって運転手は、

「フフ……どうせ殺される女よ、今夜一夜な
りとも、たんとかわいがってやりな。ところ
で、おれの知っている家があるんだが、そこ
へ案内しようか」

言うなり、車のスピードをグンと上げ、仙



塩街道に国道を下った。

妖しき部屋

それから三十分、車は、松島の山の手の、
とある大きな家の前に止まっていた。その家
の中には、なんの目的でつくられたのか、か
なり広い地下室があり、その部屋に、縛られ
た女と紅也がいた。

紅也は、さきほどから、モルタルのかべに
はいつてあるスチールを、異妖の気配で見つ
めていた。

スチールは、どれもこれも、一糸まとわぬ
若い女が、柱や木馬に縛りつけられ、縛られ
た裸身があるいは鞭打たれたり、さいなまれ
たりしている姿が、写っていた。

その一枚一枚のスチールに、かれの目は異

常なほどにすいつけられて行く。

とそのとき、地下室のドアが開いて、かれをここに連れこんだ運転手が姿を現わして、「それじゃ、ここにはだれも来ませんからね」と言いすてて出て行った。

かれは、そんなスチールに急ぎたてられる思いで、縛られ、ころがされている女を、心ゆくまで責めぬきたい衝動にかられた。

かれは、無意識のうちに、ズボンからバンドをぬきとると、そのバンドを、女の背にビシリッ！と打ちおろした。

その激痛に、「ヒーッ！」と女は悲鳴を上げ、もだえころがった。

続けてかれは、ベルトをふりおろした。重くぶい音を発して、女の背に炸裂した。

女を鞭打っているうちに、その女の苦悶する顔が、自分を裏切った洋子に見えて紅也は続けざまにバンドをふり続けた。

苦悶にのたうちまわる女、それを追う男の異常な目とムチ。女の肌はたちまちのうちに、ミミズばれができて、見るも残酷なものになった。

針 責 め

紅也は、狂ったようになっていた。この異

常で妖しい加虐のトリコになったかれは、ムチ打ちにあきて、女をパンティー一枚の姿にし、床に両手足を八の字形に広げて縛りつけ、木めん針で女の乳房をチクチクさして責めていた。

幸か不幸か、この地下室には、責め具が数多くそろっていた。女を責めるために造られた部屋なのであろう。

「ここをこうして刺す……泣けわめけ」と言いながら、かれは木めん針を、休みなく女の乳肌をチクチクさした。そのあとからは、細い糸のような血潮がにじみでている。

かれはなおも、つかれたように、朱色にそまって苦痛にかたくなっているかわいらしい、乳首にも、木めん針をさして、

「これぐらいの苦痛は、おれが、女から裏切られたのとくらべれば、なんともあるまい」と言いつづけた。かれは、その女の上に、

洋子をダブらせるていうようだ。

女の顔は、苦痛にみにくくゆがみ、からだをよじって身もだえし、いっときもこの地獄の責め苦からのがれようとする。だが、縛られて自由のきかない身なので、それは、ムダなことであった。徒労にすぎなかった。

そればかりか、のがれようとして身もだえ

悩む男性に朗報

夫婦和合の秘器

リックバンド(リング)

勃起不全 本器の使用で数
間内に完全隆起する。

早漏の方 は持続力を数倍
加す。本器は最新の発明考案品

で、補助器具もサイズも不要。
(物理的原理応用、新案出願済)

定価 一組金四百円(送料共)
説明書 (申込次第無代密送)

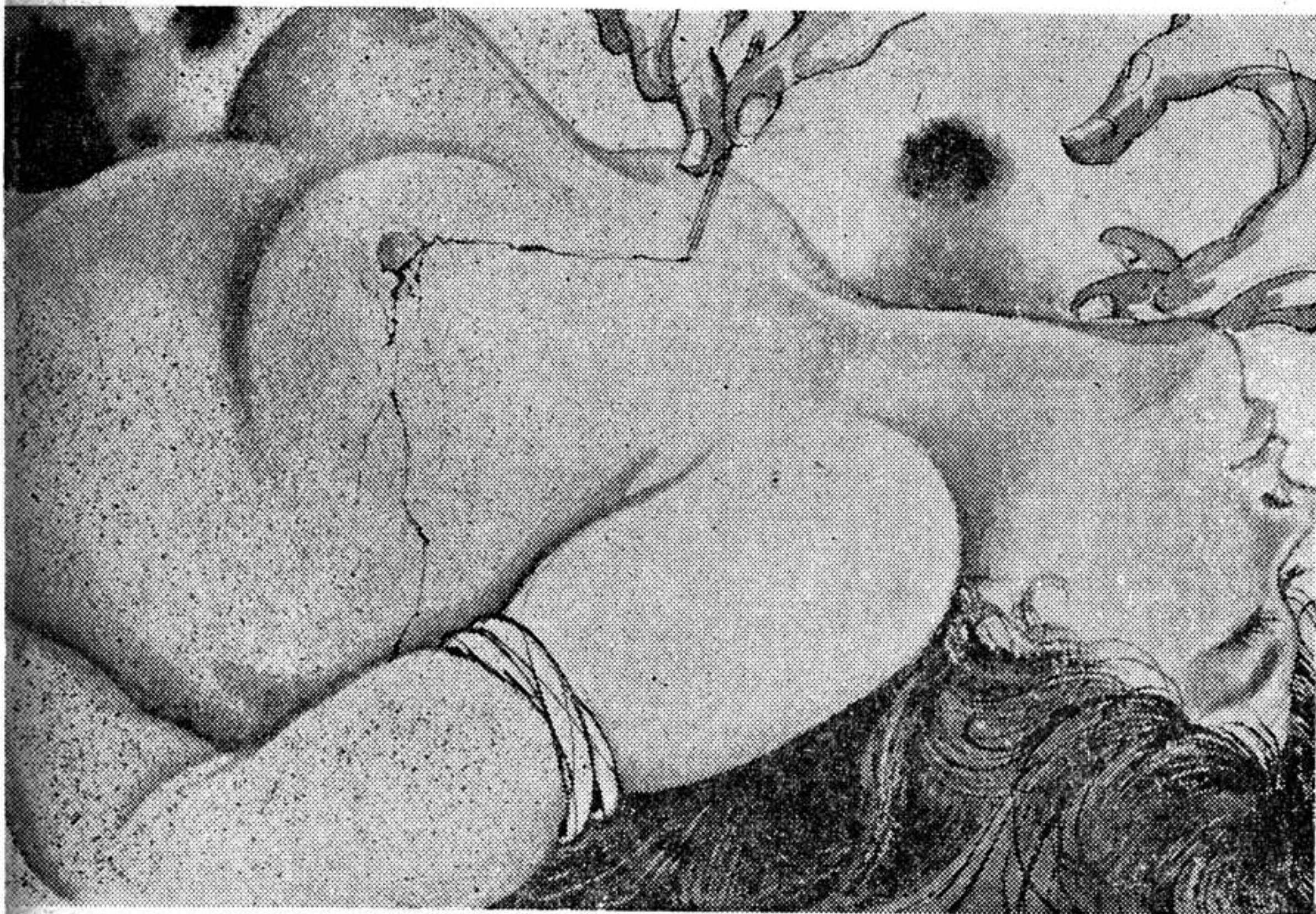
短小 はテンマ器で強大となる
短小 増大 テンマ真空吸引器

定価 金千六百円(荷造送料金百円)
東京都目黒区下目黒 錦光社

四丁目九番のA

すればするほど、かえって麻縄がしまり、女の両手両足首に食い入るのである。

だが、かれの目には、女が不思議な生きものに思われていたのだ。責めれば責めるほど生き生きしてくる女を感じていた。——女は魔物だというけれど、本当にそのとおりだ。だがまてよ、こんなにおれから責られても、この女は、助けてとも、許してとも言わない。もしかしたら、この女はマゾなのかも知れない。苦しみもだえ、悲鳴やうめきを上げ



るのは演技かも知れないぞ、心では喜んでゐるのだ。そうだ、それにちがいない。マゾの女をよろこばせてやるには、もっといろいろな方法で責めなければならぬのだな——かれは自分の心に言いきかせて針をすてた。

さか吊り

床に拘束しておいた女を一度解放すると、かれは改めて縛り直した。そして、天井に目をやって、「フフ」とふくみ笑いをした。

「なんでも責め具はそろっている」

かれはひとり言をつぶやき、高手小手に縛った女の両足首のあまりの縄に別の一束のロープをむすびつけ、そのロープの端を、天井にとりつけてある鉄の輪に通して、グイグイと力まかせに引っばった。

両足首から吊られて、やがて女の頭が床から三尺も吊り上がった時、ロープの端を、床に取り付けられている鉄の輪に縛りつけた。女はもう、死人のようにグッタリとなった。長い黒髪が床にたれ下がり、波のような乱れを作っていた。

紅也は、へやのすみに立ててある一本の竹を手にとると、吊られている女のからだをつきまわし始めた。

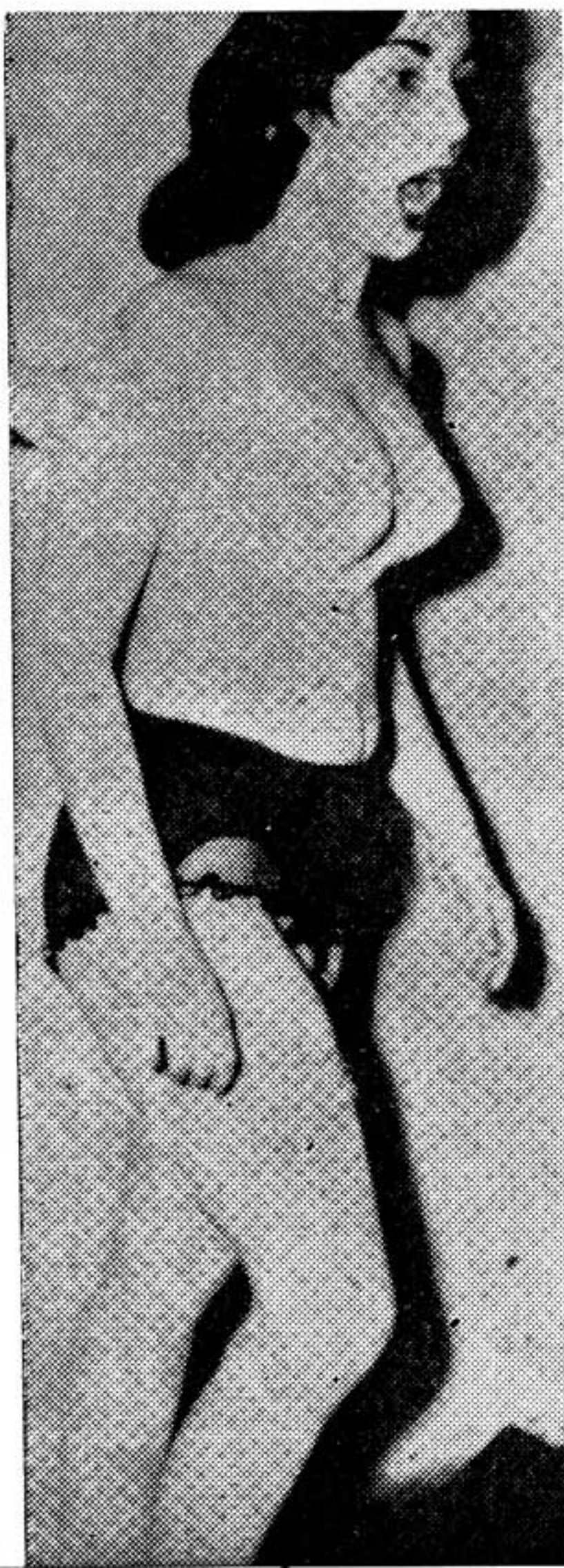
「それ回れ、それ回れ」と、切れ切れに言いながら、女のからだを竹でつき回した。

と、その時、部屋のとびらが開いて黒い布で顔をかくした男がはいってきた。後頭部にはげしい打撃を受けてかれは、その場に失心した。意識が遠のいてゆく紅也の耳には、「フフ……、このやろう、おれたちの仕かけたワナともしれず、これでまたひとつうけよ。このフィルムは高く売れるぜありがとよ、美子……」

こんな会話がかすかにきこえた。

<フォト・ストーリー>

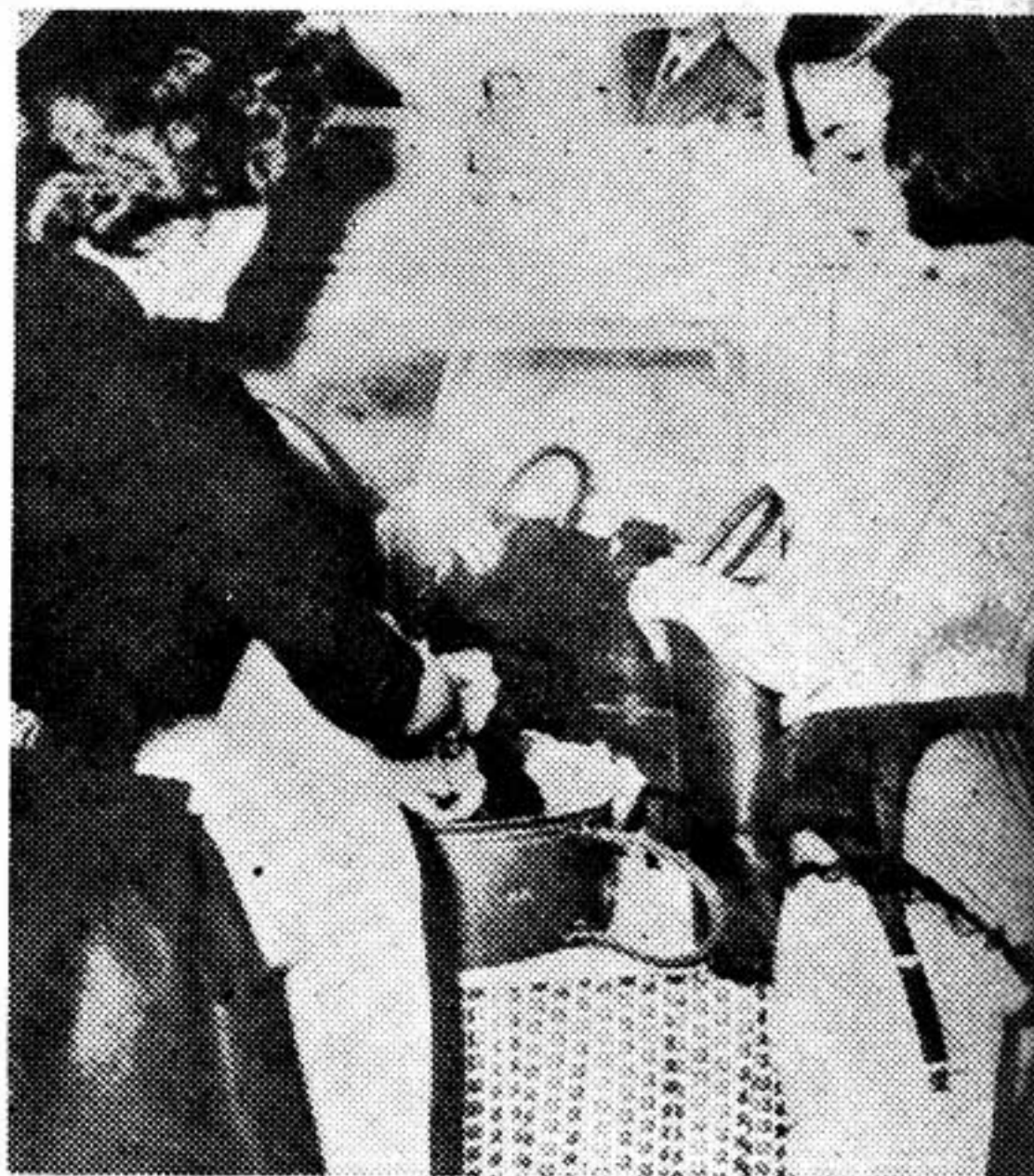
ゴルドン出版会社は、ここに紹介したようなフォト・シリーズをたくさん出している。大部分が、女同士の尻打ち、組み打ちのけんか・闘争であるが、上品な表現のなかにも、ほかに見



☆☆☆☆☆☆

楽屋裏の悪ふざけ

☆☆☆☆☆☆



①——あたしの名はマリオン、ある劇場で働いています。

その日、あたしは、ファンのひとりからもらった、高価なパンティーをさがしていました。前の晩に楽屋に忘れていったことははっきり覚えているのですが、どこを捜してもないのです。

ところが、ふと見ると、となりのキャロルのバッグのすみから、そのパンティーの端がのぞいているではありませんか！

②——「なによ、これ！ あんた盗ったのね！」

あたしは、乱暴にとり上げながら、キャロルに言いましたが——あたしはその時、キャ

られないおもしろさがある。



ロルのバッグの中に、妙なものがはいっているのを発見しました。

彼女のバッグには、「九尾の縄」っていうおそろしいムチや、そのほか変態性欲者が使ういろいろの責め道具などが、ギッシリはいつているのです。

キャロルは、盗ったのではない、とシラを切っていました。あたしには、キャロルのウソがすぐわかりました。

彼女はオドオドして、顔色が青いのですもの。

そこで、あたしは、彼女に、踊りのけいこをするように、命じました。つまり、あたしのお仕置きです。

③——「おいで！ けいこ場で、クタクタになるまで踊るのよ！ ひとのものに手をつけるなんて、どんなに悪いことか、思い知らせてやるわ！」

あたしは、二、三本のムチを、彼女のバッグから取り出して、キャロルをこづきながら、言いました。



④——ムカムカしてきたあたしは、支度部屋にはいるとすぐ、キャロルを押し倒しました。ありったけの力で、彼女をはり倒したのです。

※喜んでいる様子なのです。

⑤——そこで、彼女をあたしのひざにのせて、お尻に、



それで
もキャロ
ルは、う
れしそう
にして抵
抗しない
のです。
そんなあ
たしの仕
打ちを※

持ってきた幅のひろい皮バンドをふりおろしました。

パシッ！ パシッ！ という痛そうな音のなかで、キャロルは叫びましたが、それは、本当に痛がっているようには、とても思えないのです。しゃくにさわって、彼女の髪の毛をグイグイひっぱってやりました。

⑥——ところが、いつかあたしもおもしろくなってきましたので、四つんばいにして、

うしろむきにさせてキャロルにまたがると、今度は、そのベルトをはずして、それで、キャロルのお尻の割れ目を激しく打ってやりました。

キャロルは、楽しんでいるのです。叫んだり、許しを乞うたりしているのも、彼女の楽しみのうちなのです。



あたしは、このケダモノみたいなキャロルが情けなくなると同時に、こうやって、女の子にお仕置きするのが、なんとなくおもしろいものだということが、だんだんわかってきたのです。

⑦——あたしもドレスを脱ぎました。お互いにパンティーとブラジャーだけの、あられない姿です。

そうして、あたしは、キャロルの脚をつかんでひきずりました。

⑧——もうあたしは、このニヤニヤしてよろこんでいるキャロルには、ほんと手を焼きました。

「よし！ 痛い思いをしたのしんでいるこの女が、どれだけの痛さになら、本当に悲鳴を上げるか、ひとつ、思いっきりやってみよう！」

そう思うと、さっき使ってそばにおいてあ





った皮ベルトをつかむと、キャロルの髪の毛をグイとひっぱって、お尻の上のところを、まっかになるまで、力まかせにひっぱたいてやったのです。

キャロルは、大げさに悲鳴をあげて、痛がりますが、それはどうやら、うれしさを倍加させようというジェスチュアのように、あたしには思えるのです。

好きな人に贈る!!

大人の珍本 送共千四百円

大人の写真 送共 五百円

書画目録 30円封入の方に送る

東京都新宿局64号(印) 愛好堂

あたし自身、皮ベルトが、この豊かなお尻に当たる音と、もがいているキャロルをみているうちに、ほんとうにたまらなくなってきました。これでもか、これでもかという気持ちです。

そうになると、もう夢中で、あたしは、しゃくにさわった時に犬をひっぱたくように、あたしの手には、一回ごとに力が加わってゆきました。

この略号は、第182組のAとなっていますが、この後編には、B、C、Dがあります。B編では、マリオンの女友だちヒーザーが加わって、ふたりでキャロルを責めるストーリーです。このシリーズは各8枚(一八〇〇円)ずつ、計32枚(七二〇〇円)です。カタログのご入用のかたは、泰西出版資料会社(横浜市中区北方町1の67)へお申し込みください。



画報風俗奇譚

△在庫のお知らせ△

各号とも在庫がなくなつてまいりました。お申し込みは、お早めに、現金書留か振替が確実です。

△36年分△

画報風俗奇譚・第16集

9月号(一八〇円)

色刷り口絵Ⅱお小姓責め八田上

恵子・古正英生えV

グラビア①縛虐惑悦女の60態Ⅱ

ボロ舟の上で・髪も乱れて・

石の階段の縛愁・不自由な姿

態・乳ぶさを焼く・フジの根

もとで・酒場のスタンドで・

縛女のメニュー・縛女の供物

・痛められる女体・ぬれ縁の

縛態・タヌキ吊り……他

グラビア②男の別世界Ⅱ女装を

責める・縛られた女装者・立

っ木に縛られて・棒しばりの

姿態・白壁を背に・目かくし

の世界……他

責め絵集Ⅱ橋責め6景八田上恵

子・古正英生・えV

画報風俗奇譚・第15集

8月号(一八〇円)

色刷り口絵Ⅱふたり責め八田上

恵子・古正英生えV

グラビア①魅縛縄欲の姿態Ⅱ岩

場の縛姿・慕情の姿態・クサ

リでつなぐ・セロファンつつ

み・ネグリジュ一枚で・セー

ラー服の縛姿・木の股しぼり・

女の切腹絵巻……他

グラビア②男妖の園Ⅱたたずま

い・野原にひとり・受縛のな

画報風俗奇譚・第14集

7月号(一八〇円)

色刷り口絵Ⅱ女責め火と水と……

グラビア①緊縛競艶悦虐の肌く

らべⅡ縄のデュエット・寝巻

き乱れて・首をひっぱる……他

グラビア②男性悦虐ポーズ集Ⅱ

鎖しぼり……他

画集Ⅱ男の世界ハマックレンV

女を責める画集Ⅱしぶき責め・

木馬責め・階段の責め・野原

の杭に……ほか八田上恵子・江

馬美久・田上恵子V

ルイス・アピラとその作品……

(マゾ絵物語)踏んでちょうだい

(絵物語)美少年はオレが頂くぜ

(絵物語)江戸城大奥の無残地獄

画報風俗奇譚・第13集

6月号(一八〇円)

色刷り口絵Ⅱ責められる女責め

る女八田上恵子ほかV

グラビア①Ⅱ木馬責めの少女・

艶美なる切腹・受縛の置き物

・つい立て責め・ハシゴしば

り・艶縛のひと……他

グラビア②男性緊縛悦虐のポ

ーズ集Ⅱ縄と足の加虐……他

ルイ・アピラ・シリーズⅡ鞭を

もつ女・縛られた女3態……

凄艶責め絵4人集Ⅱクサリをま

とって・谷川づけ・美しき人

間椅子・背中を焼くローソク

八田上恵子・古正英生・江馬

美久・小田利美V

妖美な展覧会Ⅱ便器のそばの少

女・女騎手ハゴダルほかV

(絵物語)悪魔作家の仕事部屋……

(絵物語)処女タナの人成式……

楽しきかな足の魅力……その他

画報風俗奇譚・第12集

5月号(一八〇円)

名彩写真Ⅱ自己陶醉・ふたり愉

諸国責めばなし・男責めの巻④
ヌートリクス・フォト・ギャラ
リー……その他

悦・ひとり燃えて……………

グラビア①Ⅱ緊縛二重奏・セー

ラ・服乱れて・制服落花・草
はらで・碁盤いじめ・陶酔の
寝姿……………ほか

グラビア②妖美の花園に咲く姿

態Ⅱ縄の妖美・柱しばり2態
・靴のまま・あたしを愛す・
ふたりしびれ・そり責め…他

白い肌無残絵Ⅱさかさ縛り・歯

車責め・油地獄へ古正英生・
江馬美久・田上恵子Ⅴ

女装紳士録……………

(絵物語) 驕れる美少女ドラ……………

(サド絵物語) 黒眼鏡の野獣……………

(時代絵物語) 若武者裸の出陣……………

諸国責めばなし・男責めの巻②
グエンドリンの降伏と冒険……………

風変わりな展覧会Ⅱ奴隷市場・
レスボスの花園・ムチを持つ
女・淫楽殺人へ藤田嗣治・モ
ロオほかⅤ……………その他

画報風俗奇譚・第11集

4月号(一八〇円)

色彩写真Ⅱ野外受縛4態……………

グラビアⅡ石どうろう縛り・蝶
蝶しばり・屈辱の姿態・首吊
りのポーズ・棒で責める…他

口絵Ⅱ無残! 責められる女8態

(絵物語) 女子同性愛クラブ……………

(写真物語) ロープと鞭のプレイ
諸国責めばなし・男責めの巻①

女装コンテスト・女のレスリン
グ・処刑の部屋・サド女とマゾ

男・ホモの恋人・女サディスト
もう一つの世界……………他

女は何を考える?Ⅱロックス・マ
トウシエックらのアブ名画集

女装紳士録……………その他

画報風俗奇譚・第10集

3月号(一八〇円)

色彩写真Ⅱ艶縛クワルテット……………

グラビアⅡ雪中縛女・残酷な耳
責め・艶治吊り姿・緊縛立像

・流腸のとき・縛囚のひと・
おむつの代用・人間風……………ほか

口絵Ⅱ哀艶無残責められる女……………

伊藤晴雨責め写真集……………

(絵物語) 男はあたしのしもべ……………

(絵物語) 天道白蛇教異聞……………

(写真集) 尻打ちの世界……………その他

2月号(一八〇円)

色彩写真Ⅱ肌もあらわに・制服
無残・裸姿の緊縛……………

グラビアⅡ女性刑罰史絵巻……………

女体責め悦虐画集……………

異常な性風俗展覧会……………

(絵物語) 女を責める5態……………

(絵物語) 山小屋のいけにえ……………

(写真物語) 深夜の危険なショー……………

(絵物語) 皮ハギ小屋……………その他

色彩写真Ⅱ女体羞姿・縛虐重奏

グラビアⅡ盛装無残・腹切り悶
・禪姿の男・クモしばり…他

口絵Ⅱ女体責め絵巻……………

鞭打10のア・ラ・カルト……………

自分を愛すへヘゲマンⅤ……………

女装マニア・愛されるよろこび
(絵物語) 縄と鞭に魅入られた女

(絵物語) 女の責め絵巻……………

女をいじめる5景……………その他

画報風俗奇譚 4月臨時増刊

緊縛女体・ポーズ・女性責
め絵読物集(大判)二八〇円



△35年分▽

画報風俗奇譚・第7集 (一八〇円)

画報風俗奇譚・第6集 (一八〇円)

画報風俗奇譚・第5集 (一八〇円)

画報風俗奇譚・第4集 (一八〇円)

画報風俗奇譚・秘蔵版 (二〇〇円)

画報風俗奇譚・第2集 (一八〇円)

画報風俗奇譚・第1集 (売り切れ)

秘蔵版風俗画報・第2集 (三〇〇円)

秘蔵版風俗画報・第1集(売切)

画報風俗奇譚 1月臨時増刊

凄艶女体緊縛写真・責め絵
悦虐秘画集(大判)二八〇円



『風俗奇譚』在庫のお知らせ

ご注文は現金書留か振替為替がご便利です！

△36年度V十月号(一五〇円)

多色口絵II爬虫類の洞窟……
 グラビアII妖美の世界の女と男
 窓ぎわのえもの・縁側の被縛
 二つ折り縛り・柱に足を・黒
 いタイツをはいた女・庭のす
 みで・ネグリジエ緊縛・襲わ
 れた女学生・あるハリツケ縛
 り・胸を張った姿勢・野外立
 縛・だれかこないかな？……
 特集II男同士の愛欲図絵……
 女子同性・イチジクの木の下
 で……
 わが恋終わりぬ……
 レスボスの精神愛と愛の技術
 同性交歓・白禪は悲しからず
 や……
 同性愛は自然への反逆ではな
 い……
 ホモの窓・三都のホモ旅館……
 ホモを楽しむ5のヒケツ……
 乗り物責め口絵7景IIヘリコプ
 ター吊り・モーターボート責
 め・ケーブル吊りほか……
 縛りあげられた女医師……
 欧米MSの家めぐり①イリスの
 家の変態娼婦……

悦楽最中に昇天した伯爵夫人……
 絵物語II女旅役者花木一座……
 新連載時代小説II多門砦……
 転性奇談II黒い記録……
 連載小説II悦虐の彷徨⑥異常の
 群れほか……
 九月号 (一五〇円)
 多色口絵II竜責めにされる風早
 中尉……
 グラビアII縛悶のポーズ・すだ
 れの上で・マキの山を背に・
 水が冷たい・珍砂なハリツ
 ケ・川岸の無残絵・ネグリジ
 エの姿態・庭園の縛女・木と
 六尺禪の男と・男の全裸像……
 特集IIサド・マゾ・プレイに陶
 酔する男女……
 痴戯諷狂図……
 格闘のもつプレイ的楽しさ……
 アブ・プレイの効用……
 狂熱のSM交響楽……
 ぼくは女に飼われている……
 白い肌にお灸をすえる楽しさ……
 浣腸同好会5つのプレイ……
 ホモの窓・ゲイ・バー案内……
 ほも禁秘帖⑪ソドミアのソドム
 の意見……
 サルダナパールの虐殺・血潮の
 饗宴……

マゾの女王ベティ・ペイジ・ヌ
 ートリクス社提供……
 マゾヒストの手紙から・最終・
 キリシタン迫害画譜・責め苦の
 中に昇天した人びと……
 女装マニア銘々伝ほか……
 八月号 (一五〇円)
 多色口絵II白い肌をよごしてや
 るんだ……
 グラビアII裸身痛まし・海辺の
 ふたり緊縛・椅子の残虐・床
 の間も責め場・緊縛の表情・
 足を責めるほか……
 特集IIフェチズムの人たち……
 わが愛するお尻……
 ふんどしマニアの女……
 写真・残虐なるサディズム
 ハンブルグの血に狂うインゲボ
 ルグ……
 ムチに生きる令嬢……
 ほも禁秘帖⑩男色者の異性関係
 浣腸とお灸と縛り……
 中世紀の拷問諸刑具のいろいろ
 田上恵子女体責め絵画集……
 全裸美女の凄艶切腹図絵……
 連載小説・炎帝廟・虐殺指令・
 悦虐の彷徨……
 七月号 (一五〇円)
 多色口絵II赤いハイヒール……
 グラビアII縛悦の姿態・魅虐の
 世界・足責めのポーズ・受縛
 の白い人魚・女学生サディズ
 ム・うしろ方形縛りほか……
 特集II責めさいなまれる女と男

お銀母娘しぼり……
 夫のお仕置きがうれしい……
 アブの世界のプライバシー……
 ホモの窓・女装愛好の部屋……
 マゾヒストの手紙から⑫……
 浣腸ふたりプレイの記……
 私の好きな被虐の見せ物……
 ハイヒールのワンダ……
 続・ある完全女装……
 イギリス近着フォート……
 連載小説・炎帝廟③・虐殺指令
 悦虐の彷徨③……
 六月号 (一五〇円)
 多色口絵II美しきいけにえ……
 グラビアII妍を競う艶縛姿態集
 しごきで縛られて・寝乱れ縛
 姿・全裸に縄が・縄の悶悦・
 縛られたポリウムほか……
 特集II女装に陶醉する男たち……
 ああ女装の夜はふけて……
 男性の心の底に眠る女装願望
 女装花ひらくとき……
 ふたりのマゾヒストの女……
 ホモの窓・女装愛好の部屋……
 夜行動物……
 女性の残虐なる責め場集……
 豊満な白いお尻の魅力……
 女体に加えるウナギ責め……
 連載小説・虐殺指令・炎帝廟②
 悦虐の彷徨②……
 五月号 (一五〇円)
 多色口絵IIムチをふるう女……
 グラビアIIふたり縛り・制服は
 嘆く・狼藉の一瞬前・荒縄が

肌を噛む・どうされるのかしら？・悦唐の時が来るほか…
 特集Ⅱ鞭に憑かれた男と女
 鞭よ、愛しておくれ…
 だれも持っていない鞭の関心…
 ムチで鍛えられた女…
 ムチと皮紐の一夜…
 ふくよかな処女の尻に…
 6人の受難の女…
 ほも禁秘帖⑦狂崇の対象…
 同性マゾヒストとの会話…
 乗馬マニア9人の女たち…
 女騎手強制調教所…
 あたしは肉体まで女になった…
 連載小説・炎帝廟・悦唐の彷徨
四月号 (一四〇円)
 多色口絵Ⅱ赤い靴のドミナ…
 グラビアⅡ太鼓しぼり・木にくくられて・荒小屋を背に・石の階段は冷たい・古雅の中庭で・緊縛悶姿ほか…
 特集・東西古今刑罰残酷物語…
 世界残酷刑罰の生態…
 刑罰と拷問のいろいろ…
 江戸封建社会の刑罰…
 花井お梅の獄中日記…
 刑打ちの世界泰西名画集…
 責められる女の姿態…
 晴雨流女のしぼり方・伊藤晴雨
 ほも禁秘帖⑥…
 私のいけにえになった処女…
三月号 (一四〇円)
 多色口絵Ⅱ雪の露台…村上ユキ
 グラビアⅡ雪の女・雪にころが

されて・妖艶切腹の図・制服椅子責め・裸身ながながと…
 特集・マゾヒストの世界…
 マゾ小説・でんすけ地獄…
 絵物語・毛皮を着たヴィナス
 妖異の世界…
 乳房・尻・頭髮フェチシズム
 女体責め画集…
 グラインダー地獄・また裂き
 変型責め・車責め・納屋の首
 吊り・あやつり責め…
 江馬美久・田上恵子の傑作画集
二月号 (一四〇円)
 多色口絵Ⅱ縛愁・囚花・制服は悲しからずや・乳房をかむ縄ハリツケ縛り・緊縛・拘束の写真と責め絵画集…
 妖美なる女体責め絵集…
 三人のソドミア…
 鞭打悦唐小説傑作特選集…ほか
一月号 (一四〇円)
 多色口絵Ⅱ血を好む大公妃
 責め絵特集Ⅱ空中緊縛ほか…
 色刷写真Ⅱふたりプレイ・オンパレード・レザー・フェチシズムほか…
 グラビア・妖美吊り艶縛・ころがし責め・ハリツケとさか立ち・閨怨のポーズほか…
 特集・ソドミアとレスボス…
35年度V十二月号 (一四〇円)
 特集・伊藤晴雨責画写真自選集
 多色口絵・野ざらし…
 責め絵スケッチ集…

晴雨女体緊縛写真集…
 伊藤晴雨さんのプロフィール…
 晴雨さんの雪責め…
 グラビアⅡ石段の緊縛裸女・め
 しい鳥・石垣の前で・長じゅ
 ばんも乱れて…
十一月号 (一四〇円)
 多色口絵Ⅱ水地獄…土井啓子
 女体責め絵Ⅱ丸太小屋の惨・岩
 場ハリツケ・竹しぼり責め・
 射撃の射撃のマト・ほか…
 グラビアⅡ艶麗無残・はなやか
 な足吊り・犬の首輪のブラジ
 ヤー・吊るし責め他…
 特集・戦争残酷の記録…ほか
十月号 (一四〇円)
 多色口絵Ⅱ女体知恵の輪…
 色刷写真Ⅱ美しき囚虜・あかり
 も淡くほか…
 グラビアⅡ白衣の佳人・長椅子
 と女・白衣も乱れて…
 特集・サディストの乱れ…ほか
九月号 (売れ切れ)
 多色口絵Ⅱ空中鞭打…
 原色写真Ⅱ巖頭の裸女・つるさ
 れた白魚…
 グラビアⅡ落花の景・裸女無残
 二人しぼり…
 特集・女装する男たち…ほか
八月号 (売れ切れ)
 多色口絵Ⅱ受縛二重奏…
 口絵Ⅱスれ小屋の残酷…
 グラビアⅡスタンドの美女…
 特集・レスビアンの生態…ほか



< B 5 判 >

280 円

風俗奇譚5月臨時増刊
 マゾヒストの天国特集号



< A 5 判 >

250 円

風俗奇譚8月臨時増刊
 サド小説とマゾ読み物特集号

七月号 (一四〇円)
 多色口絵Ⅱ落花図絵…
 グラビアⅡ恋慕受縛・姐上の白
 魚・肌もあらわに…
 特集・食人症…ほか
六月号 (一三〇円)
 多色口絵Ⅱ痛ましき祭壇…
 グラビアⅡ樹間のニンフ・密室
 の呪縛・足づり裸女…
 特集・フェチシズム(淫物症)…
 夏の臨時増刊号(一八〇円)
 法悦特集五月号(一四〇円)
 法悦特集三月号(売り切れ)
 春の臨時増刊号(二〇〇円)
 艶妖特集二月号(一四〇円)
 創刊臨時特集号(売り切れ)

代理部の分譲写真 一覧

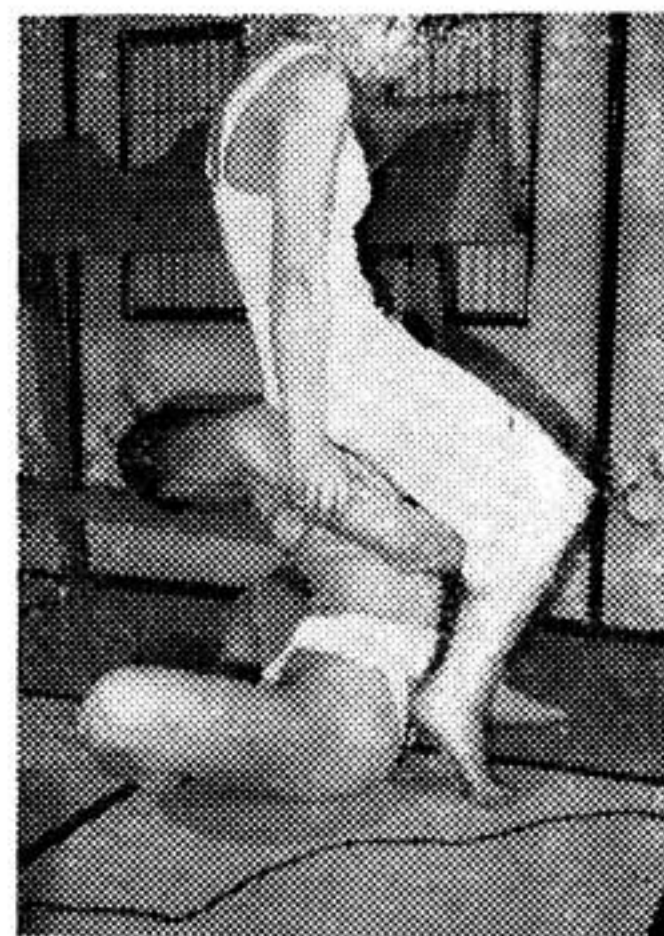
ご注文は略号を明記のうえ
振替か現金書留をご利用な
さるとご便利で確実です！

女体責め悶悦の姿態！

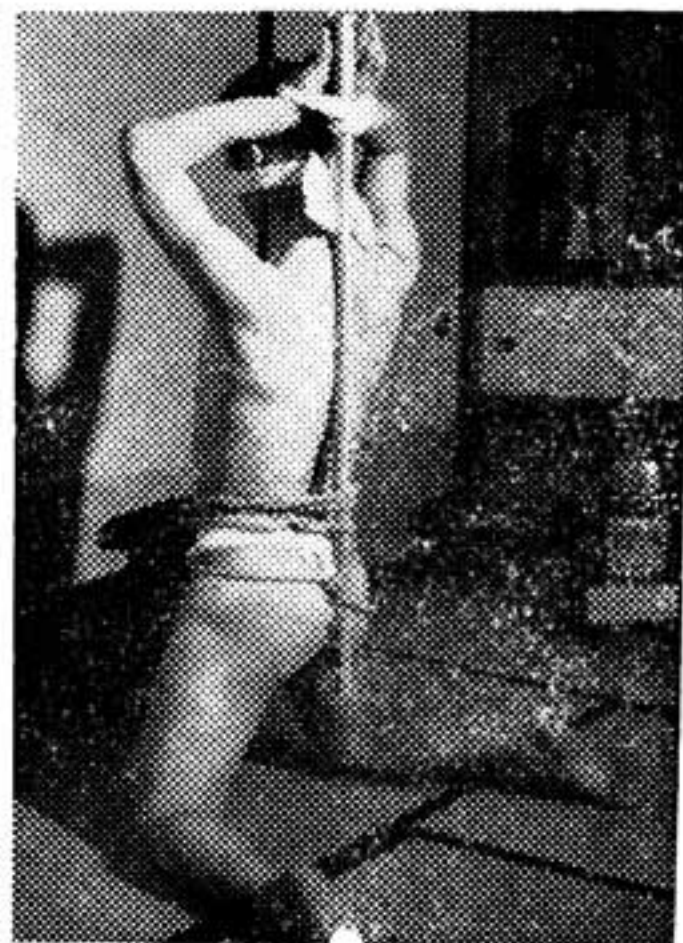


- ★女囚緊縛ポーズ (略A 6) 三枚三〇〇円
- ★野外縛り (略A 7) 三枚三〇〇円
- ★凄絶切腹六態 (略A 8) 六枚八〇〇円
- ★全裸緊縛ポーズ (略A 9) 三枚三〇〇円
- ★臀部責め (略A 10) 三枚三〇〇円
- ★水責め・湯責め (略A 11) 三枚三〇〇円
- ★本格鞭打プレイ (略A 12) 三枚三〇〇円
- ★豊満なる緊縛女体 (略C 6) 三枚三〇〇円
- ★海老責め地獄 (略C 7) 三枚三〇〇円

本誌独占！ 男性緊縛の魅惑



- ☆輝姿二人プレイ (略B 18) 三枚三〇〇円
- ☆輝姿一人プレイ (略B 19) 三枚三〇〇円
- ☆輝姿ふたりの男 (略B 20) 三枚三〇〇円
- ☆全裸の男性美 (略B 21) 三枚三〇〇円
- ☆裸姿一人緊縛 (略B 22) 三枚三〇〇円
- ☆青竹十字背負い (略B 23) 三枚三〇〇円
- ☆輝姿股間ポーズ (略B 24) 三枚三〇〇円
- ☆変形縛り責め (略B 25) 三枚三〇〇円
- ☆純白の輝姿 (略B 26) 三枚三〇〇円
- ☆虐げられる輝男 (略B 27) 三枚三〇〇円



- ☆三角木馬責め (略B 28) 三枚三〇〇円
- ☆竹を背負つて (略B 29) 三枚三〇〇円
- ☆輝姿開脚の図 (略B 30) 三枚三〇〇円
- ☆全裸の男 (略B 31) 三枚三〇〇円
- ☆変わり海老責め (略B 32) 三枚三〇〇円
- ☆緊縛悦虐境 (略B 33) 三枚三〇〇円
- ☆踏んづけられて (略B 34) 三枚三〇〇円
- ☆男を責める男 (略B 35) 三枚三〇〇円
- ☆おれのエモノ (略B 36) 三枚三〇〇円
- ☆首しばり3態 (略B 37) 三枚三〇〇円
- ☆無残、男責め (略B 38) 三枚三〇〇円
- ☆縛られた輝男 (略B 39) 三枚三〇〇円
- ☆輝姿の悦虐境 (略B 40) 三枚三〇〇円

モデル別お好みポーズ集

☆舟木喜代子のB G緊縛

- ▼大の字縛り (略F 5) 三枚三〇〇円
- ▼ハダカ男馬乗り (略F 6) 三枚三〇〇円

☆風早由美子の妖緊縛獄

- ▼豊艶乳房しばり (略F 7) 三枚三〇〇円
- ▼樹間のニンフ (略H 1) 三枚三〇〇円
- ▼嘆きのセーラ服 (略H 2) 三枚三〇〇円
- ▼死のベルト誘い (略H 3) 三枚三〇〇円



- ★眼帯の女(略C8) 三枚三〇〇円
- ★さるぐつわ艶姿(略C9) 三枚三〇〇円
- ★制服の乙女縛り(略C10) 三枚三〇〇円
- ★裸女棒しばり(略C11) 三枚三〇〇円
- ★密室の呪縛(略D6) 三枚三〇〇円
- ★全裸変形地獄図(略D7) 三枚三〇〇円
- ★無残二人しばり(略D8) 三枚三〇〇円
- ★浣腸悦虐フォト(略D10) 三枚三〇〇円
- ★浣腸陶醉ポーズ(略D11) 三枚三〇〇円
- ★力つきた処女(略P1) 三枚三〇〇円
- ★蛇が白肌を(略P2) 三枚三〇〇円
- ★迫るローソクの炎(略P3) 三枚三〇〇円
- ★全裸責めの魅惑(略P4) 三枚三〇〇円
- ★晴れ着もあらわに(略P5) 三枚三〇〇円
- ★股裂き三人選(略P6) 三枚三〇〇円
- ★肌くらべ全裸縛り(略Q1) 三枚三〇〇円
- ★花ひらく受縛天国(略Q2) 三枚三〇〇円
- ★血みどりのリンチ(略X8) 五枚五〇〇円
- ★悦虐の表情(略X9) 三枚三〇〇円
- ★本格吊るし責め(略X10) 三枚三〇〇円



- ☆井神せい子の豊満縛姿
- ▼窓ぎわの残虐(略I1) 三枚三〇〇円
- ☆村上ユキ特選緊縛フォト
- ▼全裸後ろ手縛り(略M1) 三枚三〇〇円
- ▼お灸灼熱地獄(略M2) 三枚三〇〇円
- ▼本格縛り責三態(略M3) 三枚三〇〇円
- ▼豊麗切腹(略M5) 三枚三〇〇円
- ▼閨房股間縛り(略M6) 三枚三〇〇円
- ▼凄絶雪責め(略M7) 三枚三〇〇円
- ▼古風な緊縛(略M8) 三枚三〇〇円
- ▼椅子の上の無残(略M9) 三枚三〇〇円
- ☆西牧えり子の悦虐縛り
- ▼中国服悦虐姿態(略N1) 三枚三〇〇円
- ▼いたぶられ姑娘(略N2) 三枚三〇〇円
- ▼乙女の祈り(略N3) 三枚三〇〇円
- ▼全裸いたぶり(略N5) 三枚三〇〇円

- ▼鼻責め嗜虐(略N6) 三枚三〇〇円
- ▼哀花受難(略N7) 三枚三〇〇円
- ▼制服の少女虐め(略N8) 三枚三〇〇円
- ▼悦虐の園の女(略N9) 三枚三〇〇円
- ▼棒責め立ち姿(略N10) 三枚三〇〇円
- ▼棒責めの伏姿(略N11) 三枚三〇〇円
- ☆西条さくら豊艶緊縛
- ▼乳房地獄責め(略S1) 三枚三〇〇円
- ▼腹部への嗜虐(略S2) 三枚三〇〇円
- ▼悶姿の祭壇(略S3) 三枚三〇〇円
- ▼ゴムひもの責め(略S4) 三枚三〇〇円
- ☆高月まゆみの縛悦姿態
- ▼砂浜荒縄しばり(略T5) 三枚三〇〇円
- ▼あばらやの恋縄(略T6) 三枚三〇〇円
- ▼碁盤責め三態(略T7) 三枚三〇〇円
- ▼野外十字架縛り(略T8) 三枚三〇〇円
- ▼犬になつた女(略T9) 三枚三〇〇円
- ▼車中の拘束(略T10) 三枚三〇〇円
- ☆島根ユカ魅縛ポーズ
- ▼裸身は嘆く(略U1) 三枚三〇〇円
- △サデイスチンのポーズ▽
- ☆女王様としもべ(略W1) 三枚三〇〇円
- ☆ドミナのムチ(略W2) 三枚三〇〇円
- ☆女に虐待される(略W3) 三枚三〇〇円

いずれも三枚一組です。

読者

の

広場

忘れられない高月さん

『画報風奇』を書店で買ったところ、その雑誌のなかにあなたがいました。印象的な名まえでした。モデル・高月まゆみ、そうです。高月さんが、首輪をされ、からだを鎖で縛られていました。でも、あなたは、悲しそうな顔をしていなかったですね。そんなあなたを知り、忘れられなくなりました。

ボクは、二十一歳の大学生です。学生のくせにお笑いでしょうが、ボクの気持ちを理解してほしいのです。

ボクはS・Mなどについてはまだよくわかりません。教えてください。こんな世界があることを。



とを、はじめて知りました。ボクはS的なのでしょうか……。

高月さん、ボクのお姉さまになってください。そして、この世界のことをご指導してください。お願いいたします。

(東京・山田)

高月さんに打たれたい

『奇譚』『画報』の両誌のフォト面を飾る女性モデルのうち、ボクは、高月まゆみさんの加虐ポーズが好きです。

一度でよいから、美しいあなたに「あのムチ打つ女」の写真のように、ボクは虐待されたい……。

だいたい、この種のサド女性というものは、美人でなく、そ

のうえ肉体も貧弱でしたが、高月さんだけは違います。マスクも美しいが、すらりとした脚線と容姿全体が美しいです。

そのあなたに、なぐられたいブタれたい。ボクは、マゾなのでしょう。いつも、あなたにムチ打たれる自分を想像しては、ひとり喜んでる小生です。

そう思えば思うほど、ボクはあなたに責められたいという被虐感に悩まされるのです。

高月さま。一生に一度でよいです。ボクをムチ打ってください。お願いいたします。

(東京・滝沢)

褌を締めよう

小生は「ふんどしマニア」です、しかも猛烈な——。フンドシと聞いただけで、男がシビレ尻がムズムズしてきます。

小学二年生のころから、おとなの人がフンドシをしているのを見て、子供心にも魅力を感じました。

中学に入学したとき、水泳の時間にはじめてフンドシを締めました。以来、今日までフンドシを愛用しています。しかも、六尺褌ほどゾクゾクさせるもの

はない。世の男性よ、フンドシを締めようではないか！

(大阪・大野)

ますます充実してきた

『画報』8月号、『風奇』9月号をみて、ますます内容が充実したことを喜びます。

とくに、画報八月号から登場したニュー・モデル南郷次郎氏により、すばらしさを倍加させました。

ただ残念なことには、南郷氏の顔がハッキリ見られないことです。美男子の写真は、われわれ男性愛好者が、だれしも望むところなので、その点を考慮されて編集されることを望む。また、南郷氏の新作をどしどし発表されたい。(北海道T・K)

栃木の赤石さんへ

二十三歳の褌マニアです。最近では、海水浴にいても、赤褌一本の姿が見えず、残念ではありません。そこで、小さな集まりでもよいですから、われわれマニアで「フンドシ会」というものを、ぜひ、結成しようではありませんか。

また、栃木の赤石の「赤石」

さん、お便り待っております。それから、六尺禪、そのほか男性緊縛の写真を持っておられるかた、ご連絡ください。(横浜市港北郵便局私書函十二号・篠崎十朔)

看護婦さんご住所を

京都の看護婦さん。七月一日お手紙うけとりました。お返事をさしあげようと思い、先月そちらあてにいたしましたところ、住所不明で戻りました。

お手数ですが、もう一度、住所氏名をはっきり書いていただきたいのです。わたしの住所は「風俗奇譚」7月号の読者サロンにのしるしてあります。あなた様からのお便りをお待ちします。(東京・鈴木三郎)

同好者と交際したい

小生、まだ高校を卒業したばかりです。といっても、大学に在学中です。

ふんどしに魅惑されたのは、高校二年からです。水泳も、海水パンツはいいさいやめ、赤ふん一本で泳ぎ回りました。もちろん、現在もフンドシです。そこで、全国の同好者との

交通、交際を望んでいます。また、資料の交換も望んでいます。もしよろしかったら、左記の住所にご一報ください。(京都市左京区下鴨蓼倉二一、木村方、上島保男)

女性縛りに注文

小生、貴誌のファンのひとりです。とくに、木馬責め、女学生縛りなど、女性フォトリに興味をもっているものです。そこで、小生なりのフォトリ案を二、三あげてみました。

① 女体を縛りあげるとき、パンティーをつけているが、これは手ぬぐい、またはマフラーなどを腰に巻いたほうが、新鮮であり、写真の動きがあり、からだ全体が動的になる。

② 後ろ手に縛りあげるとき、動的になるのは、やはり手の縛りかたなのです。手にも苦痛とか羞恥が現われなければ、平凡な写真におわるわけです。また、足もそうです。

③ よく、責める場合、サルグツワをはめてありますが、責めには、ないほうがよい。責められる表情を主体にとってもいい。

④ 女学生のほかに、B・Gの緊縛もほしいものです。右のアイディア、次号からぜひ実現されることを願う。(京都・角田)

ボクは男に責められたい

ボクは二十八歳のサラリーマンで、貴誌の熱狂的なファン。ところで、小生、女性には全然興味なし。したがって、男性にだけ魅力を感じる。それも、銭湯などでみる、男らしい肉体と雄器を見ると、すぐに興奮、責めたり、責められたい。そこで、どなたか、ボクを愛

し、イジメてくれるかたはおらないでしょうか。手はじめに交際、ご指導を乞う次第です。(岡山・村上善助)

女に鞭打されたい

ボクは十九歳の学生です。モデルを志望しています。身長は一七三センチ、体重六三キロ。ちょっとした美少年です。(自信はあります)ポーズとしては、女性に縛られ、ヒイヒイ言うほど、けられたり、ムチ責めにされる役を好みます。そのほか、どのような責めに

男性の悩みは
ズバリ マグークインで

磁力即効回春器

☆性欲減少に！ 一回の御使用で心身ともに爽快
☆早漏防止に！ 取外す迄は完全保持目的を達す
☆インボに！ 使用後興奮状態になり満足を得

マグークインは磁力放射線を合法応用化した製品で性的不満は即時解消します。取付は簡単副作用なくそのまま歩行、入浴が出来る事は本器の特徴です

定価 一個 八〇〇円(送料共)

東京都中野区野方町二の一四九七の三
発売元 信光社 マグークイン本舗

振替東京五一七二八番
電話東京(385)六五〇六番

代理店・取次店 募集中

も耐える覚悟です。どうか、ボクを牛馬のようにムチ打ってください。すべておまかせします。ただ、男性はこわいからイヤです。やはり、優しい女性を望みます。誌上にご返事お寄せください。(長野・マゾ男)

ボクをお願い

ボクは中学の三年生です。子供のくせに、なんて怒られるでしょうが、とにかくボクは『風奇』の豆ファンです。

魅力? なんてことは、まだわかりません。ただ、男性のたくましいハダカとフンドシが好きだからです。

八月号で見たんだけど、モデルの南郷次郎さんの「男妖の園」魅リキ満点、グツとシビレちゃった。だって、すごい男性美なんだもの……。

でも、モデルみんなオジサマなんで、ツマンナイ。高校生ぐらいのおニイさんのハダカは、掲載できないの? もし許されるんなら、ぜひ見たい。

編集部のおジサマ。ボクの案ぜひ採用してください。

それからもうひとつ、女性のモデルはたくさん。男だけに

して! (岩手・結城潤一)

グループを作りたい

望月まり子嬢の「受縛のポーズ」女体へのサディスティックな官能を刺激されました。このようなポーズを毎号のせてほしい。

また「男ふたり」「男の楽園」など、ホモ的なものも、どしどしあつかってください。南郷氏の胸板、毛深いからだに同性の羨望を感じました。

ところで、わたしは、二十八歳のサラリーマン。同性との経験があります。どうも長つづきがしないのです。そこで、中年または青春期の同性四、五人で、グループを作りたいか。おたがいに楽しく交際したいと思うのです。

名案ありましたら、教えてください。(東京・福田寿雄)

女子レスリングを

小生は『画報風奇』の愛読者です。最近、貴誌のフォトに変化がないことを嘆きます。

ページがふえたのですから、毎回おなじ縛りポーズ一色でなく、女子レスリングの写真をあ

ニューフォトのセクシードレス

—愛好者の期待を集め新製品発表さる—

悩殺スタイルのドレス各種、および
ビキニブラジャー・ビキニパンティ
バタフライ・アミタイツ等……

(1—ビスとして1,000円以上お買上の方に)
幸運のマスクット、パンカチーフ進呈。



ビキニE
メダル生地 白色
¥ 650 〒 50



バタフライ
各色
¥ 370 〒 30



チャック付
パンティ 藤色
¥ 550 〒 50



透き通り長襦袢 (ピンク)

ナイロントリコット ¥ 2,300 〒 150

濃艶下着に依るヌードモデル写真分譲
50円同封、雑誌名記入の上申込みあれば、直ぐに各種ドレス、下着類のカラー写真入りカタログ送呈致します。

東京都杉並区大宮前6~414
ニューフォト社 洋品部

<お知らせ>

小社は今まで『風俗奇譚』と『画報風俗奇譚』を毎月発行しておりましたが、二冊の編集ということは、時間的にも制約があつて意を尽くし難く、かつ、読者の皆さんにも負担少なからずと思います。そこで画報は本号限りで一時休刊、今後は『風俗奇譚』一冊にしほり、読み物、写真、絵画の充実万全を期したいと存じます。今後ともご愛読のほどを！

しらってください。

プロレス・ブームですから、女子プロレス四十八集なんていうテーマでグラビアにしてもいいと思います。編集部にお願ひします。(大船・佐々木太郎)

禪愛好会の結成を

毎号欠かさず愛読している六尺禪マニアの学生です。フンドシを常用してから三年になりましたが、一年三百六十五日、いつもサラシの六尺を思いきり堅く締めて、はりきった毎日を送っています。

日本男子と生まれたからには、すべから六尺禪を愛用し男の象徴を誇示するべきですが、銭湯でもプールでも、六尺愛好者をみることができないのが、残念でたまひません。そこで、全国の愛禪者によび

かけて、禪愛好者の会を作りたいと思っています。浅草・六尺禪狂兄、東京・T・K生兄、京都・愛禪生兄、その他禪マニアのかたがたと、フンドシに生きる同志の誓いを結びたいと思っていますが、いかがですか！ぜひご連絡ください。(東京都内新宿郵便局止め、舟木明男)

女学生姿のモデルを

小生、三十一歳の、カメラを趣味の一つとする男性です。さて、貴誌のフォト面で、とくにわたしの心をとらえるものは、なんといっても、女学生のセーラー服縛り(モデル西牧えり子嬢)です。

下半身を強調した縛りは、なかなかみごとな角度からとっています。すばらしいです。そこで、もし女性のかたで、

この種の女学生縛りに興味をもたれるお友だちがおられましたら、ぜひ交際したいと思っています。小生のモデルとして、どなたかおりませんか。誌上でお連絡ください。(東京・N生)

腸責めの相手になる

小生、まだ二十一歳の工員。からだ、マスクともに中ぐらい。マニアのモデル難に悩む。浣腸責め、その他のプレイに遊び相手となる。なかでも浣腸に興味をもつ。大量の薬の注入大いにけっこう、愛好者の連絡

を待つ！(横浜局止・AY生)

禪特集号を望む

読者のページをみて、毎号、愛禪者がふえてゆくことに喜びを感じます。

このようにフンドシ愛好者が多いのですから、『禪特集号』の編集を急がれんことを切望します。

また、モデルも、南郷氏を迎え、誌面の一新をみたことは、読者として喜びにたえない。その点、編集部に感謝する次第。さて、全国の禪ファンの諸君

を療法を自家消解の「悩」から角度をゆるめるあゆみ小冊子・楠山栄三著・コンドーム二個・すりもの・希望の方は100円送金・

SEX

◎早く終る・女性がなげく・手軽に治療・五〇〇円送金せられよ・クスリとズバリそのものを書く性愛の本・進呈
◎太く恥づかしくない・立派に育てる療法器・コッソリ使える・カタログ無代進呈・性・臭・媚薬・素人でも扱える・副業通信販売・御自由・方法伝受す・一県一店代理店・乞書面

愛慾の炎をもやす……木の実

ガラナ……の実はそのままではたべられな酒・ウイスキーなどにソツと一パイ・男も女も・ポケット瓶十回分・五〇〇円・特用千円

東京葛飾区本田中原町三五六番

白水荘

(どなたにも個人名で密送)

優生相談室

いまこそ「フンドシ会」の結成をいそぐ時期である。会を作ろうではないか！誌上で同士の声を聞きたい。（京都・上島）

女性に飼育されたい

小生、大学に籍をおく一学生です。なまじある教養がじゃまになり、貴誌のグラビアにモデルとして登場できませんが、できたら、男性モデルになりたいと思うのです。

同じモデルでも、六尺一本のハダカで、男責めの極地を味わいたいと念願しています。

どなたでもけっこうです、女性のかたなら。小生の身長は五尺六寸で、体重は十七貫。胸毛には自信があります。

ムチ責め、雄器責め、海老責め、どんな責めにも応じます。ボクを飼育してくださいる女性を求めます。（青森・小畑）

京都の「愛禪生」さんへ

京都の「愛禪生」さんとぜひご交際したいと思っています。

小生は二十二歳のサラリーマンです。ボクもフンドシに興味

ありますが、やはりひとりよがりをもち、いろいろと研究をしてだけに、ご理解あるかたのご指導をたまわりたいと存じます。誌上でお返事ください。お待ちします。（大阪・芳山）

女性に責められたい

小生、二十五歳の書店の主人です。

責められたいのです。かつてかもしれませんが、女性のかたの手で浣腸をしていただきたくのです。思いきって縛り、拷問してください。

ボクは変質者なのでしょうが、同性には興味がありません。やはり、弱々しい女性が、わたしをなぐり、けり、ムチで打ち

すえるその姿がほしいのです。どなたか、おいでにならないでしようか。また、責め写真か

浣腸フォトがありましたら、ぜひお譲りください。マニアのかたとの文通も希望しています。

住所は次のとおりです。ご連絡ください。お待ちします。

（東京都中野区本町通り四の二七・中田光夫）

「風俗奇譚」11月号の発売は9月29日です。

編集部から愛読者各位へ

最近、読者各位から「だれだれを紹介してほしい」「これこれのグループを教えてください」というたぐいの依頼が非常にふえてまいりました。しかし、当社としては、この種のご希望には応じかねますから、この「読者の

編集手帳

ようやく爽涼の秋を迎えた。読者のかたがたも、暑さもものはいろいろ建設的な意見をよせてくださった。そういうご意見を実らせるのは、われわれ編集部の仕事である。時はまさに、実りの秋——いよいよ張りきって、ご期待にそなうような雑誌をつくらねばいけないと心をひそめ、努めている。

なおいっそうのご支援ご鞭撻をお願いしておく。

毎月、画報が出る、必ずといっていいほど、多くの、フンドシに関するご意見が寄せられる。礼賛あり私見ありで、なかなかにぎやかであるが、同好会を作れというご意見が意外に多

広場」または風俗奇譚「読者サロン」を通じて文通されるようお願いいたします。したがって、個人的な文通を希望されるかたは、住所・氏名を明記して呼びかけるようにしてください。

ただし、当社では文通後の責任はいっさい負いませんから、念のため——（編集部）

い。もちろん小社としても大賛成であるが、目下のところ、小社の機構や人員の関係上、それに着手できない。ご了承願いたい。

いずれの日にか、それは果たされるであろうが、その日のために援助することはやぶさかでない。

画報風俗奇譚 第17集

十月号 定価一八〇円

昭和三十六年十月五日印刷
昭和三十六年十月十五日発行

編集人 高倉一
印刷所 刊行会印刷部

発行所 文献資料刊行会

振替東京 四二四九四番
電話東京(291)二四三〇番